

平成23年度
保育園サービス第三者評価事業
報告書

平成24年3月
杉並区

目 次

【 1 】 福祉サービス第三者評価の概要	1
(1) 目的	
(2) 対象	
(3) 実施評価機関	
(4) 評価者	
(5) 評価の流れと日程	
【 2 】 利用者調査	2
(1) 目的	
(2) 対象	
(3) 調査方法	
(4) 調査期間	
(5) 利用者アンケートの配布と回収状況	
(6) 利用者調査結果	
利用者調査集計結果報告書	3
【 3 】 職員事業自己評価	4 3
(1) 目的	
(2) 調査内容	
(3) 調査方法	
(4) 調査期間と取り組み方法	
(5) 職員アンケートの配布・回収状況	
(6) 職員事業自己評価結果	
【 4 】 福祉サービス第三者評価	4 4
(1) 訪問調査の実施	
(2) 評価方法	
(3) 報告書の作成	
(4) 評価結果のフィードバックの実施	
(5) 福祉サービス第三者評価結果	
東京都福祉サービス第三者評価結果報告書	4 7
巻末 付属資料	
認可保育所利用者調査票	1
全職員事業自己評価組織マネジメント調査票	5
全職員事業自己評価サービス分析調査票	1 1
経営層合議用シート 事業プロフィール	1 7
経営層合議用組織マネジメント分析シート	2 1
経営層合議用サービス分析シート	3 1

【 1 】 福祉サービス第三者評価の概要

福祉サービス第三者評価とは東京都より認証された評価機関が事業所の利用者および職員に対する調査を行い、調査結果に基づき、定められた手法によって事業評価を行うものである。利用者がサービスを選択するため、そして事業の透明性を確保するための情報提供をすることとサービスの質の向上をめざした事業所の更なる改善を促進することを狙いとしている。杉並区では、毎年、区立保育園の福祉サービス第三者評価を実施し、各保育園が定期的に受審の機会を持つようにしている。

(1) 目 的

第三者から見た公立保育園サービスの評価結果を幅広く利用者や保育園に情報提供することにより、サービス内容を利用者にも明らかにする。および公立保育園におけるサービスの質の向上に向けた取り組みを促すことにより、利用者本位のサービスシステムの構築を行う。

(2) 対 象

平成 2 3 年度は杉並区立保育園 4 園を評価対象とした。
馬橋保育園 阿佐谷南保育園 久我山東保育園 阿佐谷東保育園
そして、この 4 園を利用する全世帯および全常勤職員を調査対象とした。

(3) 実施評価機関

特定非営利活動法人せたがや福祉サポートセンター
東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号：機構 0 4 - 1 2 3

(4) 評価者

担当評価者終了番号 H0403012 H0306026 H0403013 H0601030

(5) 第三者評価の流れと日程

実施期間 平成 2 3 年 9 月 1 日～平成 2 4 年 3 月 2 日

実施内容	実施時期
事前説明会	9月1日 4園合同で実施
利用者調査	10月4日～配布 10月28日締め切り
経営層の合議による 事業分析シート作成	9月～10月
職員事業自己評価 アンケートの実施	10月はじめ配布 10月21日締め切り
訪問調査および利用者調査・ 職員事業評価の集計結果報告	11月15日～24日 各園訪問 11月14日 杉並区保育課訪問
評価機関が事業分析し 報告書作成	訪問調査2日前までに各園に事前送付
評価結果のフィードバック	1月31日～2月2日 各園 2月8日 杉並区保育課
報告書提出	3月2日まで 各園・杉並区へ 3月 東京都へ
東京都ホームページで公表	

【 2 】利用者調査

(1) 目 的

- 1 . 園を利用されている保護者の日常の保育サービスに対する意向や満足度を把握し、第三者評価の材料とする。
- 2 . 第三者評価を通して、各保育園のサービスの改善に生かす。

(2) 対 象

4 保育園を利用する全世帯の保護者を対象とし、兄弟のいる場合は一番年齢の低いお子さんについて、回答を依頼した。

(3) 調査方法

無記名のアンケート方式で実施。保育園より保護者に調査票を手渡してもらい、直接郵送による回収で匿名性を担保した。

(4) 調査期間

平成 2 3 年 1 0 月 4 日 ~ 平成 2 3 年 1 0 月 2 8 日
(予定より 1 週間締め切りを延期し、回収率を高めた)

(5) 利用者アンケートの配布と回収状況

	配布数	回収数	回収率
馬 橋 保 育 園	6 2	4 1	6 6 %
阿佐谷南保育園	8 9	7 4	8 3 %
久我山東保育園	8 0	6 1	7 6 %
阿佐谷東保育園	9 8	6 2	6 3 %
4 園	3 2 9	2 3 8	7 2 %

(6) 利用者調査結果

利用者アンケートの各設問の回答の集計結果は以下の集計結果一覧表と円グラフのとおりである。また、自由記述意見や各園についての講評は、福祉サービス第三者評価結果報告書 (P 4 7 ~ 参照) にまとめられている。

- ◆ 馬 橋 保 育 園 利用者調査集計結果報告書
- ◆ 阿佐谷南保育園 利用者調査集計結果報告書
- ◆ 久我山東保育園 利用者調査集計結果報告書
- ◆ 阿佐谷東保育園 利用者調査集計結果報告書

利用者調査集計結果

- ◆ 馬橋保育園 利用者調査集計結果報告書……P3
- ◆ 阿佐谷南保育園 利用者調査集計結果報告書……P13
- ◆ 久我山東保育園 利用者調査集計結果報告書……P26
- ◆ 阿佐谷東保育園 利用者調査集計結果報告書……P33

平成23年度
東京都福祉サービス第三者評価

利用者調査集計結果

杉並区立馬橋保育園

事業所名	2011年度 馬橋保育園	利用者調査集計結果
------	--------------	-----------

配布数	回収数	回収率
62	41	66%

評点	評点					計
	はい	どちらとも言えない	いいえ	非該当	無回答	
(毎日の保育サービスについて)						
問1. 食事(給食)・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	35	5	1	0	0	41
	86%	12%	2%	0%	0%	100%
問2. 戸外遊びの機会は十分ですか	37	4	0	0	0	41
	90%	10%	0%	0%	0%	100%
問3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	35	2	1	3	0	41
	86%	5%	2%	7%	0%	100%
問4. 保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか	33	7	1	0	0	41
	81%	17%	2%	0%	0%	100%
問5. 安全対策が十分取られていると思いますか	22	16	3	0	0	41
	54%	39%	7%	0%	0%	100%
問6. 保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	25	12	4	0	0	41
	61%	29%	10%	0%	0%	100%
問7. お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができますか	34	6	1	0	0	41
	83%	15%	2%	0%	0%	100%
問8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか	33	6	0	2	0	41
	80%	15%	0%	5%	0%	100%

(お子さんや保護者の尊重について)

問9. 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか	29	9	1	2	0	41
	71%	22%	2%	5%	0%	100%
問10. お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	36	5	0	0	0	41
	88%	12%	0%	0%	0%	100%
問11. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	36	4	1	0	0	41
	88%	10%	2%	0%	0%	100%

(要望・意見や不満・トラブルへの対応について)

問12. 要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	21	14	5	1	0	41
	52%	34%	12%	2%	0%	100%
問13. 保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	23	13	2	3	0	41
	56%	32%	5%	7%	0%	100%
問14. 要望や不満があったとき、第三者委員(保育所外の苦情解決相談員)などにも相談できることを知っていますか	22	1	14	4	0	41
	54%	2%	34%	10%	0%	100%

利用前の保育園の対応について

過去1年以内にこの施設を利用し始めましたか	はい	いいえ	無回答	計
	14	25	2	41

上の 設問で「はい」と答えた方に

保育所の利用を始める前に、保育所から保育内容などの説明がありましたか	はい	いいえ	無回答	計
	13	1	0	14

「はい」と答えた方に

	はい	どちらとも言えない	いいえ	非該当	無回答	計
問15. 入園に際し保育所から受けた説明は、わかりやすかったですか	11	2	0	0	0	13
	85%	15%	0%	0%	0%	100%

(総合的な感想について)

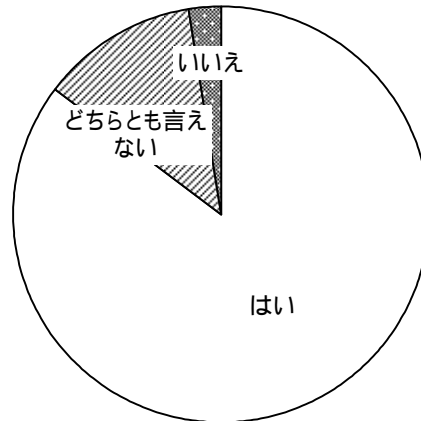
	大変満足	満足	どちらとも言えない	不満	大変不満	無回答	計
(1) 現在利用している保育所を総合的にみて、どのように感じていますか	17	18	2	3	0	1	41
	42%	44%	5%	7%	0%	2%	100%

事業所名	2011年度 馬橋保育園	利用者調査集計結果
------	--------------	-----------

毎日の保育サービスについて

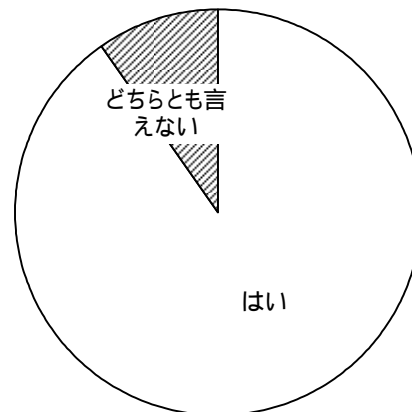
問1 食事(給食)・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか？

はい	35	86%
どちらとも言えない	5	12%
いいえ	1	2%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	41	100%



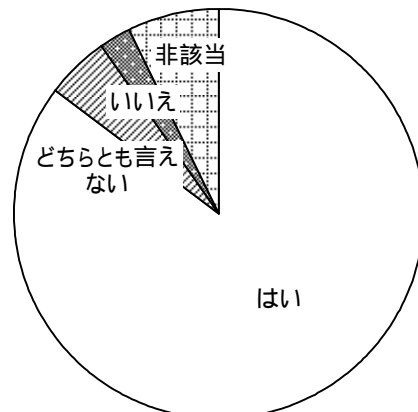
問2 戸外遊びの機会は十分ですか？

はい	37	90%
どちらとも言えない	4	10%
いいえ	0	0%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	41	100%



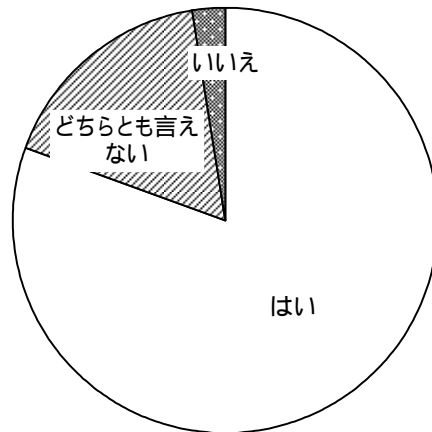
問3 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか？

はい	35	86%
どちらとも言えない	2	5%
いいえ	1	2%
非該当	3	7%
無回答	0	0%
計	41	100%



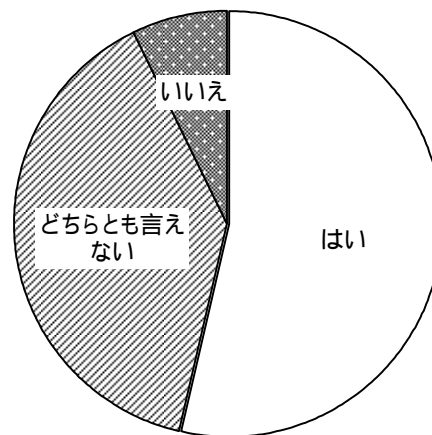
問4 保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか？

はい	33	81%
どちらとも言えない	7	17%
いいえ	1	2%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	41	100%



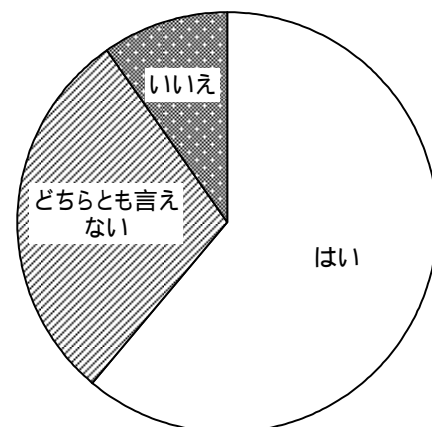
問5 安全対策が十分取られていると思いますか？

はい	22	54%
どちらとも言えない	16	39%
いいえ	3	7%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	41	100%



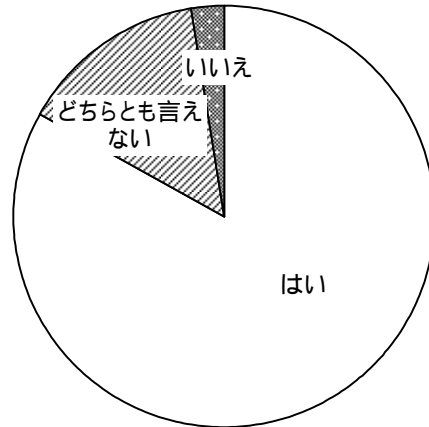
問6 保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか？

はい	25	61%
どちらとも言えない	12	29%
いいえ	4	10%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	41	100%



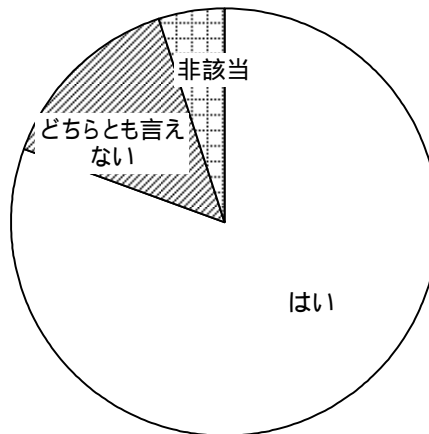
問7 お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができますか？

はい	34	83%
どちらとも言えない	6	15%
いいえ	1	2%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	41	100%



問8 保護者が大切と考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか？

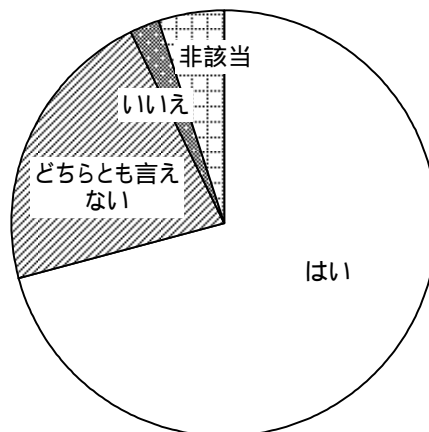
はい	33	80%
どちらとも言えない	6	15%
いいえ	0	0%
非該当	2	5%
無回答	0	0%
計	41	100%



お子さんや保護者の尊重

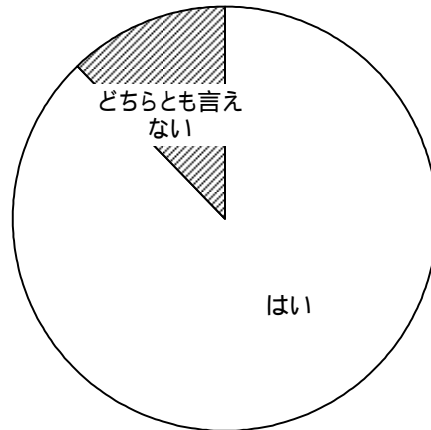
問9 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー（秘密）を守っていますか？

はい	29	71%
どちらとも言えない	9	22%
いいえ	1	2%
非該当	2	5%
無回答	0	0%
計	41	100%



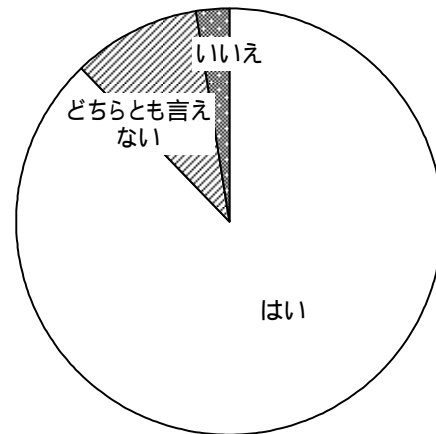
問10 お子さんは保育所で大切にされていると思いますか？

はい	36	88%
どちらとも言えない	5	12%
いいえ	0	0%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	41	100%



問11 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか？

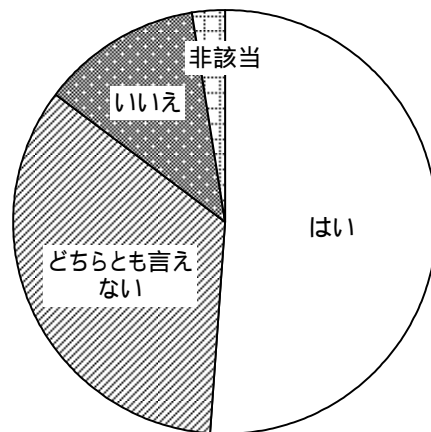
はい	36	88%
どちらとも言えない	4	10%
いいえ	1	2%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	41	100%



要望・意見や不満・トラブルへの対応

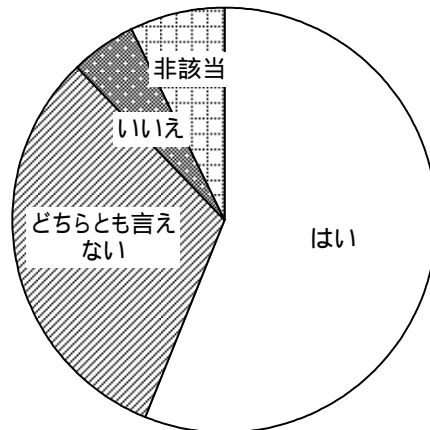
問12 要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか？

はい	21	52%
どちらとも言えない	14	34%
いいえ	5	12%
非該当	1	2%
無回答	0	0%
計	41	100%



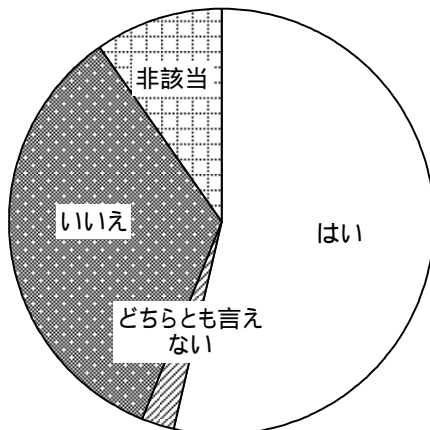
問13 保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか？

はい	23	56%
どちらとも言えない	13	32%
いいえ	2	5%
非該当	3	7%
無回答	0	0%
計	41	100%



問14 要望や不満があったとき、第三者委員(保育所外の苦情解決相談員)などにも相談できることを知っていますか？

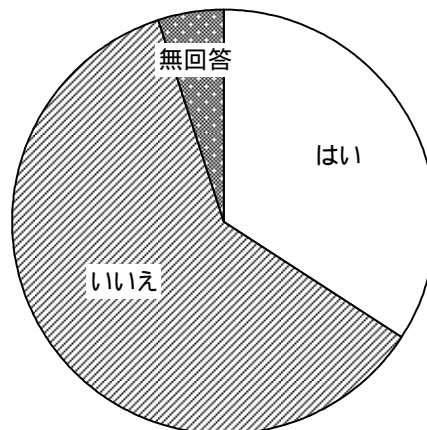
はい	22	54%
どちらとも言えない	1	2%
いいえ	14	34%
非該当	4	10%
無回答	0	0%
計	41	100%



利用前の保育園の対応

過去1年以内にこの施設を利用し始めましたか？

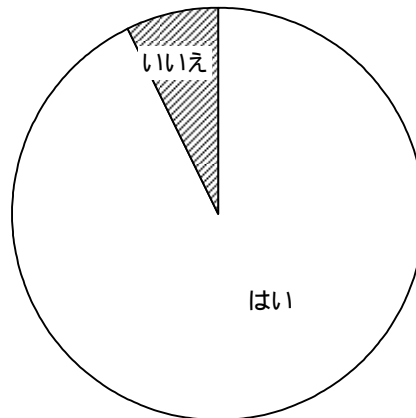
はい	14	34%
いいえ	25	61%
無回答	2	5%
計	41	100%



上の 設問で「はい」と答えた方に

保育所の利用を始める前に、保育所から保育内容などの説明がありましたか？

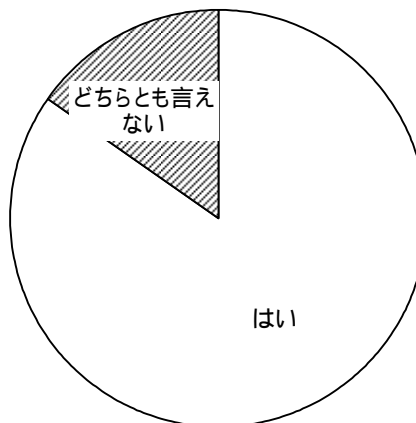
はい	13	93%
いいえ	1	7%
無回答	0	0%
計	14	100%



上の 設問で「はい」と答えた方に

問15 入園に際し保育所から受けた説明は、わかりやすかったですか？

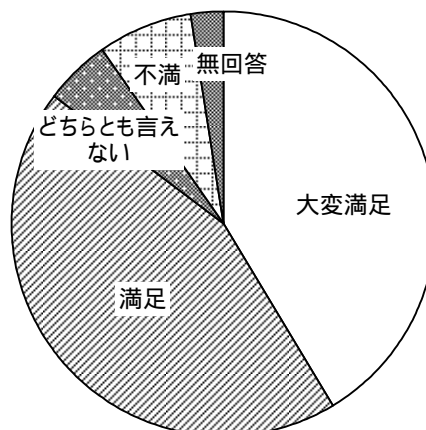
はい	11	85%
どちらとも言えない	2	15%
いいえ	0	0%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	13	100%



総合的な感想について

〔1〕 現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。

大変満足	17	42%
満足	18	44%
どちらとも言えない	2	5%
不満	3	7%
大変不満	0	0%
無回答	1	2%
計	41	100%



【保護者について】

F1. 調査票記入者

父	2	5%
母	30	73%
父母一緒に	2	5%
その他	0	0%
無記入	7	17%
計	41	100%

F2. 調査票記入者の年齢(主に中心になって回答した方)

20歳未満	0	0%
20～25歳未満	0	0%
25～30歳未満	2	5%
30～35歳未満	9	22%
35～40歳未満	18	44%
40～50歳未満	6	15%
50歳以上	0	0%
無記入	6	14%
計	41	100%

F3. 保護者の勤務形態

父

常勤(フルタイム)	28	68%
パート、アルバイト	0	0%
自営業	2	5%
無職	1	2%
その他	0	0%
無記入	10	25%
計	41	100%

母

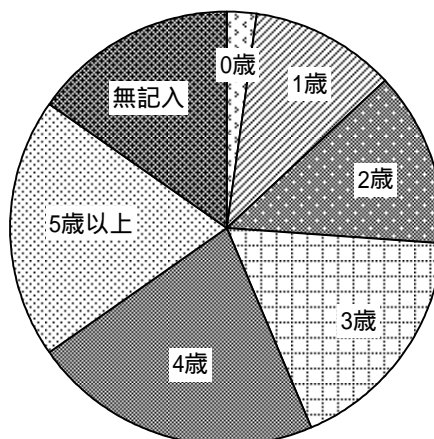
常勤(フルタイム)	30	73%
パート、アルバイト	3	7%
自営業	1	2%
無職	0	0%
その他	1	2%
無記入	6	16%
計	41	100%

その他の保護者

常勤(フルタイム)	3	7%
パート、アルバイト	2	5%
自営業	3	7%
無職	0	0%
その他	1	2%
無記入	32	79%
計	41	100%

F4. 保育園を利用してるお子さんの年齢

0歳	1	2%
1歳	5	11%
2歳	6	13%
3歳	8	17%
4歳	10	22%
5歳以上	9	20%
無記入	7	15%
計	46	100%



平成23年度
東京都福祉サービス第三者評価

利用者調査集計結果

杉並区立阿佐谷南保育園

事業所名	2011年度 阿佐谷南保育園	利用者調査集計結果
------	----------------	-----------

配布数	回収数	回収率
89	74	83%

(毎日の保育サービスについて)	評点					計
	はい	どちらとも言えない	いいえ	非該当	無回答	
問1. 食事(給食)・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	65	9	0	0	0	74
	88%	12%	0%	0%	0%	100%
問2. 戸外遊びの機会は十分ですか	59	13	2	0	0	74
	80%	18%	2%	0%	0%	100%
問3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	47	12	4	11	0	74
	64%	16%	5%	15%	0%	100%
問4. 保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか	67	7	0	0	0	74
	91%	9%	0%	0%	0%	100%
問5. 安全対策が十分取られていると思いますか	40	30	4	0	0	74
	54%	41%	5%	0%	0%	100%
問6. 保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	44	21	9	0	0	74
	60%	28%	12%	0%	0%	100%
問7. お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができますか	56	16	1	1	0	74
	76%	22%	1%	1%	0%	100%
問8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか	64	8	1	1	0	74
	87%	11%	1%	1%	0%	100%

(お子さんや保護者の尊重について)

問9. 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか	59	8	2	5	0	74
	80%	11%	3%	6%	0%	100%
問10. お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	70	4	0	0	0	74
	95%	5%	0%	0%	0%	100%
問11. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	65	8	0	0	1	74
	88%	11%	0%	0%	1%	100%

(要望・意見や不満・トラブルへの対応について)

問12. 要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	41	24	8	1	0	74
	56%	32%	11%	1%	0%	100%
問13. 保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	45	19	2	7	1	74
	61%	26%	3%	9%	1%	100%
問14. 要望や不満があったとき、第三者委員(保育所外の苦情解決相談員)などにも相談できることを知っていますか	19	1	51	2	1	74
	26%	1%	69%	3%	1%	100%

利用前の保育園の対応について

過去1年以内にこの施設を利用し始めましたか	はい	いいえ	無回答	計
	19	53	2	74

上の 設問で「はい」と答えた方に

保育所の利用を始める前に、保育所から保育内容などの説明がありましたか	はい	いいえ	無回答	計
	16	1	2	19

「はい」と答えた方に

問15. 入園に際し保育所から受けた説明は、わかりやすかったですか	はい	どちらとも言えない	いいえ	非該当	無回答	計
	15	1	0	0	0	16
	94%	6%	0%	0%	0%	100%

(総合的な感想について)

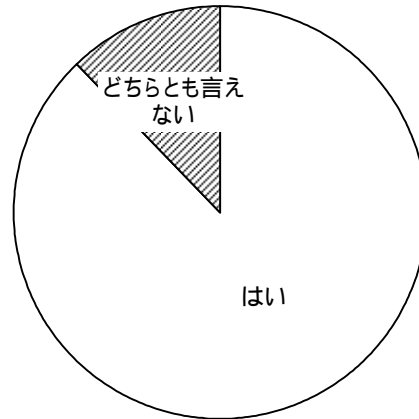
(1) 現在利用している保育所を総合的にみて、どのように感じていますか	大変満足	満足	どちらとも言えない	不満	大変不満	無回答	計
	31	38	2	3	0	0	74
	42%	51%	3%	4%	0%	0%	100%

事業所名	2011年度 阿佐谷南保育園	利用者調査集計結果
------	----------------	-----------

毎日の保育サービスについて

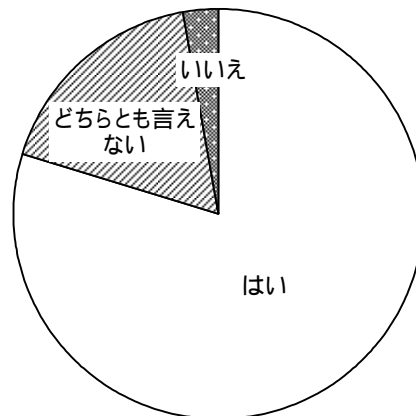
問1 食事(給食)・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか？

はい	65	88%
どちらとも言えない	9	12%
いいえ	0	0%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	74	100%



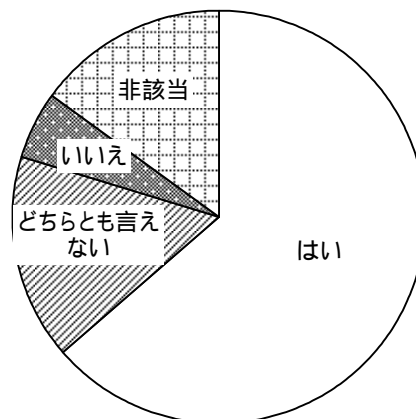
問2 戸外遊びの機会は十分ですか？

はい	59	80%
どちらとも言えない	13	18%
いいえ	2	2%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	74	100%



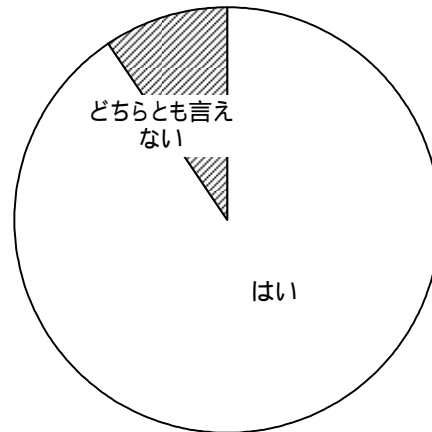
問3 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか？

はい	47	64%
どちらとも言えない	12	16%
いいえ	4	5%
非該当	11	15%
無回答	0	0%
計	74	100%



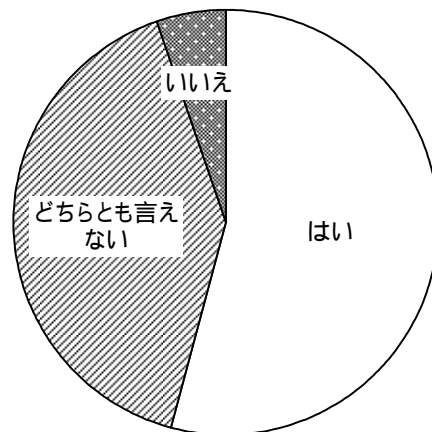
問4 保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか？

はい	67	91%
どちらとも言えない	7	9%
いいえ	0	0%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	74	100%



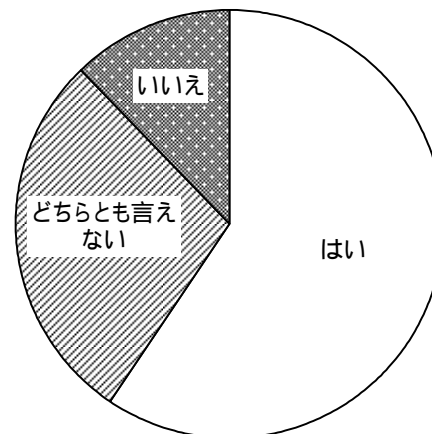
問5 安全対策が十分取られていると思いますか？

はい	40	54%
どちらとも言えない	30	41%
いいえ	4	5%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	74	100%



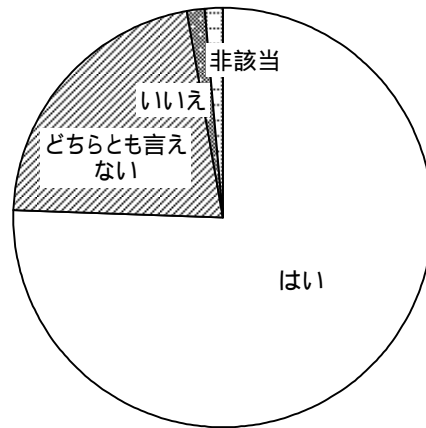
問6 保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか？

はい	44	60%
どちらとも言えない	21	28%
いいえ	9	12%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	74	100%



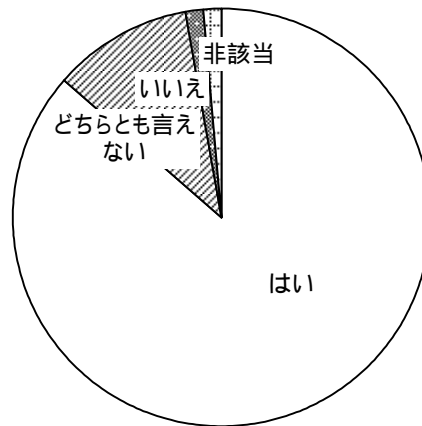
問7 お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができますか？

はい	56	76%
どちらとも言えない	16	22%
いいえ	1	1%
非該当	1	1%
無回答	0	0%
計	74	100%



問8 保護者が大切と考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか？

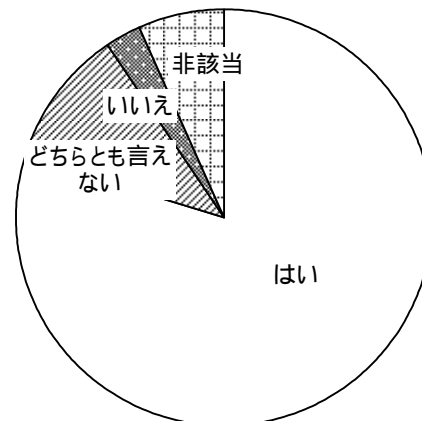
はい	64	87%
どちらとも言えない	8	11%
いいえ	1	1%
非該当	1	1%
無回答	0	0%
計	74	100%



お子さんや保護者の尊重

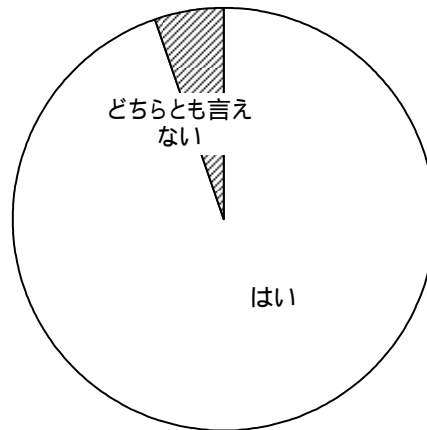
問9 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか？

はい	59	80%
どちらとも言えない	8	11%
いいえ	2	3%
非該当	5	6%
無回答	0	0%
計	74	100%



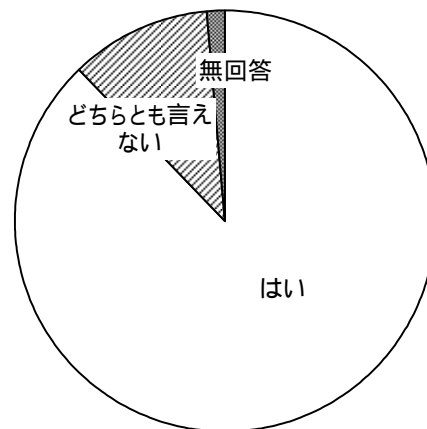
問10 お子さんは保育所で大切にされていると思いますか？

はい	70	95%
どちらとも言えない	4	5%
いいえ	0	0%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	74	100%



問11 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか？

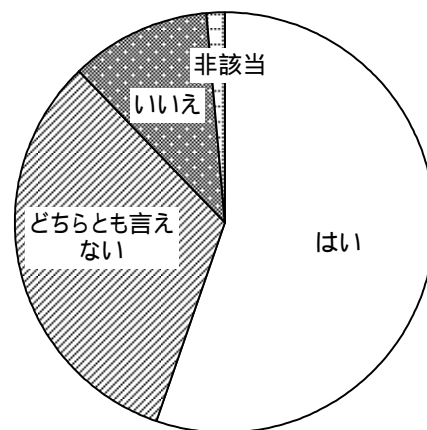
はい	65	88%
どちらとも言えない	8	11%
いいえ	0	0%
非該当	0	0%
無回答	1	1%
計	74	100%



要望・意見や不満・トラブルへの対応

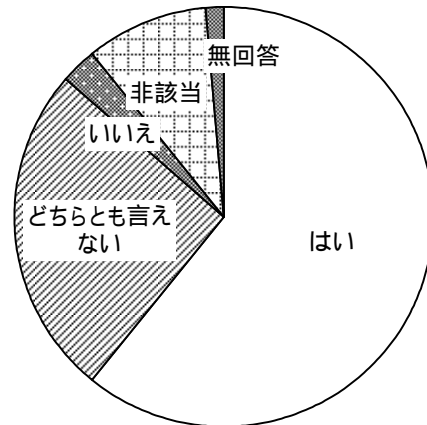
問12 要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか？

はい	41	56%
どちらとも言えない	24	32%
いいえ	8	11%
非該当	1	1%
無回答	0	0%
計	74	100%



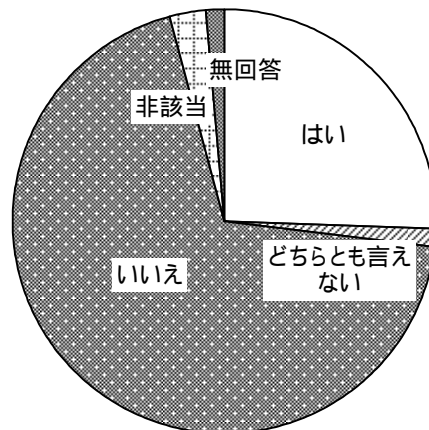
問13 保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか？

はい	45	61%
どちらとも言えない	19	26%
いいえ	2	3%
非該当	7	9%
無回答	1	1%
計	74	100%



問14 要望や不満があったとき、第三者委員(保育所外の苦情解決相談員)などにも相談できることを知っていますか？

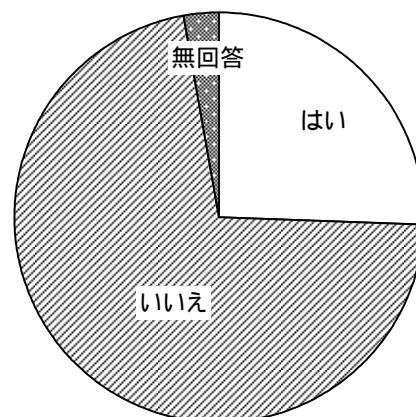
はい	19	26%
どちらとも言えない	1	1%
いいえ	51	69%
非該当	2	3%
無回答	1	1%
計	74	100%



利用前の保育園の対応

. 過去1年以内にこの施設を利用し始めましたか？

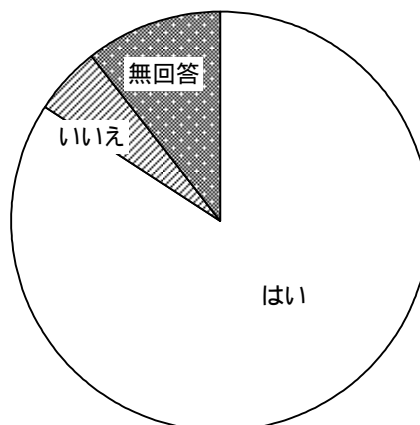
はい	19	26%
いいえ	53	72%
無回答	2	2%
計	74	100%



上の 設問で「はい」と答えた方に

保育所の利用を始める前に、保育所から保育内容などの説明がありましたか？

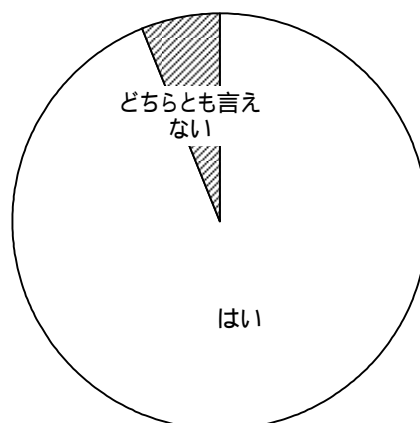
はい	16	84%
いいえ	1	5%
無回答	2	11%
計	19	100%



上の 設問で「はい」と答えた方に

問15 入園に際し保育所から受けた説明は、わかりやすかったですか？

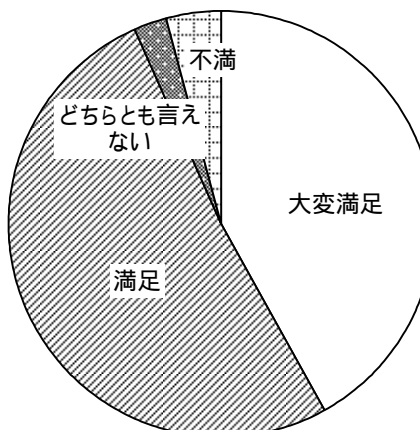
はい	15	94%
どちらとも言えない	1	6%
いいえ	0	0%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	16	100%



総合的な感想について

(1) 現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていますか。

大変満足	31	42%
満足	38	51%
どちらとも言えない	2	3%
不満	3	4%
大変不満	0	0%
無回答	0	0%
計	74	100%



【保護者について】

F1. 調査票記入者

父	3	4%
母	66	89%
父母一緒に	2	3%
その他	0	0%
無記入	3	4%
計	74	100%

F2. 調査票記入者の年齢(主に中心になって回答した方)

20歳未満	0	0%
20～25歳未満	0	0%
25～30歳未満	6	8%
30～35歳未満	20	27%
35～40歳未満	24	32%
40～50歳未満	20	27%
50歳以上	0	0%
無記入	4	6%
計	74	100%

F3. 保護者の勤務形態

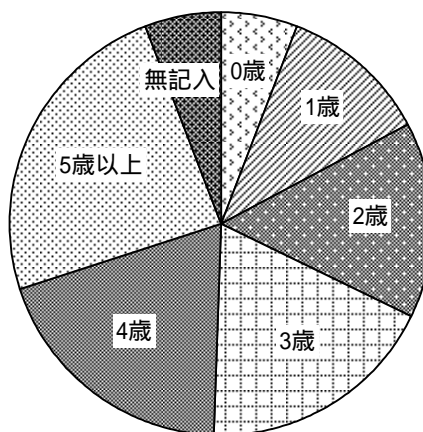
父		
常勤(フルタイム)	58	78%
パート、アルバイト	0	0%
自営業	9	12%
無職	0	0%
その他	0	0%
無記入	7	10%
計	74	100%

母		
常勤(フルタイム)	54	73%
パート、アルバイト	4	5%
自営業	8	11%
無職	2	3%
その他	2	3%
無記入	4	5%
計	74	100%

その他の保護者		
常勤(フルタイム)	5	7%
パート、アルバイト	3	4%
自営業	2	3%
無職	3	4%
その他	2	3%
無記入	59	79%
計	74	100%

F4. 保育園を利用してるお子さんの年齢

0歳	5	6%
1歳	10	11%
2歳	13	15%
3歳	16	18%
4歳	17	20%
5歳以上	21	24%
無記入	5	6%
計	87	100%



平成23年度
東京都福祉サービス第三者評価

利用者調査集計結果

杉並区立久我山東保育園

事業所名	2011年度 久我山東保育園	利用者調査集計結果
------	----------------	-----------

配布数	回収数	回収率
80	61	76%

(毎日の保育サービスについて)	評点					計
	はい	どちらとも言えない	いいえ	非該当	無回答	
問1. 食事(給食)・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	50	10	1	0	0	61
	82%	16%	2%	0%	0%	100%
問2. 戸外遊びの機会は十分ですか	56	3	2	0	0	61
	92%	5%	3%	0%	0%	100%
問3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	43	12	1	5	0	61
	70%	20%	2%	8%	0%	100%
問4. 保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか	50	10	1	0	0	61
	82%	16%	2%	0%	0%	100%
問5. 安全対策が十分取られていると思いますか	33	22	6	0	0	61
	54%	36%	10%	0%	0%	100%
問6. 保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	39	14	7	0	1	61
	64%	23%	11%	0%	2%	100%
問7. お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができますか	45	15	1	0	0	61
	74%	25%	1%	0%	0%	100%
問8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか	43	15	1	2	0	61
	70%	25%	2%	3%	0%	100%

(お子さんや保護者の尊重について)

問9. 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか	44	9	3	5	0	61
	72%	15%	5%	8%	0%	100%
問10. お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	52	9	0	0	0	61
	85%	15%	0%	0%	0%	100%
問11. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	50	10	1	0	0	61
	82%	16%	2%	0%	0%	100%

(要望・意見や不満・トラブルへの対応について)

問12. 要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	24	25	11	1	0	61
	39%	41%	18%	2%	0%	100%
問13. 保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	25	22	3	11	0	61
	41%	36%	5%	18%	0%	100%
問14. 要望や不満があったとき、第三者委員(保育所外の苦情解決相談員)などにも相談できることを知っていますか	23	2	34	1	1	61
	38%	3%	56%	1%	2%	100%

利用前の保育園の対応について

過去1年以内にこの施設を利用し始めましたか	はい	いいえ	無回答	計
	12	46	3	61

上の 設問で「はい」と答えた方に

保育所の利用を始める前に、保育所から保育内容などの説明がありましたか	はい	いいえ	無回答	計
	12	0	0	12

「はい」と答えた方に

	はい	どちらとも言えない	いいえ	非該当	無回答	計
問15. 入園に際し保育所から受けた説明は、わかりやすかったですか	11	1	0	0	0	12
	92%	8%	0%	0%	0%	100%

(総合的な感想について)

	大変満足	満足	どちらとも言えない	不満	大変不満	無回答	計
(1) 現在利用している保育所を総合的にみて、どのように感じていますか	18	32	8	3	0	0	61
	30%	52%	13%	5%	0%	0%	100%

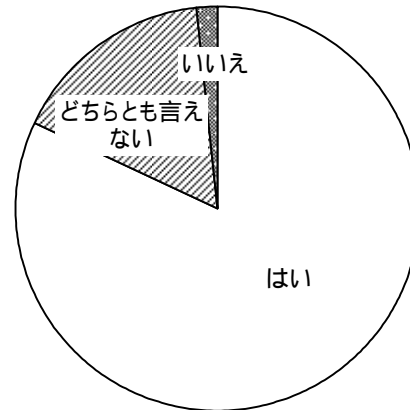
認可保育所

事業所名	2011年度 久我山東保育園	利用者調査集計結果
------	----------------	-----------

毎日の保育サービスについて

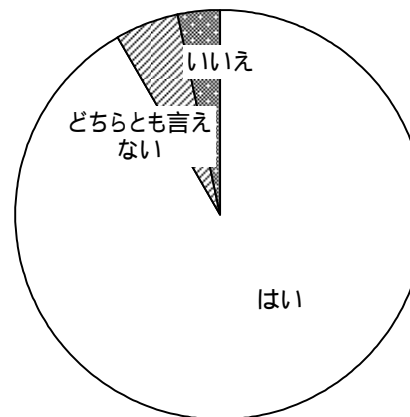
問1 食事(給食)・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか？

はい	50	82%
どちらとも言えない	10	16%
いいえ	1	2%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	61	100%



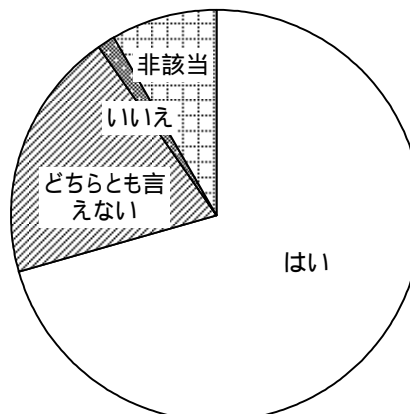
問2 戶外遊びの機会は十分ですか？

はい	56	92%
どちらとも言えない	3	5%
いいえ	2	3%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	61	100%



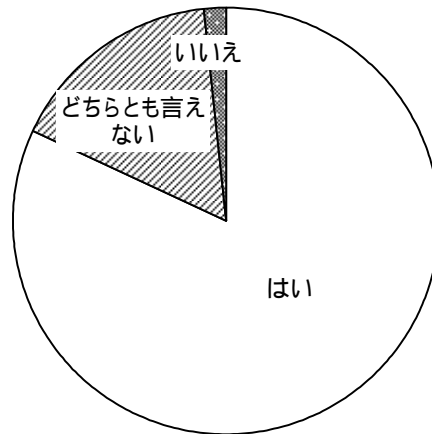
問3 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか？

はい	43	70%
どちらとも言えない	12	20%
いいえ	1	2%
非該当	5	8%
無回答	0	0%
計	61	100%



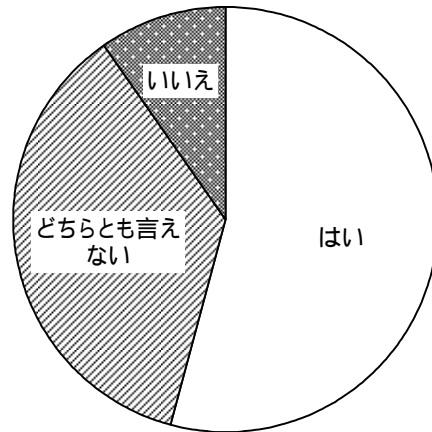
問4 保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか？

はい	50	82%
どちらとも言えない	10	16%
いいえ	1	2%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	61	100%



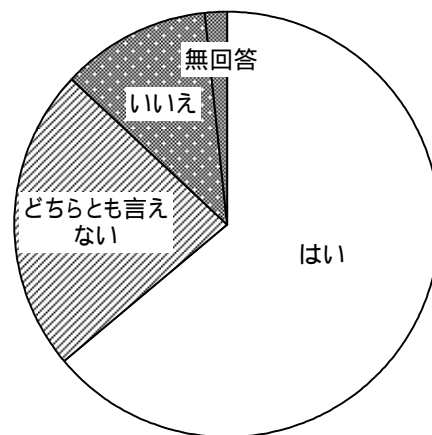
問5 安全対策が十分取られていると思いますか？

はい	33	54%
どちらとも言えない	22	36%
いいえ	6	10%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	61	100%



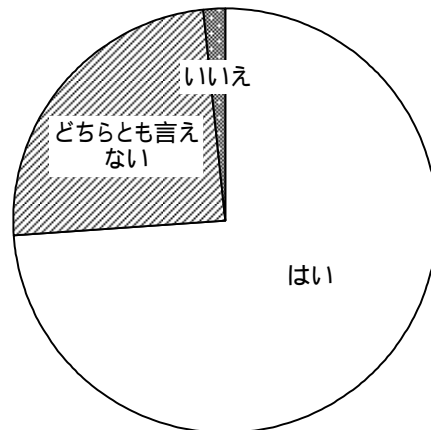
問6 保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか？

はい	39	64%
どちらとも言えない	14	23%
いいえ	7	11%
非該当	0	0%
無回答	1	2%
計	61	100%



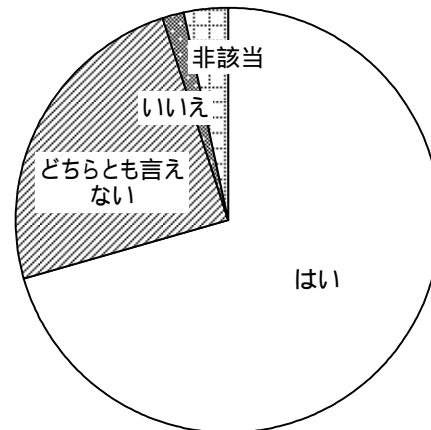
問7 お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができますか？

はい	45	74%
どちらとも言えない	15	25%
いいえ	1	1%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	61	100%



問8 保護者が大切と考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか？

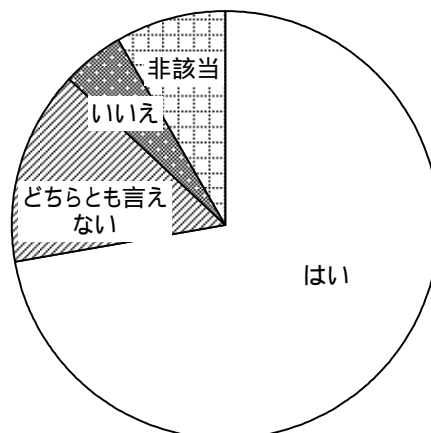
はい	43	70%
どちらとも言えない	15	25%
いいえ	1	2%
非該当	2	3%
無回答	0	0%
計	61	100%



お子さんや保護者の尊重

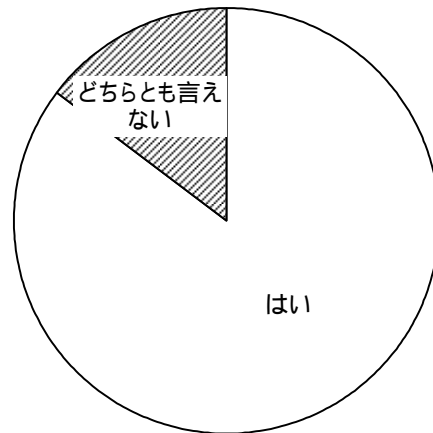
問9 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー（秘密）を守っていますか？

はい	44	72%
どちらとも言えない	9	15%
いいえ	3	5%
非該当	5	8%
無回答	0	0%
計	61	100%



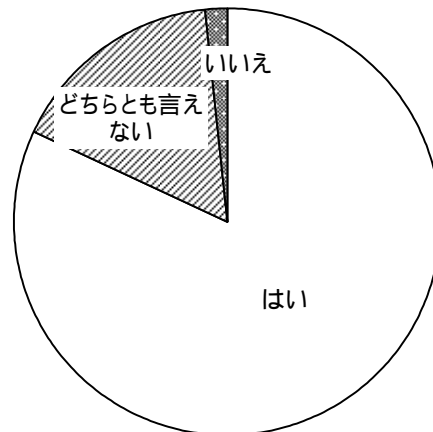
問10 お子さんは保育所で大切にされていると思いますか？

はい	52	85%
どちらとも言えない	9	15%
いいえ	0	0%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	61	100%



問11 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか？

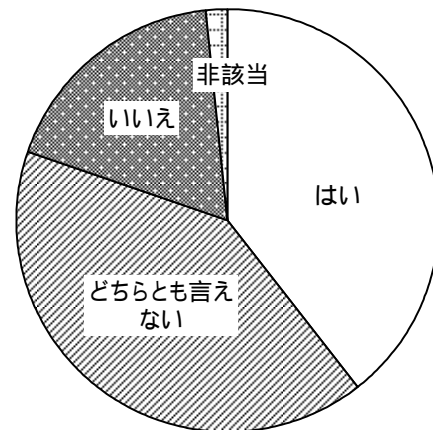
はい	50	82%
どちらとも言えない	10	16%
いいえ	1	2%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	61	100%



要望・意見や不満・トラブルへの対応

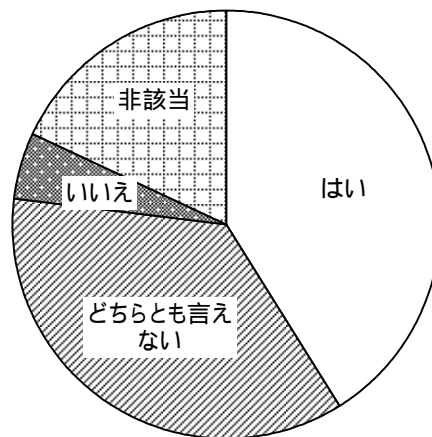
問12 要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか？

はい	24	39%
どちらとも言えない	25	41%
いいえ	11	18%
非該当	1	2%
無回答	0	0%
計	61	100%



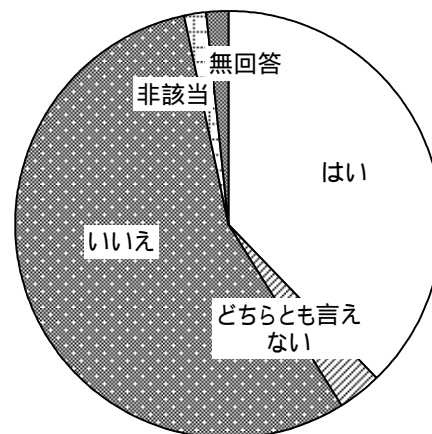
問13 保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか？

はい	25	41%
どちらとも言えない	22	36%
いいえ	3	5%
非該当	11	18%
無回答	0	0%
計	61	100%



問14 要望や不満があったとき、第三者委員(保育所外の苦情解決相談員)などにも相談できることを知っていますか？

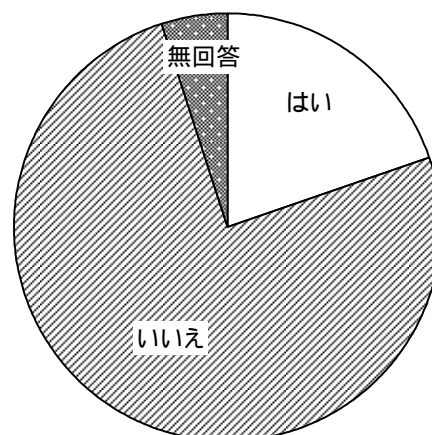
はい	23	38%
どちらとも言えない	2	3%
いいえ	34	55%
非該当	1	2%
無回答	1	2%
計	61	100%



利用前の保育園の対応

過去1年以内にこの施設を利用し始めましたか？

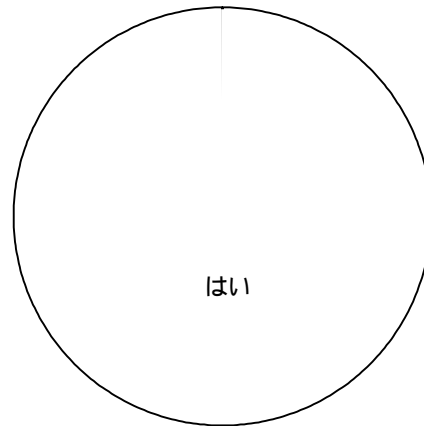
はい	12	20%
いいえ	46	75%
無回答	3	5%
計	61	100%



上の 設問で「はい」と答えた方に

保育所の利用を始める前に、保育所から保育内容などの説明がありましたか？

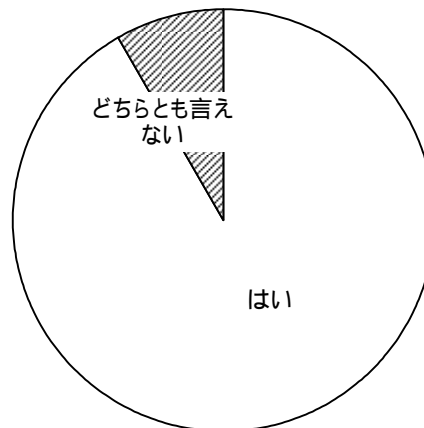
はい	12	100%
いいえ	0	0%
無回答	0	0%
計	12	100%



上の 設問で「はい」と答えた方に

問15 入園に際し保育所から受けた説明は、わかりやすかったですか？

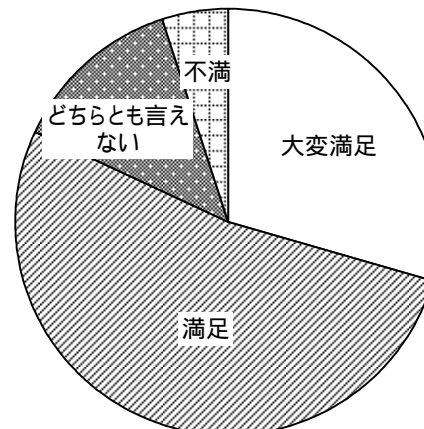
はい	11	92%
どちらとも言えない	1	8%
いいえ	0	0%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	12	100%



総合的な感想について

(1) 現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。

大変満足	18	30%
満足	32	52%
どちらとも言えない	8	13%
不満	3	5%
大変不満	0	0%
無回答	0	0%
計	61	100%



【保護者について】

F1. 調査票記入者

父	0	0%
母	50	82%
父母一緒に	6	10%
その他	0	0%
無記入	5	8%
計	61	100%

F2. 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方)

20歳未満	0	0%
20～25歳未満	0	0%
25～30歳未満	2	3%
30～35歳未満	14	23%
35～40歳未満	25	41%
40～50歳未満	13	21%
50歳以上	1	2%
無記入	6	10%
計	61	100%

F3. 保護者の勤務形態

父

常勤(フルタイム)	49	80%
パート、アルバイト	0	0%
自営業	6	10%
無職	0	0%
その他	0	0%
無記入	6	10%
計	61	100%

母

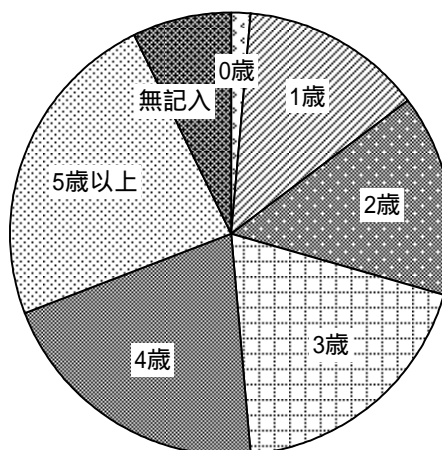
常勤(フルタイム)	42	69%
パート、アルバイト	5	8%
自営業	7	11%
無職	1	2%
その他	2	3%
無記入	4	7%
計	61	100%

その他の保護者

常勤(フルタイム)	1	2%
パート、アルバイト	3	5%
自営業	0	0%
無職	0	0%
その他	1	2%
無記入	56	91%
計	61	100%

F4. 保育園を利用してるお子さんの年齢

0歳	1	1%
1歳	9	13%
2歳	10	15%
3歳	13	19%
4歳	14	21%
5歳以上	16	24%
無記入	5	7%
計	68	100%



平成23年度
東京都福祉サービス第三者評価

利用者調査集計結果

杉並区立阿佐谷東保育園

事業所名	2011年度 阿佐谷東保育園	利用者調査集計結果
------	----------------	-----------

配布数	回収数	回収率
98	62	63%

(毎日の保育サービスについて)	評点					
	はい	どちらとも言えない	いいえ	非該当	無回答	計
問1. 食事(給食)・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	53 85%	7 11%	1 2%	1 2%	0 0%	62 100%
問2. 戸外遊びの機会は十分ですか	58 94%	4 6%	0 0%	0 0%	0 0%	62 100%
問3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	41 67%	7 11%	2 3%	12 19%	0 0%	62 100%
問4. 保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか	56 90%	4 6%	1 2%	1 2%	0 0%	62 100%
問5. 安全対策が十分取られていると思いますか	41 67%	17 27%	2 3%	2 3%	0 0%	62 100%
問6. 保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	38 61%	19 31%	5 8%	0 0%	0 0%	62 100%
問7. お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができますか	47 76%	13 21%	1 2%	1 1%	0 0%	62 100%
問8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか	50 81%	12 19%	0 0%	0 0%	0 0%	62 100%

(お子さんや保護者の尊重について)

問9. 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか	47 76%	9 15%	1 2%	5 7%	0 0%	62 100%
問10. お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	57 92%	5 8%	0 0%	0 0%	0 0%	62 100%
問11. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	53 85%	9 15%	0 0%	0 0%	0 0%	62 100%

(要望・意見や不満・トラブルへの対応について)

問12. 要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	30	25	4	3	0	62
	49%	40%	6%	5%	0%	100%
問13. 保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	34	13	1	14	0	62
	55%	21%	2%	22%	0%	100%
問14. 要望や不満があったとき、第三者委員(保育所外の苦情解決相談員)などにも相談できることを知っていますか	34	5	21	2	0	62
	55%	8%	34%	3%	0%	100%

利用前の保育園の対応について

過去1年以内にこの施設を利用し始めましたか	はい	いいえ	無回答	計
	25	37	0	62

上の 設問で「はい」と答えた方に

保育所の利用を始める前に、保育所から保育内容などの説明がありましたか	はい	いいえ	無回答	計
	23	1	1	25

「はい」と答えた方に

問15. 入園に際し保育所から受けた説明は、わかりやすかったですか	はい	どちらとも言えない	いいえ	非該当	無回答	計
	18	4	0	1	0	23
	79%	17%	0%	4%	0%	100%

(総合的な感想について)

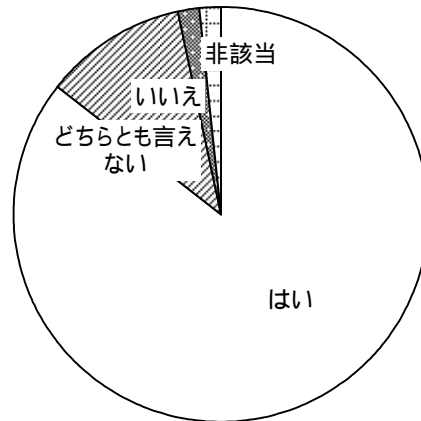
(1) 現在利用している保育所を総合的にみて、どのように感じていますか	大変満足	満足	どちらとも言えない	不満	大変不満	無回答	計
	21	35	6	0	0	0	62
	34%	56%	10%	0%	0%	0%	100%

事業所名	2011年度 阿佐谷東保育園	利用者調査集計結果
------	----------------	-----------

毎日の保育サービスについて

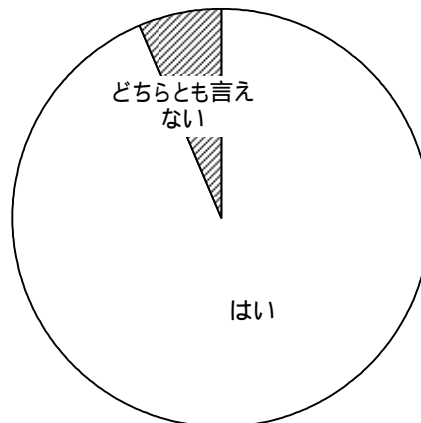
問1 食事(給食)・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか？

はい	53	85%
どちらとも言えない	7	11%
いいえ	1	2%
非該当	1	2%
無回答	0	0%
計	62	100%



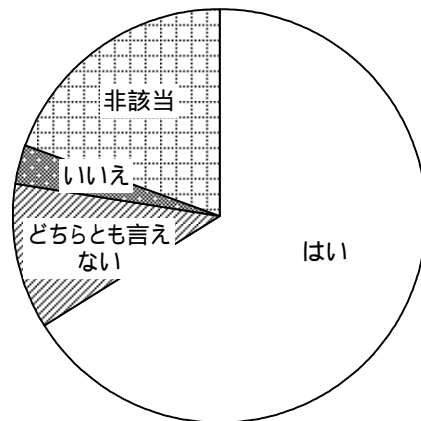
問2 戸外遊びの機会は十分ですか？

はい	58	94%
どちらとも言えない	4	6%
いいえ	0	0%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	62	100%



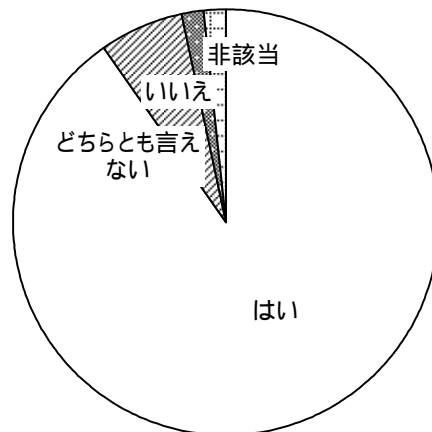
問3 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか？

はい	41	67%
どちらとも言えない	7	11%
いいえ	2	3%
非該当	12	19%
無回答	0	0%
計	62	100%



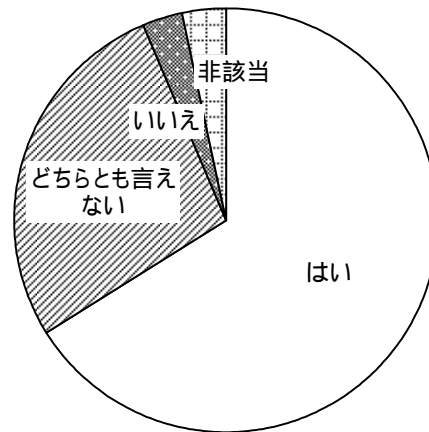
問4 保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか？

はい	56	90%
どちらとも言えない	4	6%
いいえ	1	2%
非該当	1	2%
無回答	0	0%
計	62	100%



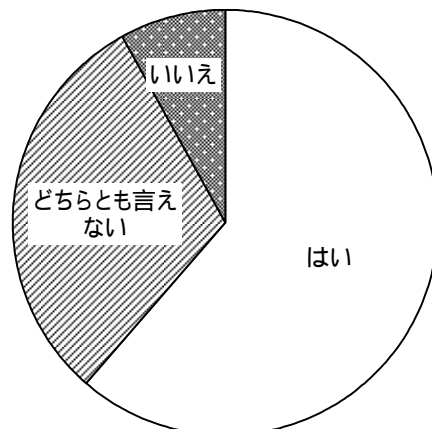
問5 安全対策が十分取られていると思いますか？

はい	41	67%
どちらとも言えない	17	27%
いいえ	2	3%
非該当	2	3%
無回答	0	0%
計	62	100%



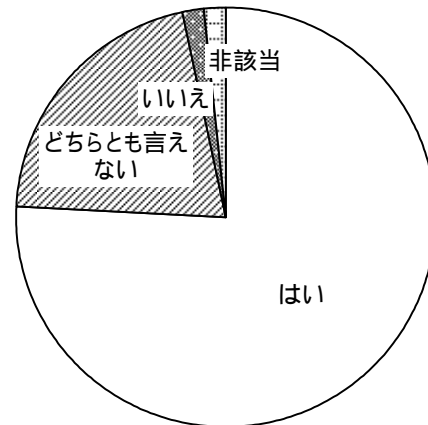
問6 保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか？

はい	38	61%
どちらとも言えない	19	31%
いいえ	5	8%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	62	100%



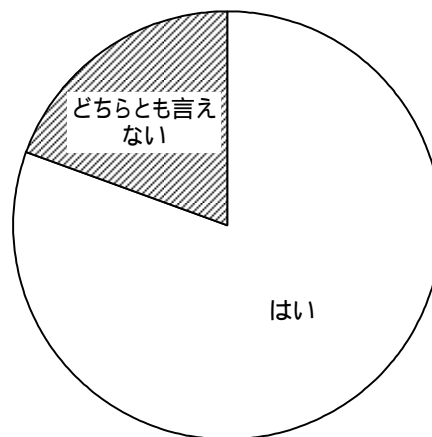
問7 お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができますか？

はい	47	76%
どちらとも言えない	13	21%
いいえ	1	2%
非該当	1	1%
無回答	0	0%
計	62	100%



問8 保護者が大切と考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか？

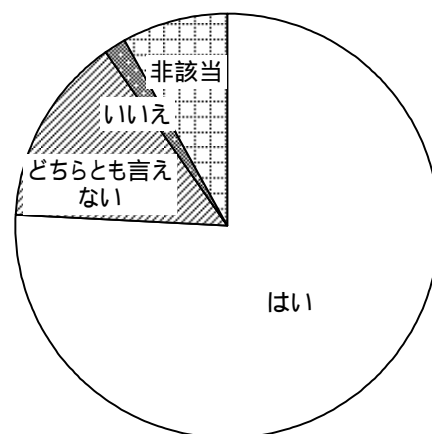
はい	50	81%
どちらとも言えない	12	19%
いいえ	0	0%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	62	100%



お子さんや保護者の尊重

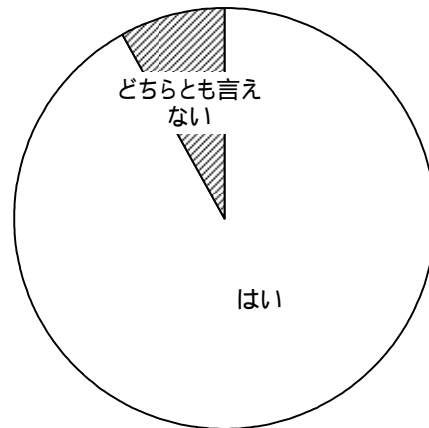
問9 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー（秘密）を守っていますか？

はい	47	76%
どちらとも言えない	9	15%
いいえ	1	2%
非該当	5	7%
無回答	0	0%
計	62	100%



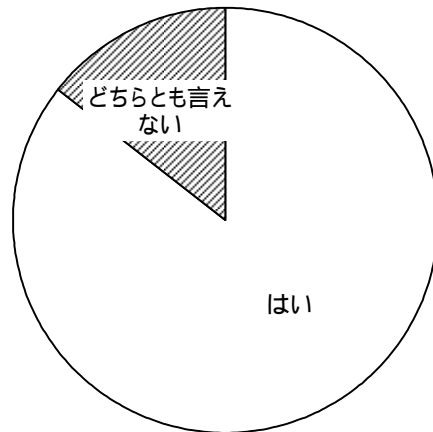
問10 お子さんは保育所で大切にされていると思いますか？

はい	57	92%
どちらとも言えない	5	8%
いいえ	0	0%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	62	100%



問11 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか？

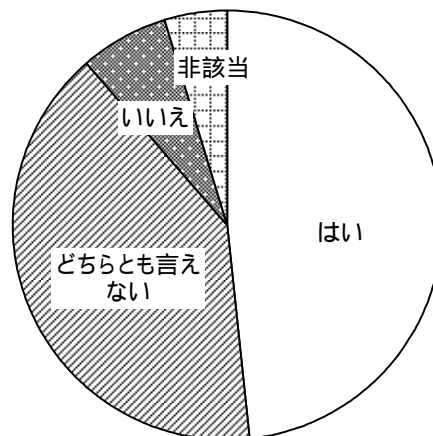
はい	53	85%
どちらとも言えない	9	15%
いいえ	0	0%
非該当	0	0%
無回答	0	0%
計	62	100%



要望・意見や不満・トラブルへの対応

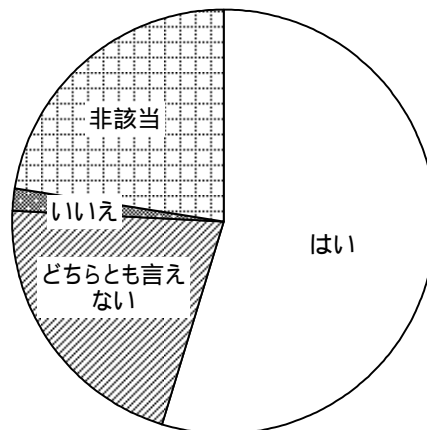
問12 要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか？

はい	30	49%
どちらとも言えない	25	40%
いいえ	4	6%
非該当	3	5%
無回答	0	0%
計	62	100%



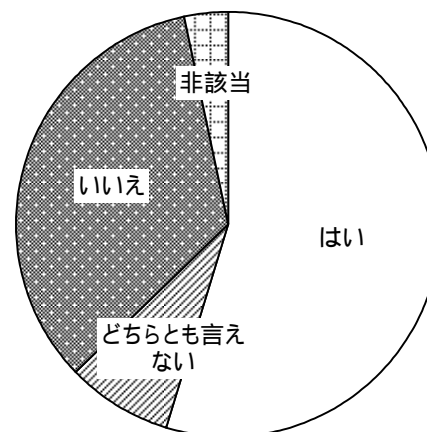
問13 保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか？

はい	34	55%
どちらとも言えない	13	21%
いいえ	1	2%
非該当	14	22%
無回答	0	0%
計	62	100%



問14 要望や不満があったとき、第三者委員(保育所外の苦情解決相談員)などにも相談できることを知っていますか？

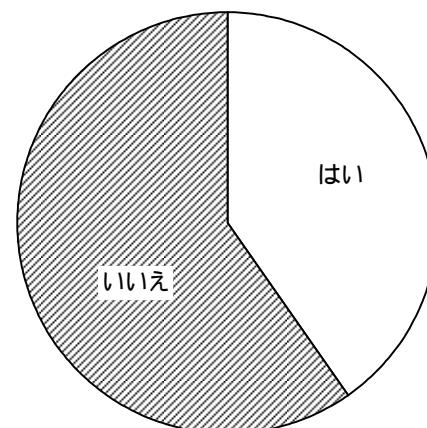
はい	34	55%
どちらとも言えない	5	8%
いいえ	21	34%
非該当	2	3%
無回答	0	0%
計	62	100%



利用前の保育園の対応

. 過去1年以内にこの施設を利用し始めましたか？

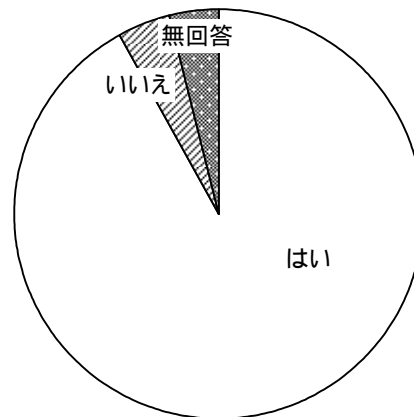
はい	25	40%
いいえ	37	60%
無回答	0	0%
計	62	100%



上の 設問で「はい」と答えた方に

保育所の利用を始める前に、保育所から保育内容などの説明がありましたか？

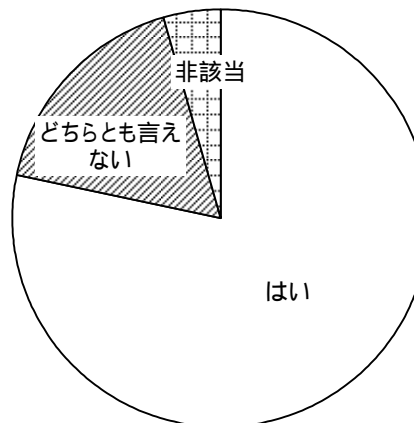
はい	23	92%
いいえ	1	4%
無回答	1	4%
計	25	100%



上の 設問で「はい」と答えた方に

問15 入園に際し保育所から受けた説明は、わかりやすかったですか？

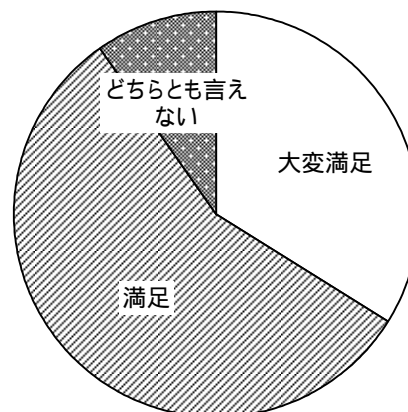
はい	18	79%
どちらとも言えない	4	17%
いいえ	0	0%
非該当	1	4%
無回答	0	0%
計	23	100%



総合的な感想について

〔1〕 現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。

大変満足	21	34%
満足	35	56%
どちらとも言えない	6	10%
不満	0	0%
大変不満	0	0%
無回答	0	0%
計	62	100%



【保護者について】

F1. 調査票記入者

父	0	0%
母	52	84%
父母一緒に	5	8%
その他	0	0%
無記入	5	8%
計	62	100%

F2. 調査票記入者の年齢(主に中心になって回答した方)

20歳未満	0	0%
20～25歳未満	0	0%
25～30歳未満	4	6%
30～35歳未満	17	27%
35～40歳未満	24	39%
40～50歳未満	12	19%
50歳以上	0	0%
無記入	5	9%
計	62	100%

F3. 保護者の勤務形態

父

常勤(フルタイム)	48	77%
パート、アルバイト	2	3%
自営業	1	2%
無職	0	0%
その他	3	5%
無記入	8	13%
計	62	100%

母

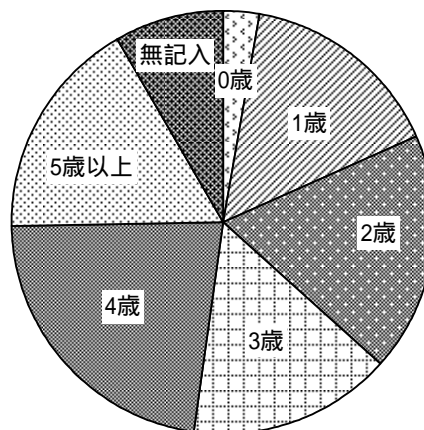
常勤(フルタイム)	51	82%
パート、アルバイト	3	5%
自営業	1	2%
無職	1	2%
その他	0	0%
無記入	6	9%
計	62	100%

その他の保護者

常勤(フルタイム)	1	2%
パート、アルバイト	0	0%
自営業	2	3%
無職	1	2%
その他	1	2%
無記入	57	91%
計	62	100%

F4. 保育園を利用してるお子さんの年齢

0歳	2	3%
1歳	11	15%
2歳	13	18%
3歳	11	15%
4歳	16	23%
5歳以上	12	17%
無記入	6	9%
計	71	100%



【 3 】 職員事業自己評価

(1) 目 的

- 1 . 各園が現在提供しているサービスの質がどのような状態にあるか把握し、第三者評価における事業分析の材料とする。
- 2 . 第三者評価に取り組むことで、全職員がともに事業を見直し、事業所の強みと課題を共有し、更なる改善努力を始めるきっかけとする。

(2) 調査内容

組織マネジメントとサービス提供のプロセスについて 8 つのカテゴリーと評価項目を設定し、更に具体的な標準項目と評価基準を設け、実施しているかどうかを、職員自身が確認することで事業自己評価を行うものである。

- 1 . リーダーシップと意思決定
- 2 . 経営における社会的責任
- 3 . 利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用
- 4 . 計画の策定と着実な実行
- 5 . 職員と組織の能力向上
- 6 . サービス提供のプロセス
- 7 . 情報の保護・共有
- 8 . 1 ~ 7 に関する活動成果 (前年度と比べて)

(3) 調査方法

各園が 2 つの方法で事業内容を確認し、事業自己評価を行った。

- 1 . 経営層も含めた全常勤職員が評価基準に基づきアンケート調査に回答

< 評価基準 A >

「できている」..... 標準項目がすべて実施されていると思う場合

「できていないところがある」..... 標準項目の一部に実施されていないものがあると思う場合

「できていない」..... 標準項目が一つも実施されていないと思う場合

- 2 . 経営層が合議により評価基準に基づき事業分析シートを作成

< 評価基準 B >

標準項目ができていることが確認できるのは、以下のすべてを満たした場合である。

事業者が当該事項を実施していること

(項目の示す内容が「できている」状態である)

その実施が継続的 (必要性を認識し、計画的) であること

(偶然できているのではなく、再現性がある)

その根拠が示せること

(資料等で具体的に示すことができる)

(4) 調査期間と取り組み方法

期間：平成 23 年 10 月 4 日 ~ 平成 23 年 10 月 28 日

(予定より締め切りを延期し、回収率を高めた。)

方法： 職員アンケートは回答用紙を機関に直接郵便で送付する方法をとり、匿名性を高めた。

経営層合議による事業分析シートについては、区立保育園の性質上
4 保育園の経営層および杉並区保育課が記入した。

(5) 職員アンケートの配布・回収状況

	配布数	回収数	回収率
馬橋保育園	14	14	100%
阿佐谷南保育園	24	23	96%
久我山東保育園	22	22	100%
阿佐谷東保育園	20	18	90%
4園	80	77	96%

(6) 職員事業自己評価結果

評価機関により、各園の経営層職員合議による事業分析内容や職員の自己評価内容・自由記述意見などが、検証・分析され、カテゴリー別の講評や全体講評などに反映させた第三者評価結果報告書にまとめられた。

【 4 】 福祉サービス第三者評価

【 2 】の利用者調査・【 3 】の職員調査の結果を踏まえ、評価機関が以下の手法で、福祉サービス第三者評価を実施した。

(1) 訪問調査の実施

1. 評価機関で利用者調査結果および経営層と職員の事業自己評価結果、各園から提出された資料を分析したうえで、訪問調査を行った。
2. 各園への訪問調査の内容
 - ・担当評価者3名が各園を訪問
 - ・事業分析シートに沿って経営層や職員からヒヤリング
 - ・園内の見学・観察
 - ・昼食の試食
 - ・各種記録・文書・帳票類の確認
3. 杉並区保育課への訪問調査
区立保育園の性質上、一部調査項目については評価機関が保育課よりヒヤリングを行った。

(2) 評点の付け方と評価方法

1. カテゴリー1～7
評価機関が前述の評価基準A・Bに基づき、「標準項目」の実施状況を確認して評点を付ける。

< 評点の付け方 >

評点は標準項目の実施状況を以下のルールに基づき、記号化したもので、評価項目ごとに付けられる。

- ・ 標準項目の実施が確認できた場合は
- ・ 未実施・確認不可の場合は
- ・ ○ は左端から配列し、△ は右端に寄せて表示
- ・ 「非該当」の標準項目は、評点の構成要素から除く

2. カテゴリー 8

評価機関が各評価項目の趣旨に則り、昨年に比べての向上・改善の成果を確認して、以下の3つの標語で表示する。

< 標 語 >

- ・ 改善に向けた計画的な取り組みが行われており成果として現れている
- ・ 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- ・ 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

3. 評価講評

全体及び評価項目ごとに評価講評が記載される。

(3) 報告書の作成

評価機関が担当評価者の合議により事業分析を行い、東京都の様式による福祉サービス第三者評価結果報告書を作成した。利用者調査結果、評価項目ごとの評点と講評、全体の講評等から構成されている。

(4) 評価結果のフィードバックの実施

評価機関が、作成した福祉サービス第三者評価結果報告書に基づき、事業の評価結果を各保育園にフィードバックした。各園の良い点、改善点が示され、今後の更なるサービスの質の向上につなげるための話し合いが行われた。別途、杉並区保育課も評価機関よりフィードバックを受けた。

(5) 福祉サービス第三者評価結果

以上の経過を経て、評価機関が、以下の最終報告書を作成し、東京都福祉サービス評価推進機構に提出した。以下の報告書の内容が東京都ホームページの「とうきょう福祉ナビゲーション」で広く市民に公表される。

- ◆ 馬橋保育園 第三者評価結果報告書
- ◆ 阿佐谷南保育園 第三者評価結果報告書
- ◆ 久我山東保育園 第三者評価結果報告書
- ◆ 阿佐谷東保育園 第三者評価結果報告書

福祉サービス第三者評価結果

- ◆ 馬橋保育園 第三者評価結果報告書・・・P47
- ◆ 阿佐谷南保育園 第三者評価結果報告書・・・P77
- ◆ 久我山東保育園 第三者評価結果報告書・・・P107
- ◆ 阿佐谷東保育園 第三者評価結果報告書・・・P137

平成23年度
東京都福祉サービス第三者評価
評価結果報告書

杉並区立馬橋保育園

調査対象	保育園を利用している1歳から5歳までの園児70名の内、家庭数の保護者62名を対象とした。記入者は母30(73%)名、父2名(5%)、父母一緒に2名(5%)、無回答7名であった。年齢は20代5%、30代66%、40代15%、無回答14%であった。
調査方法	区担当者及び園長に対して、2回の機関説明会を行った後、機関が用意したアンケート一式(アンケート、依頼手紙、切手付き封筒)を、園から保護者に手渡してもらい、回答は保護者から直接機関へ郵送してもらい匿名性を担保した。機関で集計・分析して区及び園に報告した。
利用者総数	62
共通評価項目による調査対象者数	62
共通評価項目による調査の有効回答者数	41
利用者総数に対する回答者割合(%)	66.1

利用者調査全体のコメント

総合的な感想では「大変満足」42%、「満足」44%、「どちらともいえない」5%、「不満」7%で利用者の86%が満足しているという結果になった。88%以上が「はい」と評価した設問が、問2、問10、問11の3問で、全15問のうち「はい」と回答した人が50%以下はなかった。自由記述欄に41名中30名が記述しており、「本当にお世話になり、感謝しております」「安心して子どもをお願いする事ができます」「とてもアットホームな感じで子ども達も過ごしやすい」「職員は皆いつも笑顔で気持ち良く預けられる」など感謝と満足の気持ちが多く書かれていた。一方、「職員の態度や対応には腹立たしく感じる事がしばしばある」「保護者会などの行事は土曜日にしてほしい」「夏場の蚊が非常に多い」「施設の老朽化と園庭や部屋の狭さが気になる」「誰でも入れる門、不審者の侵入等不安に思う」など15名が要望や苦情などを記入していた。また、調査については「調査して結果をレポートにするだけなら必要ない。改善する事を実行してほしい」との意見もあった。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	35	5	1	0
「はい」86%、「どちらともいえない」12%、「いいえ」2%、「非該当」0%であった。設問記述には「子どもは美味しいと言っている」「毎日展示されている食事をみながら、おいしそうな体によさそうな物ばかりだなあと感じています」「1才児で月齢に合わせて考えてくれて良かった。個人的に話を聞いてくれて合わせてもらえた」「本来なら「はい」に をするけれど、放射線の心配からできなくなった。(野菜や牛乳の産地など)」などの記述があった。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	37	4	0	0
「はい」90%、「どちらともいえない」10%、「いいえ」0%であった。設問記述には「園庭は狭いですが散歩や公園などの機会が多く配慮していただいていると思います」「午前中だけでなく、夕方も戸外遊びの機会を作って下さっていて感謝しています」などの記述があった。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	35	2	1	3
「はい」86%、「どちらともいえない」5%、「いいえ」2%、「非該当」7%であった。設問記述には「とても良いです」「スポット延長等もスムーズに利用できるので安心して仕事ができます」「提出した書類できっちり時間が決められているわけではなく、電車の遅延などの10~15分程度の遅れには柔軟に対応していただいています」「迎えに行く予定の人が行けなかった場合、私自身に言ってくればよいのだが、無理言って迎えに行ってもらった人に色々言われて、その人は不快な思いをした」などの記述があった。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	33	7	1	0
「はい」81%、「どちらともいえない」17%、「いいえ」2%であった。設問記述には「いつも気にかけていただき大変感謝しておりますが、1回だけ38も熱があったのに普通に庭であそんでいたのが、ビックリしました」「家に帰って気付くと目の上にケガがあったが説明なかった」「先生によって違うかなと感じます。親としては過剰なくらいの方が実はうれしいかも」「真っ先に『すみません』と言われるとドキッとするのですが、報告は適切だと思います」などの記述があった。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	22	16	3	0
「はい」54%、「どちらともいえない」39%、「いいえ」7%であった。設問記述には「地震の時はどうするのか連絡の仕方しか聞いていない。子ども達の防災頭巾とかどこにあるのか・・・」「確認したことがないので、先生方を信じています」「老朽化に対応できていない」「子ども同士がケンカをしていても、先生がそれに気付かない場面がある。しっかり周りに目を配ってほしい」「具体的な内容について常日頃定期的に説明してもらっているわけではないので、どんな対策が把握できていない」などの記述があった。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	25	12	4	0
「はい」61%、「どちらともいえない」29%、「いいえ」10%であった。設問記述には「たまに平日の行事があります。しかし複数日もうけれ親が都合良い日を選べます」「予定時間外でも面談してくれたり助かります」「平日のみなので参加できない。土曜は人が足りないとの事」「運動会は1歳のクラスは出場しない。その理由がわかりません。あそびには来て下さいと言われたが・・・。他の保育園では全員参加なのですが」などの記述があった。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	34	6	1	0
「はい」83%、「どちらともいえない」15%、「いいえ」2%であった。設問記述には「様々な先生方が毎日声をかけて下さりとても頼りにしています」「毎日必ず一言でも声をかけてくれるため相談しやすいです」「早番と遅番の先生方がいるので、充分であるかと言われるれば充分ではないが、まあまあである」「送り迎えの時間帯は先生も親もあわただしいので、会話はあまりないですが、こちらが相談したい旨伝えれば時間を作っていただけます」などの記述があった。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	33	6	0	2
「はい」80%、「どちらともいえない」15%、「いいえ」0%、「非該当」5%であった。設問記述には「姿勢はあるが時間がない...というのが印象です」「職員が手薄な時があるのが気になります」「担任の先生は忙しかったり朝や夜はいなかったり、時間が合わない。また顔を合わせても、他の子どもをみなくていけないかったりする」などの記述があった。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	29	9	1	2
「はい」71%、「どちらともいえない」22%、「いいえ」2%、「非該当」5%であった。設問記述には「守ってくれていると思っておりますが」「個人面談の時～ちゃんはこう、～くんはこう、とか他の子の名前を出して話していたので、うちの子の事も色々言われているかなと思った」などの記述があった。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	36	5	0	0
「はい」88%、「どちらともいえない」12%、「いいえ」0%であった。設問記述には「先生皆に名前をおぼえていただいて、あいさつもしていただいて、あたりまえかもしれませんが、うれしいです」「幼児クラスになると一気に先生の数が減るので乳児クラスに比べると少し気になります」などの記述があった。				

11. 職員の対応は丁寧か	36	4	1	0
「はい」88%、「どちらともいえない」10%、「いいえ」2%であった。設問記述には「言葉づかいが慣れ慣れしいと感じる若い先生もいる」「あいさつはしてくれる(職員)」。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	21	14	5	1
「はい」52%、「どちらともいえない」34%、「いいえ」12%、「非該当」2%であった。設問記述には「今のところ特に不満もなくみていただいていますので」「トラブルがあった際、どの先生も真っ先に「すみません」と言うので、お世話になっているこちらから、それ以上不満などが言えなくなります」「日々忙しくて職員とじっくり話したり他の人に聞かれないように相談することは難しい。(個別面談は月に一度のため)」などの記述があった。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	23	13	2	3
「はい」56%、「どちらともいえない」32%、「いいえ」5%、「非該当」7%であった。設問記述には「要望しか言ったことはありませんが、きちんと対応していただいております。土曜日の保育は先生の人数も少ないので仕方ありませんが、少し雑に思えます」「対応はしていただいていると思います」などの記述があった。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	22	1	14	4
「はい」54%、「どちらともいえない」2%、「いいえ」34%、「非該当」10%であった。設問記述には「知っているが、こちらも平日のみ、しかも期間が決められているので、相談は不可能(全く役に立っていない)」との記述があった。				
15. [過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に] サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	11	2	0	0
説明を受けた13名の回答は、「はい」85%、「どちらともいえない」15%であった。設問記述には「園長先生が園のことを説明して下さいました」との記述があった。				

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1(1-1)	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	9 / 9
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点()	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <input type="radio"/>非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点()	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <input type="radio"/>非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点()	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/>非該当

カテゴリー1の講評

子どもが「保育園に来るのが楽しみになる」ような保育の実現をめざしている

園の目標として「心も体も健康で明るい子ども、命の大切さを知り美しいものに感動できる子ども、思いやりの気持ちを持ち友だちと一緒に意欲的に遊べる子ども、個性豊かで創造的な子ども」を掲げ、年間指導計画などを通じて実現に取り組んでいる。保護者への説明会の場で、こうした園の目標を説明し、理解を得ている。また、園目標を補完する食育目標を作成し、「食べる意欲、食物への関心、食事の雰囲気、おいしく食べる」をあげている。こうした取り組みを通じて、子ども一人ひとりが「保育園に来るのが楽しみ」と感じることを大切にしている。

設置者の決定事項、園長の決定事項、職員会議の討議を経る事項が明確になっている

設置者である区が決定する事項、管理者である園長が専決する事項、マニュアルに基づいて職員それぞれが実行すべき事項の別が明確になっている。管理にあたる園長と主査を、クラスリーダーが補佐し、職員会議その他の連絡会議の調整機能が適切に働き、日々の保育の実践が効率的に進められている。職員全体が一丸となって課題に取り組む風土が形成され、園長をはじめとする職員の良好なチームワークが形成されている。園長をはじめ各職員が身に付けている「馬橋らしい保育」を、如何にして日々の保育の隅々に行き渡らせるかが今後の課題といえる。

職務・役割分担表に基づき、園長・主査・各職員がリーダーシップを発揮している

職務・役割分担表に基づいて、園の責任者である園長、主査、保育士やそのほかの職員が、自己の職責や役割をよく理解している。中堅職員層のなかから、2名の「保育の向上を考えるリーダー」が指名され、保育内容の向上の中心となっている。園長・主査は、職員会議や、日々のOJTなどのなかで、自己の考えをわかりやすく職員に伝えている。毎月の職員会議、毎週の職員定例会議、毎朝の連絡会議、そのほかクラス会議、プロジェクト別会議などによって意思の疎通が図られ、会議への参画を通じた人材育成への取り組みが行われている。

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ-毎の標準項目実施状況 4 / 4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ-毎の標準項目実施状況 7 / 7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

区立保育園に相応しく、園の運営のコンプライアンスと職員の職業倫理が確立されている

区が設置し、直接運営する保育園として、東京都及び特別区の条例その他の内部規程に基づき適正な運営が行われている。園は、児童福祉法35条の規定に基づく区の保育所条例によって設置されている「直営園」である(ちなみに、同条例による保育所には、直営園のほか、指定管理者に運営を委託する園がある)。区長と区議会による監督・監視のほか、東京都による内部監査が実施され、園長はじめ、職員の間には法令遵守の姿勢が定着している。また、児童憲章や法令によって社会福祉事業者に求められる、倫理とコンプライアンスが確立している。

第三者評価の受審や職員会議での振り返りなどが、園の運営の改善に活かされている

過去における福祉サービス第三者評価の受審内容を真摯に受け止めて参考とし、また、職員会議・クラス会議・プロジェクト打合せなどでの振り返りの結果を、園の運営の改善に活かしている。保護者会の場合その他で、施設の改修や将来の建て替え、区の方針のなかで当園に求められている課題などをできるだけ分かりやすく説明している。今後の課題として、保育指針によって努力義務とされている「自己評価制度」を、第三者評価と関連付けて活用するとよいだろう。なお、保育や子育てをめぐっては、区のホームページのなかに、詳細な情報が提供されている。

地域の子育て事業に貢献するために、在宅子育ての支援に積極的に取り組んでいる

地域の子育て支援事業に参加し、在宅子育ての親子を支援する「ふれあい保育」(保育所生活体験)や、園の見学に積極的に応じている。地域貢献の一環として、地元児童館を拠点とする、地域の「子育て支援ネットワーク」地域の小学校・保健センター・幼稚園・短時間保育施設・主任児童委員などがメンバーに参加している。地元中学校2校から4名、高校1校から3名、福祉系大学1校から1名の実習生(職場体験を含む)を受け入れるとともに、区の条例に基づき、ボランティアを受け入れ、オリエンテーションを行っている。

3		カテゴリ-3	
3		利用者意向や地域・事業環境の把握と活用	
		サブカテゴリ-1(3-1)	
		利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8 / 8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評			
<p>多様な方法で保護者の意見や要望を聞き、苦情があるときの申出方法を知らせている</p> <p>保護者会の場合などを通じて「苦情・意見・要望などがあるときは、遠慮なく園長や主査・担当の職員に申し出てください」と伝えている。また、職員が様々な機会を通じて、保護者の意見や要望を聞くように努め、連絡ノートから、保護者の意見や要望を汲み取るように努めている。東京都の福祉サービスの利用をめぐることは、各市区町村に苦情対応機関が設けられており、園の場合は、区に「保健福祉サービス苦情調整委員」が置かれている。この制度(第三者委員制度)の利用方法について、園内に掲示しているが、利用されるケースは極めて少ないようだ。</p> <p>行事後のアンケート調査、連絡帳への記載内容などから保護者の意向の把握に努めている</p> <p>第三者評価の受審のほか、行事後のコンパクトなアンケート調査や、保護者と職員とのやりとりのなかから、保護者の意向や満足(CS)の状況を把握し、職員会議で検討している。各行事やプロジェクトの別に検討会を設け、行事計画書とアンケートの結果などを比較し、その振り返りを記録して、次回の運営に役立てている。送迎時の対話や連絡帳への記入のなかから、保護者の意向や要望を読み取り、職員会議に報告し検討している。また、「クラスだより」への掲載や、保護者の会合などを通じて園の状況を伝え、保護者との意識の共有に努めている。</p> <p>地域の「子育て支援ネットワーク」への出席・行政機関との連携等、情報を収集している</p> <p>地域の「子育て支援ネットワーク」に参加し、地域の子育てや子どもに関する情報を収集している。ちなみに、同ネットワークは、子育てをめぐる「親子その他の交流・情報の提供や交換・子ども自身の参加・区民の要望への対応・個別ケースの解決をめぐる連携・関係行政機関の連携」を目的とし、多くの貴重な情報を発信している。また、園長もしくは主査が、区立保育園・保育室の会合に参加し、情報の収集・交換にあたっている。こうして得た情報を、区の広報物・保育専門誌・インターネットなどから収集した情報とともに整理し、職員間で共有している。</p>			

4		カテゴリ-4	
4		計画の策定と着実な実行	
		サブカテゴリ-1(4-1)	
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	11 / 11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4 / 4
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>基本計画から年度計画へと、多様な計画が整合性をもって策定、展開されている</p> <p>区が策定する「保健福祉計画」(同計画の「すべての家庭がゆとりある子育てができるために」と「基本計画」に基づき、他の43園とともに、園の基本的方向が決められる。区によって、年度ごとに経費予算が策定され、当園の年間計画の枠組みが決まる。これらをもとに、園は、年間指導計画を作成している。また、園の「チャレンジプラン」も同様に作成されている。なお、園独自に「保育や子育てのあり方をめぐる中長期的な展望」をまとめておく、各種計画の作成や日々の保育のあり方を考えるうえで役立つと思われる。</p> <p>職員がそれぞれの持ち場から各種計画の作成に参画し、その手順がルール化されている</p> <p>区の担当課によって、区立保育園としての基本計画・年度計画の作成作業が行われる。年度計画の作成にあたっては、園長会を通じて要望を述べ、また、細部については区の担当者との連絡を取る。区の経費予算のなかで、園としての年間指導計画と、これを展開する月次・週案・日案などの指導計画、さらには、食育や行事などの部門計画が作成される。作成の手順がルール化されており、各クラスや各プロジェクトチーム、職員会議全体会議などにおいて真剣な検討が行われる。作成作業にはすべての職員がそれぞれの役割や職務に基づいて参加する。</p> <p>危機管理その他の安全管理マニュアルを整備し、子どもの安全の確保に万全を期している</p> <p>区保育課の危機管理マニュアルのほか、各種のマニュアルを整備し、職員会議などで、非常発生時を含め、子どもの安全確保のための役割を打ち合わせている。保護者の子どもの安全確保への関心は高く、園をあげて、日頃から各種避難訓練、医療機関との連携、防犯対策、救急法の体得、安全をめぐる情報の共有などに取り組んでいる。今回の東日本大震災のときに、職員それぞれが子どもの安全確保のために冷静に行動し、すべての園児を保護者の出迎えまで無事に預った経験が、危機に遭遇したときの行動への心構えの確立へとつながっている。</p>		

カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 8 / 8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 7 / 7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が運動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ5の講評		
<p>常勤職員のすべてが保育士等の有資格者であり、専門性の高い人材構成が実現している 常勤職員14名のうち12名が保育士資格を持ち、専門性の高い人材構成が実現している。前年度の常勤職員の退職者は1名であり、定着率が高い。平均年齢41歳(在職年数3年)といずれも十分な経験を持ち、区立保育園として転勤制度があるなかで、園の子ども一人ひとりを知る職員が多く配置される結果となっている。0歳児保育を行っておらず看護師がいないので、健康支援について、園長以下の保育士職員がカバーしている。常勤職員を補う保育補助などの非常勤職員が16名が配置され、いずれも適任者を得ている。</p> <p>職員一人ひとりの能力向上に向け、OJT・集合研修・自己啓発の奨励に取り組んでいる 職員の「チャレンジプラン」に基づいて、全体の研修計画を策定するとともに、個人それぞれの希望に基づき、区の研修の受講などを奨励している。園長が、「チャレンジプラン」をもとに個人面接を行い、OJTへの心構え・集合研修・自己啓発について助言し、その後の面接でフォローしている。職員それぞれの学習意欲が高いことが園の特色と言え、職員が相互に助言し学び合うという風土が根付き、能力開発に貢献している。今後の課題として、保育の世界で生きるための、自立したキャリア形成への取り組みの支援が、ますます重要になると考えられる。</p> <p>区立保育園として適正な処遇システムが整備され、高いモチベーションが維持されている 区立保育園として人事システムが整備され、処遇レベル・労働条件・健康管理・福利厚生制度などが整備されている。保育の現場では、直接、子どもや保護者と向き合うために、責任をめぐるストレスの管理など、メンタル面の配慮が重要となる。保育をめぐる価値観の共有や、会議や休憩時の園長を含む職員同士の会話などを通じて、指導的機能やモチベーションが維持され、園内の随所に図書が置かれ、「学ぶこと」が重視されている。また、「職員相互がたすけ合う精神」が、職員にとって、生きがいや働きがいを感じられる、園の職場風土をつくっている。</p>		

7			カテゴリー7	
7			情報の保護・共有	
			サブカテゴリー1(7-1)	
情報の保護・共有に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7 / 7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる			評点()	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している			評点()	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている			<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー7の講評				
<p>紙媒体とパソコンに入力した情報の両方が整然と整理され、厳正に管理されている</p> <p>紙媒体の書類及びパソコンに入力した情報の両方が、種類や重要度の別に整理されている。保管している情報ごとに閲覧やアクセスの基準が決められ、情報の外部流出、不正使用の防止策を講じるとともに、保管棚・保管キャビネの施錠を励行している。個人情報を含む画像の取り扱い、ビデオ・写真撮影・情報提供報告など、情報管理に関する内部規程を作成し、個人情報、とくに子どもの個人情報の取り扱いに厳正を期している。園児に関する情報を最新の状況に保つように心がけ、乳児クラスについては、毎月所定の事項を記入し、児童票の内容を更新している。</p> <p>区の個人情報保護条例及び国のガイドラインに従って個人情報を取り扱っている</p> <p>区の個人情報保護条例に基づくほか、「福祉関係事業者における個人情報の適正な取り扱いのためのガイドライン(厚生労働省)」に沿って、個人情報を厳正に取り扱っている。非常勤職員を含む職員全員に、職員会議の場などで、個人情報の適切な取扱方法を徹底し、ボランティアや職場体験実習生などにも、オリエンテーションなどを通じて説明している。職員間の情報の共有化を推進するとともに、園だよりなどを通じて、保護者とも情報を共有するように努めている。また、視覚に訴える情報を重視し、「画像付きの広報物や掲示物」の活用を図っている。</p>				

カテゴリ-8	
8	カテゴリ-1～7に関する活動成果
サブカテゴリ-1(8-1)	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている <ul style="list-style-type: none"> ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」
	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
<p>子どもの成長に合わせたカリキュラムの作成に取り組み、発達状況が把握されている</p> <p>園全体で、子どもの成長に合わせたカリキュラム 指導計画 の作成に取り組んでいる。その結果、担当職員が園児一人ひとりの発達状況を具体的に把握できるようになり、保育目標の進行状況がチェックでき、適切に対応ができるようになった。こうした経緯を、指導計画、クラスだより、クラス日誌などから確認することができる。</p>	
サブカテゴリ-2(8-2)	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている <ul style="list-style-type: none"> ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」
	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
<p>職員の研修参加への意欲が旺盛で、「保育の基本」を学ぶ職場風土が形成されている</p> <p>職員が、区が開催する保育研修プログラム、民間の研修セミナーなどに積極的に参加している。職員個人が、自己啓発として自費によって参加しているケースもみられる。また、園長・主査が中心となって、専門書によって、「育ちの基本」を学ぶことに努め、日々の保育の実践のなかに、その成果が着実に活かされていることが、研修記録、保育日誌などからうかがわれる。</p>	
サブカテゴリ-3(8-3)	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている <ul style="list-style-type: none"> ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」
	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
<p>子どもの個人情報の取り扱いの基本を忠実に守り、保護者からの苦情が生じていない</p> <p>子どもの個人情報の取り扱いの基本を忠実に守り、保護者からの苦情が生じていない。「書類はカギをかけて保管する」「外部の人の見えるところに、個人情報を放置しない」「個人情報に関する書類は、使ったらその都度片づける」「PCには、パスワードを用いる」といった基本の励行につとめていることが、会議録や、現場の状況から確認できる。</p>	

サブカテゴリ-4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

消耗品費、備品費の節減につとめ、造形の教育に必要な用品の購入費などを捻出した

保育課が区立保育園の運営の効率化を推進するなか、消耗品については園長・主査が中心となって、備品費については、保育課の担当者とも連携して、「必要な都度購入して、余分なものは購入しない」ことを徹底し、節減に努めた。そうした努力によって、たとえば造形教育などにおいて必要な用品・資材の購入費を捻出した。その結果、「折り紙が上達した」「絵を画くことが好きな子どもが増えた」「保育室の整理が進んだ」などの効果があがっていることが、クラス日誌や現場の状況から分かる。

サブカテゴリ-5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

「園に来てもらうこと」によって、園と地域との良好な関係の構築が進んだ

保護者や地域の人びとに「園に来てもらうこと」によって、園が地域の保育や子育てをめぐって、有用な場であることが感じられるように、様々な努力をしている。防犯に留意しつつ、保護者が休業日にも気軽に立ち寄り、また、育児休業を利用して来園し、職員と相談することができるといった配慮を行っている。卒園児などが気軽に来てくれ、近隣とも良好な関係が構築されている。そうした効果があがっていることを、来園者名簿、園日誌などから知ることができる。

サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

共通評価項目																
サブカテゴリ1																
1	<p>サービス情報の提供</p> <p style="text-align: right;">サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4 / 4</p> <p>評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している</p> <p style="text-align: right;">評点()</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目															
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当														
サブカテゴリ1の講評																
<p>利用希望者へ提供する情報は、具体的でわかりやすく、園の特徴が伝わる</p> <p>利用希望者には、区からの「保育園のしおり」と「馬橋保育園しおり」を提供している。利用希望者に渡される「馬橋保育園しおり」には、園の理念・基本方針・保育目標が、分かりやすく書かれており、職員の保育への考え方が明確に表現されている。また、保育園の概要として保育時間・職員数・年間行事・保育園の遊具・見取り図など具体的に記載されている。「馬橋保育園のしおり」には、通園する際の約束事や注意点などが細かく記載されている。</p> <p>利用者の立場になって、必要な情報を提供している</p> <p>しおりや掲示物は、見やすくレイアウトを工夫し、イラストや写真を入れて一目で分かるようにしている。持ち物のしおりでは、布団カバー(敷・掛)の作り方など、初めて保育園に子どもを預ける保護者にとって分かりにくいことは、しおりに絵や写真を入れて、細かい注意点や作り方のコツを記載し、実物見本を用意して参考にしてもらうようにしている。園の入口にある掲示板には、園の行事や区からの情報など、近隣の人にも関心を持ってもらうように掲示している。また、玄関の横には、発行しているしおりやお知らせなどタイムリーな情報を掲示している。</p> <p>利用希望者の問い合わせや見学には、予約受付をして丁寧に対応している</p> <p>見学は電話で予約を受け、10月から見学会を行っている。1日に1回、3組位の親子に30分間位の見学と説明をしている。1ヵ月9日～11日実施しており、20組位の見学者が訪れている。「気軽に遊びに来ませんか」というチラシを作成して、散歩先でも配布してお誘いしている。現在では、園の前を散歩している人や散歩中に出会った人も気軽に寄ってくれるようになってきている。また、育児相談や園庭の開放も行き、近隣の親子に園を理解して利用してもらうきっかけとしている。</p>																
サブカテゴリ2																
2	<p>サービスの開始・終了時の対応</p> <p style="text-align: right;">サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6 / 6</p> <p>評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている</p> <p style="text-align: right;">評点()</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目															
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当														

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評		
<p>園の基本理念・方針等を入園説明会や個人別面談で説明し、同意を得ている</p> <p>新入園児には、2月に入園内定のお知らせが届き、3月の中旬に面談と健康診断を行っている。3月末の土曜日に行う入園説明会では、園の基本理念・方針・お願い事項等を細かく説明している。説明会では質疑応答を行い、確実に保護者の理解を確認し合意を得るようにしている。また、個人別面談を行い、個別の状況を把握している。それぞれの説明時の内容は保護者会等の議事録に記載し、今後に役立てている。</p> <p>年齢に応じた対応をして、保護者が安心して預けられるようにしている</p> <p>新入園児は、3月下旬に子どもと保護者一緒に個人面談を行い、保護者の疑問や不安を聞いて丁寧に対応し、保育内容を説明して同意を得ている。また、保護者からは「家庭状況票」「児童の状況」などの書式に記入されたものの確認や、緊急時連絡先、アレルギーの有無、延長保育の有無、慣れ保育の有無など確認し、園への要望なども記録している。1歳児は入園から1ヵ月後に保育参加と個人面談を行い、保護者が安心して預けられるようにしている。</p> <p>新入園児は、面接後遊びに来たり、慣れ保育をして温かく見守られている</p> <p>新入園児には早く園に馴染んでもらうために、子どもに合わせた登園・降園を行い、状況に応じて1週間位の慣れ保育を行っている。また、初日は保護者と一緒に個別に保育を行い、不安を解消するように細心の配慮をしている。また、必要に応じて個別に話し合いを持つようにしている。途中退園する園児で区内の保育園への転園の場合は、児童票を送って保育の継続性を確保している。卒園児や退園児へは、園の行事のお誘いの手紙を出したりして、支援の継続性も配慮している。</p>		
サブカテゴリ-3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12 / 12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している
 評点()

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3
 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している
 評点()

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4
 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している
 評点()

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3の講評

個別状況を把握して記録し、発達に応じた個人別保育計画を作成している
 子どもの一人ひとりの状況を、児童票・連絡帳(1、2歳児、3歳以上は必要に応じて)に記録して把握している。これらの資料を基に年間・月間・週カリキュラムを作成している。保育計画は、新保育指針を踏まえながら発達過程に合わせた個人別計画を職員全体で話し合いをして作成している。園独自の保育課程を作成して、年齢毎の発達のめやすに基づき、生活・言語・認知・人間関係・情緒・運動・表現の項目に分類して、個別の保育計画を立てている。これらには職員による「育ちのきほん」の勉強会の成果が表れている。

保護者の希望や意見は、保護者会・個人面談等で把握し保育計画に反映している
 子どもの様子の観察に加え、保護者の要望を積極的に聞き取り、保育計画の作成と見直しに役立っている。連絡帳や保護者との日々の会話からの情報収集のみでなく、保護者会・個人面談を実施して、希望や意見を聞き見直している。また、全職員が参加する職員全体会議で反省と検討を行い、月計画に反映している。保護者会でサッカーの得意な保護者からの提案があり、サッカーをカリキュラムに取り入れるため計画を作成し、実施している。

職員全体会議で指導計画検討会を行い、全職員で情報を共有している
 日常の保育の問題や計画は、朝のミーティング・昼の定例会・夕の職員会で情報・意見交換して共有している。また、全職員が毎朝出勤時に園日誌を閲覧し、園児の状況や伝達事項などを把握している。日々のミーティングでの情報共有や上位者への報告・連絡・相談が徹底しており、緊急に計画を変更する場合の仕組みも整っている。職員全てが常に園児の情報を共有する仕組みができており、指導計画検討会は2日間かけて1歳から5歳まで個別計画を検討している。

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p>個人情報については、園運営マニュアルを基にプライバシー保護を心がけている 園の対応は、園運営マニュアルに規定された個人情報保護規定と職員の心得に則って行っている。個人情報については区の規定を含めて12ページにわたっており、個人情報を含む画像等の取り扱いについてや情報提供報告、アンケートの取り扱いについてなど7項目に規定されている。情報を外部とやりとりする必要がある場合には(学童保育や小学校からの問い合わせなどが多い)保護者の同意を必ず得てから提供している。</p> <p>子どもの思いと保護者の価値観や習慣を尊重した支援を行っている 子どものプライバシーに配慮して乳児のトイレは3個設置している。トイレにはカーテンを付けて隣からは見えないようにしている。オムツの交換も子ども達から見えない場所に交換台を設置している。これらは乳児期から社会のルールやプライバシーを守る気持ちを育てる意味も含んでいる。保育士は子どもと平等に接し、子どもの思いを受け止め、意思を尊重している。アレルギーや宗教的なことと同様に個々の価値観や習慣も受け入れるようにしている。また、子どもの思いに沿った言葉かけをするように努め、一人ひとりに相応しい個別の支援を行っている。</p> <p>職員は自主的に虐待防止などの研修会に参加し、園内研修で共有している 外部で行われる個人情報や虐待防止研修会・勉強会などに、職員が自主的に参加して学んでいる。学んだ知識や情報は、園内研修会で報告されケーススタディを行うなど、職員間で共有する仕組みがある。何らかの問題を感じたときには、職員間ですぐに話し合えるチームワークを整えている。もし、園児に虐待の疑いが生じた場合は、速やかに園長に報告し、園長の判断で保護者と面談することもある。必要に応じて家庭支援センターへ連絡する仕組みもできている。</p>		

サブカテゴリ-6	
6 事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 11 / 11
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点()	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している <input type="radio"/>非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点()	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる <input type="radio"/>非該当
評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している 評点()	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている <input type="radio"/>非該当

サブカテゴリ-6の講評

園運営マニュアルを整備して、標準化を図っている

児童憲章・児童福祉法から始まり、約70項目に及ぶ園運営マニュアルを整備して、定められたキャビネットに保管しすぐに見ることができるようにしてある。このなかには、区から配布されたマニュアル(規準書・手順書など)もあるが、園独自で作成されたマニュアルも多く含まれている。書式やサイズなどバラバラだったものを、統一して分かりやすいものに改善し、誰もが見やすいマニュアルになっている。

業務水準を見直すだけでなく、レベルアップのための会議を持っている

杉並実践方針案に基づき、全職員で職員会議を行い、業務水準の見直しとして、前期反省会・年間反省会を行っている。また、それぞれの計画の策定時には、前年の反省や改善点を織り込み、全員で忌憚のない話し合いをしてよりよい保育サービスを提供できるように努めている。保育課程の策定から保健・食育計画、各クラスの年間指導計画、職務・その他の役割分担まで、提案された内容を全員で検討・議論を重ねて、全員に周知し、業務のレベルアップを図っている。

職員間のチームワークの良さと情報共有が、業務の水準を高めている

職員アンケートの自由記述欄には、特に良いと思う点として「職員関係、チームワークの良さ」「職員全体で全園児を見ていこうという姿勢」「ともに学びあい、高めていこうという姿勢」「小規模園なので、お互いの仕事を把握し、時間や情報を共有しやすい」などの記述が多く見られる。日頃から保育の話ができ、一人ひとりの保育への思いを語り合える集団である。また、人間関係が良いので、相互に自然な形で助け合うことができ、保育という仕事にやりがいと誇りをもって取り組んでいる。

サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	
		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	37 / 37
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている			
		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>月案や行事打ち合わせを通じて、発達段階に応じた保育の計画にあたっている</p> <p>各種の会議、なかでも「月案」や「行事」の打ち合わせを通じて、年齢別の発達段階に合致した保育の実現に力を入れている。発達段階については、年齢別の集団のほか、子ども一人ひとりの状況の把握に努めている。子どもをめぐる情報を職員が共有し、具体的な課題設定(「ねらいを持つ」)に心がけている。年長クラスの子どものみならず、自分なりに目標を持ち、それを完遂するように指導している。区立園の中では規模が小さく、園全体が家族のような良さを活かし、年齢別クラスの枠に捉われず、子ども同士が教え合い、授け合う風土を大切にしている。</p> <p>アレルギーを持つ子ども、あるいはその他配慮を要する子どもへの支援に努めている</p> <p>食物アレルギーを持つ子どもの給食に、十分な注意を払っている。間違えて、他の子ども用の食事を食べてしまわないように、名前のついたトレーを用いて配膳を行っている。同時に、その子どもの心を傷つけないように、外見は他の子どもと変わらない食事を用意している。特に配慮を要する子どもについては、巡回相談にあたる臨床心理士と相談しながら、保育士のスキルアップを行っている。発達段階の配慮についても、各職員が担任クラスのほか、すべての園児を知っている「馬橋の良さ」が発揮されている。</p> <p>「保育士の担当制」の採用によって、発達段階のなかで生じるトラブルを解決している</p> <p>乳児クラスについて、「保育士の担当制」を採用し、発達に伴う自我の発生のなかで生じる「噛みつき」などのトラブルの防止と解決にあたっている。担当制によって、少人数の子どもをみることによって、「噛みつき」が生じたときにも止めやすく、また、子ども同士が理解しあい、思いやりの心が育むように指導しやすい。「噛みつき」が生じたときには、両方の保護者に、その間の事情を説明することとしている。説明のなかで、子どもそれぞれの発達の違いの理解や、「爪を切っておく」など、怪我の防止への家庭での協力を求めることとしている。</p>			
2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている			
		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評	
<p>連絡ノートの利用や送迎時の対話などによって、園と家庭との生活の連続性を図っている</p> <p>連絡ノートや、園日誌(クラス日誌)を活用して、子ども一人ひとりの状況を正確に把握し、保護者との情報の共有に努めている。具体的には連絡ノート(朝夕連絡ノート)の記載内容に、保護者との対話や口頭の連絡を加えて、担当保育士が子どもの様子を十分に把握している。園日誌(クラス日誌)には子ども一人ひとりの状況を記入する設欄があり、園長以下の職員が情報を共有している。また、連絡ノートなどから、その日の子どもの様子を保護者が知ることができ、こうした情報の共有化が、園と家庭での生活の連続性のもととなっている。</p> <p>正しい日常的生活習慣を身につけることを通じて、家庭と園との連携を図っている</p> <p>日常保育の中で、子どもの正しい日常的生活習慣が身につくように努力している。「靴下や靴を履いたり、脱いだりすることを、自分自身でする」「後片付けや、持ち物の整理ができるようにする」といった、日常的な動作が、自然に身につくように指導に努めている。保護者に、「卒乳」(母乳からの卒業)の必要性を説いているが、無理強いとにならないように十分に留意している。1日10時間に及ぶ長時間の集団生活の中では、卒乳が、食べられない、眠れないなどの状況の改善につながる場合が予測されるが、個別の状況を把握し、対応方法に留意している。</p> <p>子どもそれぞれのリズムを維持し発達段階に合った「午睡」を行うように工夫している</p> <p>子どもそれぞれの状況に適した「午睡」のあり方に取り組んでいる。1歳児の場合は、「午睡」ばかりでなく、必要に応じて「午前寝」もさせている。2歳児以降の場合、入園時はその子のリズムに合わせて生活できるように支援し、午睡の指導にもこうした方法を取り入れ、2～3か月をかけて保育園のリズムに慣れるようにしている。他方、年長児である5歳児の場合には、他の年齢の子どもと時間をずらして寝などの工夫にも努めている。翌年からの小学校での生活を展望し、早く目覚めたら別室で本を読むなど、静かに過ごす方法を取り入れている。</p>	

3 評価項目3	
日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している	
評点()	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている
○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている
○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している
○非該当	
●あり ○なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている
○非該当	

評価項目3の講評	
<p>狭い園庭や園舎の使い方を工夫して、魅力ある遊びのための環境設定に力を入れている</p> <p>都市部の園であるために園庭や園舎が狭いという条件を克服して、魅力ある遊びの環境を設定している。職員が、保育に役立つ新聞記事などを、「ちょっと見て!こんな記事」というタイトルのノートにスクラップして参考としている。このノートは休憩室に置かれ、皆で話し合い、学び合うための教材やアイデアのもととなっている。職員全体が同じ目線から、発達段階に合致した子どものための遊びの環境を考え、現在は使っていないプールを埋めたり、保育室間の間仕切りを柔軟に移動するなど、現状の園庭や園舎を可能な限り活かす工夫が実行されている。</p> <p>日々、見通しを持ちながら、計画性がある保育の実践を進めるように努力している</p> <p>子どもが一日を規則正しく、リズム感を持って送ることができるように、毎日のプログラムを計画的に運用し、見通しを持った保育を進めるように努力している。この遊びの次は何をするか、子どもが毎日の段取りを理解できるように保育を実施している。その結果、子どもたちに規則正しい行動が身につく。たとえば「10時になったら、自分自身で所定の部屋に入る」ことが習慣となっている。そのため、職員が全員で計画性のある保育を目標とし、そのベースとなる保育過程、年間指導計画、月案、週案、デイリープログラムなどの整備に力を入れている。</p> <p>子どもたち自身が主体性を発揮して、潤いや魅力が感じられる園生活を実現している</p> <p>日々の保育のなかで、子どもたち自身の主体性が発揮されるように、できるだけ職員が支援に回り、子どもたちが自ら創意工夫して、自発的に行動する機会を多く設けるように留意している。たとえば、4歳児は卒園式に保護者に桜の花で桜茶を作って出している。地域の七夕まつりに参加したときには、普段から園内で飼育している大型の2匹の亀にちなみ、「亀」をテーマとして作品を出品した。夏の時期からは5歳児を中心に、だんご虫から始まり、セミ取りに夢中になっている。また、散歩のなかで自然に接し、木の実を絵画や工作に活かしている。</p>	

4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>行事を通常の保育の一部と捉え、子どもや職員への過大な負担の発生を避けている</p> <p>年間を通じて、「こどもの日・プール開き・プラネタリウム・七夕・運動会・芋掘り・冬のパーティー・新年会・節分・遠足・お別れの会」といった多彩な行事が行われている。しかし、こうした各種の行事を、あくまでも通常の保育の一部と捉え、いたずらにパフォーマンスを求め、子どもや職員に過大な負担が生じることを避けている。行事について、「クラスだより」や「園だより」などで、準備などの途中経過を保護者に知らせ、卒園児にも案内を出している。運動会には、保護者参加の種目があり、コミュニケーションを形成する機会としている。</p> <p>運動会などを通じて、子どもたち自身のチャレンジ精神を育むように取り組んでいる</p> <p>運動会では、毎年、5歳児が「竹馬」に挑戦している。参加する子どもが「竹馬」に成功するように、職員や4歳児以下全員が声援を送る。こうして、「竹馬」を通して、子どものチャレンジ精神が養われている。運動会が終わると、今度は自分たちの番だと、4歳児のなかには、早速、練習を始める子どももいる。ホールでは「お化け屋敷」が作られるのが恒例で、5歳児たちは、これにも熱心に取り組み、協力関係が養われる。また、卒園のお別れの会食に向けて、3歳児、4歳児が準備の一環として、チューリップを育てるといった、優しさがみられる。</p> <p>行事を通じて地域社会との交流を図り、多様な人びととの人間関係の理解を進めている</p> <p>行事は地域の人びととの交流を通して、園の役割を認めてもらうことにつながる。地域に向け行っている、ふれあい保育(保育所体験)や園庭開放とともに、行事の持つ役割の重要性を認識し、地域から多くの人びとが来園してくれるように、「お知らせ」を近隣にポストインしている。行事は、子どもたちが普段あまり接しないさまざまな人びとと交流する機会を作り、人間関係の理解とコミュニケーションの形成を体得する上で効果を上げている。また、実習生の受け入れや、ボランティアの参加も子どもたちの人間関係にとって重要であると考えている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目5の講評																			
<p>園舎の制約条件を克服して、長時間保育のなかで、快適に過ごせる環境を作っている</p> <p>園舎の広さに制約があるなか、早朝から夕方まで、さらには延長保育の終了時までを子どもが快適に過ごすには課題が横たわる。職員の悩み、要望の多くは「もっと部屋が欲しい」ということに集約される。しかし、職員はこうした厳しい条件を克服して、子どもたちが快適に過ごせる環境づくりに努力している。部屋と部屋とを分離せずに、低い背丈の調度で区切り、衝立やフロアマットを有効に利用し、部屋の一部を畳敷きにするなどしており、工夫して使っている。こうした配慮により子どもが穏やかに過ごせる環境が保たれている。</p> <p>園の規模が小さく子どもたちが互いに知り合い、安心して過ごすことができる</p> <p>園の規模が小さいということが活かされ、年齢の違う子どもたちが互いに知り合い、クラスを超えた交流が行われている。室内では月齢別にグループで過ごせるようにスペースを低い家具で仕切ったり、園庭ではネットを吊るして、小さい子どもにボールがあたらないようにしてサッカーをするなど工夫している。こうした工夫が子どもたち同士が互いに親しくなり、安心して一日を過ごせる状況を実現している。年長児が交代で当番を努め、毎朝、各クラスの出欠状況を調べ、人数を園長や調理室に報告しており、全園児のことが気になるようになってきている。</p> <p>職員間の引継ぎの仕組みを整備し、長時間保育に伴う隙間の発生を防止している</p> <p>一日の保育時間の間に、担当職員の交代が行われ、子どもの状況の把握をめぐる隙間が生じやすい。そこで、朝の打ち合わせ、園日誌の個人欄への記入、朝夕連絡ノートと乳児連絡ノートの確認などによる、引継ぎの励行が重要となる。こうした仕組みによって、担当が不在でも、保護者への適切な連絡が可能となっている。保護者へのアンケートからは「毎日、何か声を掛けてくれる」との回答がみられる。年度はじめの指導計画の作成に十分な時間をかけ、職員全員が、園の保育の仕組みをよく理解していることが、円滑な引継ぎの実現を可能にしている。</p>																			
6	<p>評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している</p> <p style="text-align: right;">評点()</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価</th> <th style="width: 70%;">標準項目</th> <th style="width: 15%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	<input type="radio"/> 非該当																	
評価項目6の講評																			
<p>献立会議を開いてメニューを検討し、食事の環境を工夫して食育に取り組んでいる</p> <p>毎月1回、献立反省会を開き食事をめぐる課題を検討している。メニューの基本は区が統一しているが、味付けや食材の切り方は園で工夫でき、園長の検食の結果や子どもの様子を見ながら調整している。残菜の状況を次に同じメニューを用いる時の参考とし、また、園における検討結果を区の献立会議に知らせている。食事の時には、年長児が当番となって、エプロンと三角巾を着けて配膳を行い、「いただきます」と食事開始の声をかける。子どもそれぞれの適量を把握し、量が多すぎて給食がつかないものにならないように注意している。</p> <p>打ち合わせに保護者も参加するなど、アレルギーを持つ子どもの食事に万全を期している</p> <p>食物アレルギーを持つ子どもへの除去食の調理に万全を期している。対象となるアレルギーは、鶏卵と牛乳で、たとえば、鶏卵アレルギーの場合、野菜炒めに卵以外を用いながら、形状や色が他の子どもたちの食事と変わらないように調整している。アレルギーをめぐる献立打ち合わせには調理師、担任保育士に該当児の保護者を加え、三者で検討にあたっている。アレルギー除去食の検討にはできれば看護師を加えたいと考えているが、0歳児保育を行っていないため、看護職員が配置されていないので担当職員は努力を重ねている</p> <p>季節の野菜を栽培し、クッキーづくりを行うなど、手づくりの食育に取り組んでいる</p> <p>季節の野菜の栽培に熱心に取り組み、トマト・オクラ・ジャガイモ・ピーマン・ゴーヤ・さつまいもなどさまざまな種類の野菜を育てている。収穫物はみんなで給食の時に食べたり、調理体験に使っている。5歳児は稲を育て、収穫したお米でおにぎりを作って食べている。近くの畑でさつまいも掘りをして、園児みんなでやさしいもパーティをして楽しんでいる。また、クッキーづくりにも挑戦し、今年度はさつまいもを使ったクッキーを作り好評であった。</p>																			

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目7の講評		
<p>子ども自身が病気や怪我などの危険を予知し、健康の増進につとめることをめざしている</p> <p>子どもが自分自身で傷病や事故に対する危険を察知し、予防する能力を備えるように指導している。散歩の時には、安全な道路の歩き方や、虫さされの予防方法などを教え、また、水筒を持参して水分補給する習慣を付けるなどの指導に努めている。幼児には、毎月、歯みがき・手洗い・うがいなどをテーマに保健学習を行っている。万一、保育園で子どもが怪我をしたり、持病が悪化したときなどの対応方法が定められ、「保育園のしおり」に記載されている。なお、医療措置が必要な時は、原則として、本人のかかりつけ医と連携するようにしている。</p> <p>定期的に身体測定・健康診断・歯科指導を行うなど、子どもの健康管理を支援している</p> <p>すべての子どもを対象に、毎月「身体測定」を行うとともに、春と秋の2回、「健康診断」を行っている。その他、「ぎょう虫検査」や歯科健診、「視力測定」、「眼科・耳鼻科検診」を行っている。また、4・5歳児には「歯みがき指導」をしている。健康と成長を記録する「健康カード」が作成されており、各保健行事の後で記入している。薬は原則として与えられないが、事情によっては、主治医の処方箋に基づき与薬を行っている。子どもたちの健康を様々なかたちで管理している。</p> <p>「保健だより」などによって、インフルエンザその他の感染症の情報を提供している</p> <p>「保健だより」「感染症のお知らせ」「園のしおり」などや、「お知らせボード」への掲示など多様な方法で、保護者にインフルエンザ、マイコプラズマ肺炎、扁桃腺炎などの感染症について、発生状況や人数、予防法などについて知らせている。他の子どもへの感染の恐れが高い百日咳、はしか、水疱瘡などは、医師の登園許可意見書に基づいて感染の危険が消失したと認められるまで登園を制限している。なお、園児のはしか・水疱瘡・怪我などの罹患・受傷について一年間の統計を取り、途中経過を含め、保護者に報告している。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評
<p>子どもの発育や発達について共に学ぶことを通じて、保護者との関係を構築している</p> <p>園児の定員数70人と、区立園のなかでも規模が小さいことを活かして、保護者と共に子どもの発育や発達について学び、日常の保育に取り入れていきたいと取り組んでいる。個人面談の時には、年齢や個別の事情に応じた、子どもの発達の目安を保護者と一緒に確認している。園内の随所に子育てや子どもの発達をめぐるさまざまな図書が置かれ、園長や職員が、保護者に読んで欲しい本を薦めたりしている。園長・主査以下、職員が大変に勉強熱心で、忙しいなかでも時間を見つけ、発育をめぐる専門書をテキストに皆で学ぶ機会を設けている。</p> <p>保護者会・個人面談・園行事などを通じて、保護者とのコミュニケーションを図っている</p> <p>園の保育の状況をめぐる保護者会での丁寧な説明や、定期および随時の個人面談、園行事を利用した懇談などを通じて、保護者とのコミュニケーションを図っている。担任保育士と共に園長自身が毎日の子どもの送迎の折にできるだけ保護者に声をかけ、対話を交わすように努めている。運動会や交流会などを、できるだけ保護者が出席しやすい時期に開催するようにしている。また、運動会では保護者が参加する、クラス対抗の玉入れや、親子競技などを取り入れて、保護者相互、保護者と園との親密さが高まるように運営を工夫している。</p> <p>保護者からの質問や要望にスピーディに対応し、信頼を得るように努力している</p> <p>保護者の子育てに関する多様な悩みの解決を支援したいと努力している。朝夕の保護者との対話のなかで、家庭での子どもの保育をめぐる相談を受けることが少なくない。こうした相談や意見にスピーディに対応することによって、保護者からの信頼を得ていきたいと考えている。また、園への保護者の意見や要望を知るため、保護者が組織している「父母の会」が投書箱を設けている。しかし、利用者はほとんどなく、今後、保護者の声をどのようにして汲み上げていくかを課題として捉えている。</p>

9 評価項目9		評点()
地域のニーズに即した子育て支援を実施している		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	○非該当

評価項目9の講評
<p>保育所体験・園庭開放・園見学など、地域の子育て支援のプログラムに取り組んでいる</p> <p>区内には公立保育園のほか、公設民営保育園、認可・認証の私立保育園、グループ保育室、そのほか幼稚園、子供園など、多様な未就学児のための施設が存在する。今後こうした各種の施設の協力による、在宅の未就学児親子サポートにあたることがいっそう重要になると認識している。職員会議等での検討、プロジェクト活動などを通じて、保育所生活体験(ふれあい保育)、園庭開放、見学者の案内、在宅保育の親子への相談、身体測定、緊急一時保育、地域交流事業(保育園にいてあそぼう)といった多様なプログラムの整備や開発に取り組んでいる。</p> <p>児童館を拠点とする地域の子育てに参画し、在宅の未就学児親子の支援にあたっている</p> <p>地域の小学校区にある、児童館、小学校、保健センター、保育室、幼稚園、そして青少年委員、主任児童委員、青少年育成委員会、家庭生活研究会と共に「地域子育てネットワーク」を作っており、児童館を拠点に、連携して地域の在宅子育て支援をめぐる多様な課題に対応している。園としての具体的な取り組みには、ふれあい保育・緊急一時保育、見学者の受け入れ、相談などがあり、地域の在宅子育て家庭の支援に努めている。また、児童館や小学校とは定期的に交流し、さまざまな機会に地域と園、および地域の人同士が交流を深められるようにしている。</p> <p>地域の人びとに「園のことを知ってもらう」ことを中心に、地域の子育て支援を進めている</p> <p>地域の在宅子育て支援を進めるためには、多くの人びとが来園し、園が地域のために必要な存在であることを広く理解して貰うことが大切であると考えている。そこで、ふれあい保育・緊急一時保育・見学者受け入れなどの事業のほかに、近くを通る親子に声かけして遊びに誘ったり、見学者へも見学後に遊びに誘って広く園を知ってもらう努力をしている。児童館とも交流しているので来館者に呼びかけたり、保育園へのさまざまな相談にのったりして、園に対する理解に努めている。子育て支援事業についての見直しは半期ごとに職員会議で行っている。</p>

事業者が特に力を入れている取り組み		
評価項目	6-6-3	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している
タイトル	職員間のチームワークの良さと情報共有が、業務の水準を高めている	
内容	それぞれの計画の策定時には、前年の反省や改善点を織り込み、全員で忌憚のない話し合いをしてよりよい保育サービスを提供できるように努めている。職員アンケートの自由記述欄には、特に良いと思う点として「職員関係、チームワークの良さ」「ともに学びあい、高めていこうという姿勢」「小規模園なので、お互いの仕事を把握し、時間や情報を共有しやすい」などの記述が多く見られる。人間関係が良いので、相互に自然な形で助け合うことができ、保育という仕事にやりがいと誇りをもって取り組んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル	子どもの発育や発達について共に学ぶことを通じて、保護者との関係を構築している	
内容	園児の定員数70人と、区立園のなかでも規模が小さいことを活かして、保護者と共に子どもの発育や発達について学び、日常の保育に取り入れていきたいと取り組んでいる。個人面談の時には、年齢や個別の事情に応じた、子どもの発達をめやすを保護者と一緒に確認している。園内の随所に子育てや子どもの発達をめぐるさまざまな図書が置かれ、園長や職員が、保護者に読んで欲しい本を薦めたりしている。園長・主査以下、職員が大変に勉強熱心で、忙しいなかでも時間を見つけ、発育をめぐる専門書をテキストに皆で学ぶ機会を設けている。	

特に良いと思う点		
1	タイトル	職員の研修参加への意欲が旺盛で、「保育の基本」を学ぶ職場風土が形成されている
	内容	職員が、区が開催する保育研修プログラム、民間の研修セミナーなどに積極的に参加している。職員個人が、自己啓発として自費によって参加しているケースもみられる。また、園長・主査が中心となって、専門書によって、「育ちの基本」を学ぶことに努め、日々の保育の実践のなかに、その成果が着実に活かされている
2	タイトル	チームワークの良さによって、園児一人ひとりに目の行き届く保育を実現している
	内容	区立保育園40数園のなかでは、園児数・職員数が少なく、園長と園長を補佐する主査の目が、園の隅々にまで届いている。園舎が狭く、本来であれば1歳児と2歳児とを別の部屋とすることが望ましいが、現状では一緒の部屋で保育せざるを得ない。そのことが、職員が自身の担任以外の園児のこともよく知っていることにつながっている。自己の担任・担当にこだわらず、自発的に助け合う風土ができ上がっていて、園全体のチームワークがよい。その背景として、「子どもの発達の基本は何か」を、園長や職員が、互いに学び合っている風土があげられる。
3	タイトル	子どもの成長に合わせたカリキュラムの作成に取り組み、発達状況が把握されている
	内容	園全体で、子どもの成長に合わせたカリキュラム 指導計画 の作成に取り組んでいる。その結果、担当職員が園児一人ひとりの発達状況を具体的に把握できるようになり、保育目標の進行状況がチェックでき、適切に対応ができるようになった。それぞれの計画の策定時には、前年の反省や改善点を織り込み、全員で忌憚のない話し合いをしてよりよい保育サービスを提供できるように努めている。こうした経緯を、指導計画、クラスだより、クラス日誌などから確認することができる。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	保護者とのコミュニケーションをさらに深めたい
	内容	職員間のチームワークが良く、学習意欲が旺盛で、全員が全園児の状況を把握して、熱心に支援していることがさまざまな記録で証明されている。保護者の信頼も厚く、利用者アンケートでは85%の保護者が満足しているとの結果が出た。一方、一部の保護者は不満をもっていたり、園や保育士を十分に理解していないようである。一部の保護者であっても話し合うことにより、理解と信頼を得ることが重要であろう。一人ひとりの保護者とオープンなコミュニケーションを図り、分かりやすい情報提供をすることで、真の透明性のある園となることが期待される。
2	タイトル	「馬橋らしい保育」の実現には、職員一人ひとりのさらなる技量の向上が期待される
	内容	園長や職員は、園児一人ひとりの発達の状況をよく知り、一人ひとりの子どもに目が届く、行き届いた保育を行う「馬橋らしい保育」は、なお実現への途上にある、と考えている。クラス担任を、職員個人の希望に抛らず、園としての最適の保育を念頭に、園長が決めるといった努力も行われている。しかし、現実に最適な保育の実現は容易ではなく、子どもの発達本位の「馬橋らしい保育」は、職員一人ひとりがそうした技量を持つために、研修面、施設面などの整備が必要であり、なお、時日を要すると考えられ、今後の努力が期待される。
3	タイトル	保護者の関係のさらなる向上をめざしたホットタイムコーナーの開催計画の実現が望まれる
	内容	保護者からの苦情や疑問、要望には、早目に対応し、お互いの信頼関係が崩れないように努めている。保護者同士の交流を図り、運動会に、クラス対抗玉入れや親子ダンス、親子競技を取り入れるなどしている。さらに、園としては、保護者向けの勉強会や「ホットタイムコーナー」の開催を考えている。この「ホットタイムコーナー」は、保護者同士の連携や親睦のきっかけ作りや、子育て相談などの支援を目的とするもので、3ヵ月に一度位開催したい意向である。具体的な内容は今後の検討課題であるが、実現に向けての取り組みが望まれる。

平成23年度
東京都福祉サービス第三者評価
評価結果報告書

杉並区立阿佐谷南保育園

調査対象

園を利用している0歳から5歳までの園児105名の内、家庭数の保護者89名を対象とした。記入者は母が一番多く89%、父が4%、一緒にが3%、無回答が4%だった。年齢は20代8%、30代59%、40代27%、無回答6%であった。

調査方法

区担当者及び園長に対して、2回の機関説明会を行った後、機関が用意したアンケート一式(アンケート、依頼手紙、切手付き封筒)を、園から保護者に手渡ししてもらい、回答は保護者から直接機関へ郵送してもらい匿名性を担保した。機関で集計・分析して区及び園に報告した。

利用者総数

89

共通評価項目による調査対象者数

89

共通評価項目による調査の有効回答者数

74

利用者総数に対する回答者割合(%)

83.1

利用者調査全体のコメント

満足度調査では、「大変満足」が42%、「満足」が51%、合わせると93%と満足度が大変高い。そのほか、「どちらともいえない」が3%、「不満」が4%だった。74名中55名が、自由記述にしっかり記している。「お世話になっており感謝している」「満足している」「楽しく毎日通園している」「大事にしてもらっている」「オープンで気さくな雰囲気 좋아요」「先生が優しく丁寧」等、評価する言葉が多く記されている。意見・要望として「体力のある子の昼寝をなしにして欲しい」「園庭が狭いのでお散歩を増やして欲しい」「お迎えの時、子どもの様子をもっと教えて欲しい」「先生によって態度が異なる」「寸劇などの発表会を見ることができると嬉しい」「子どもの給食を食べてみたい」等、こちらも多く記されている。そのほか、3月の震災時に園が大変頼りになったことや、放射線問題を含めた安全面に関して、もう少し対応して欲しいというような声も記されていた。また、今回の調査を評価する意見も、「とてもよい仕組みと思う」「5段階評価のほうが良い」「年に2回程度行って欲しい」「プライバシーの設問に意味があるのか分からない」等、複数記されていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	65	9	0	0
「はい」が88%、「どちらともいえない」が12%だった。自由記述に「食事のバランスが良い」と記されているが、設問記述にも「体調が悪い時配慮してくれる」「アレルギー対応について毎月きちんと話してくれる」「栄養のバランスが良く、子どもにも好評」「放射線対策として産地を明確にしてあり安心」など、高い評価がされている。「子どもの身体の大きさや食欲にあわせた量にして欲しい」「土曜のおやつが少ない」との意見もあった。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	59	13	2	0
「はい」が80%、「どちらともいえない」が18%、「いいえ」が2%だった。自由記述に「戸外遊びをもっと」と記されていたが、設問記述にも園庭の狭さや散歩の機会を増やして欲しいとの意見が記されている。一方、放射線が心配なので戸外遊びに配慮して欲しいとの意見も記されていた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	47	12	4	11
「はい」が64%、「どちらともいえない」が16%、「いいえ」が5%、「非該当」が15%だった。「はい」の方は「土曜日でも快く預かってくれて助かりました」と書いているが、「いいえ」の方は「延長保育の申し込み方法が決まらなくて、急な残業ができない」と書いている。また、電話でなくメールで対応してもらえると助かるとの意見もあった。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	67	7	0	0
「はい」が91%、「どちらともいえない」が9%だった。設問記述には「過剰なほど連絡が来る」「大きな怪我でない伝えてくれない」との不満の声も記されているが、「発熱時はすぐ相談してくれる」など、評価する声もあった。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	40	30	4	0
「はい」が54%、「どちらともいえない」が41%、「いいえ」が5%だった。自由記述には、放射線への不安の声が複数記されているほか、園庭の門や園舎の外階段等の安全性について記されていた。設問記述にも「怪我への対策が十分でないと思う」「柵の上のものを固定して欲しい」「外階段にある電線が心配」「ストーブで火傷したことがある」など、安全対策への意見が複数記されている。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	44	21	9	0
「はい」が60%、「どちらともいえない」が28%、「いいえ」が12%だった。「いいえ」の回答は設問中2番目に多かった。自由記述には「行事が少し淋しい」「保護者会が平日は困る」などの意見が記されているが、設問記述にも「保護者会が土曜日だとありがたい」「夕方から始まると良い」「毎回同じ曜日は避けて欲しい」と、曜日・時間への要望・意見が多く記されている。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	56	16	1	1
「はい」が76%、「どちらともいえない」が22%、「いいえ」が1%、「非該当」が1%だった。自由記述には、保育士への感謝・信頼の言葉が多く記されている。設問記述にも「良く相談させていただき助かっている」「親身になって相談に乗ってくれる」とあるが、反面「話の出来る人とそうでない人がある」「担任に会う機会があまり無い」「帰宅時間帯は先生が忙しそうで話ができない」とも記されている。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	64	8	1	1
「はい」が87%、「どちらともいえない」が11%、「いいえ」が1%、「非該当」が1%だった。自由記述には「おかしかったことは園に伝えている」「以前より親の意見に向き合って、変えて行こうという意向が見られ、実際良くなっている」と記されている。設問記述には、「聞いてくれようとはしているが指導的」「現場と区のコミュニケーション不足を感じる」「なかなか担任に会えない」との意見が記されている。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	59	8	2	5
「はい」が80%、「どちらともいえない」が11%、「いいえ」が3%、「非該当」が6%だった。自由記述には「プライバシーの設問に意味があるのか分からない」との意見が記されていたが、設問記述には「プライバシーの領域は曖昧で、園が守ることと親が知りたいと思うことにギャップがあるかもしれない」と記されていた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	70	4	0	0
「はい」が95%、「どちらともいえない」が5%だった。「はい」の回答は設問中一番高い。自由記述には「大事にされている」との意見が複数記されていたが、設問記述にも「他のクラスの先生も声をかけてくれる」と記されている。「0歳児の頃からいる子のほうが愛されている感じがする」「先生による」との意見もあった。				

11. 職員の対応は丁寧か	65	8	0	1
「はい」が88%、「どちらともいえない」が11%、「無回答」が1%だった。自由記述には「先生による」との声が複数記されていた。設問記述には「特に意識したことはないが普通」「朝、子どもが別れを嫌がると先生がなだめてくれて助かる」と記されているほか、「一部礼儀を欠く先生がいる」「言葉遣いが丁寧でない先生がたまにいる」と記されている。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	41	24	8	1
「はい」が56%、「どちらともいえない」が32%、「いいえ」が11%、「非該当」が1%だった。自由記述には、保護者の意見・要望が多く記されている。設問記述には「特に不満はない、父母会があるので良い」「直接園長と話ができるのが良い」「小さな事は言いやすいが、原発など大きなことは取り合ってもらえない気がする」「言いづらい」「意見箱があると良い」「言ったことがない」等、記されていた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	45	19	2	8
「はい」が61%、「どちらともいえない」が26%、「いいえ」が3%、「非該当」が9%、「無回答」が1%だった。設問12と同じく自由記述には、評価する声と批判的な声の双方が記されている。設問記述にも、「聞いてくれるが対応してくれない」「園だよりなどを読むと対応していると思う」との双方の意見が記されている。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	19	1	51	3
「はい」が26%、「どちらともいえない」が1%、「いいえ」が69%、「非該当」が3%、「無回答」が1%だった。「知らなかった」とのコメントが多かった。「いいえ」の方は、「もっと周知して欲しい」「入園前に説明を受けていない」等コメントしている。「はい」と答えた方は、「聞いたことはあるが利用したことはない」とコメントしている。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	15	1	0	0
1年以内に利用したと答えた方は19人、19人のうち園から保育内容等説明があったと答えた方は16人、その16人のうち15人(94%)が説明は分かりやすかったと答えている。残りの1人は「どちらともいえない」だった。「安全面等、細かい説明が無かった」とのコメントがあった。				

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1(1-1)	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 9 / 9	
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点()	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <input type="radio"/>非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点()	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <input type="radio"/>非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点()	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/>非該当

カテゴリー1の講評

園の保育目標を明確に定め、職員が問題意識を共有し、保育方針として具体化している

「元気でよく遊ぶ子ども、自分のことも友だちのことも好きになれる子ども、自分で考えて行動できる子ども」を保育目標としている。この目標を軸に、保護者の理解を得て、園長のリーダーシップのもと、職員が問題意識を共有して日々の保育に取り組んでいる。保育目標は、保育理念とともに、「園のしおり」に明記され、入園説明会などの場で保護者に伝えられている。さらに、これらの目標が、「個々の子ども・年齢に応じた体験・集団生活・室内の遊びと戸外の遊び・安全の5つを重視する」保育方針として具体化され、職員が日々実践に当たっている。

内部規程に基づき、意思決定のあり方が明確になっていて、混乱することがない

設置者として区が決定する事項、園長が専決する事項、園運営マニュアル(各係・仕事の内容が具体的に記載されている)に基づいて各職員が実行すべき事項の別が明確になっていて、円滑に意思決定が行われている。重要事項をめぐる園長・主査の協議に、適宜、リーダー層の職員や、看護師・栄養士等が加わる。職員会議、リーダー会議などが適切に機能し、各職員が活発に意見を述べ、業務の調整、企画立案などをめぐる討議が効果的に行われている。クラスの運営、行事の実施、プロジェクト活動などを通じて、職員それぞれの創意工夫が大切にされている。

園長・主査・リーダー層その他の各職員が、それぞれリーダーシップを発揮している

園の責任者である園長、園長を補佐し不在時には代行に当たる主査(私立園の副園長・主任に相当)、各クラスのリーダー(各クラスには、原則として複数の保育士が配置されている)、看護師・栄養士等の専門職員の役割がそれぞれ明確になっている。そのほか、中堅クラスの職員2名が「保育の向上を考えるリーダー 向上リーダー」に指名されている。各職員は自己の職責をよく理解し、緊急の事情で上司の指示を得る暇がないときも、迅速に行動することができる。また、園では、特に若手職員の育成を念頭に、クラス編成や行事運営の担当を決めている。

カテゴリ-2		
2	経営における社会的責任	
サブカテゴリ-1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ-毎の標準項目実施状況 4 / 4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ-毎の標準項目実施状況 7 / 7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-2の講評

区立保育園として園の運営をめぐるコンプライアンスと職員の職業倫理が遵守されている

区が設置する保育園として、東京都及び区の条例と、各種内部規程に基づき適正な運営が行われている。園は、児童福祉法35条の規定に基づく区の保育所条例によって設置されている「直営園」である。区長や区議会による監督や監視のほか、所定の内部監査が実施されていて、園長はじめ、職員の間には法令や内部規程を遵守する姿勢が定着し、法令や社会通念によって社会福祉事業者に求められるコンプライアンスや職業倫理が定着している。また、職員の大多数を占める保育士職員については、児童福祉法による信用失墜行為の禁止規程が適用される。

福祉サービス第三者評価の受審などによって、園の運営の透明性が確保されている

前回の第三者評価の受審の結果が、園の運営の改善に活かされ、保護者が評価の結果を閲覧できるように用意するとともに、保護者などの場で改善について報告している。「園だより」などを通じて、子どもたちの園での生活の様子とともに、園の運営状況を知らせ、保護者の園についての理解が進むように注力している。透明性の確保のため、「父母の会」の代表者などが、園の運営について意見を述べる機会を増やすように努めている。なお、保育指針が努力義務としている「園自身の自己評価」を、第三者評価と併せて活用することが有効と思われる。

園の人材や施設を、地域の子育てのための社会資源として積極的に活用している

地域の子育て支援事業に参加し、職員が保育相談、身体測定などを行うとともに、園庭の開放を実施している。日常、保育園を利用していない在宅子育ての親子のための「保育所体験 ふれあい保育」を行っている。地域貢献の一環として、地元小学校を拠点とする地域の子育てのためのネットワーク連絡会に参加し、地域への情報発信などに協力している。そのほか、地元区立中学校4校、高校2校から計15名の実習生を受け入れるとともに、区のボランティア活動に関する条例に基づきボランティアを受け入れ、担当職員を決めてサポートにあたっている。

カテゴリ-3		
3	利用者意向や地域・事業環境の把握と活用	
サブカテゴリ-1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点()		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点()		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点()		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評		
<p>多様な方法で保護者の意見や要望を聞き、苦情が言いやすい雰囲気をつくっている</p> <p>保護者会などで「苦情の受付・解決」などについて説明し、「意見・要望・苦情があるときは、遠慮なく言ってください」と呼びかけている。担当保育士などに寄せられた要望や苦情は、遅滞なく園長・主査に知らされ、園として責任をもって解決にあたっている。東京都福祉サービスの利用をめくっては、各市区町村に苦情対応機関が設けられ、同区の場合も、「保健福祉サービス苦情調整委員」が置かれている。もっとも、こうした「第三者委員」への申出制度についての認知度は低く、園としても掲示その他によって、極力、保護者に知らせることが望まれる。</p> <p>保護者会での発言の記録、行事後の感想の聴取などから保護者の意見を集約している</p> <p>保護者会や園行事の後で、つとめて、保護者から意見や感想を聞くこととし、そのために「感想用紙」(A6判、数行を書き込むコンパクトなアンケート用紙)を用意している。また、朝・夕の送迎時には、できるだけ職員が保護者に声をかけてコミュニケーションを形成し、そのおりに、個別の意見、要望、ちょっとした苦情を汲みあげるように努力している。そのほか、園と保護者との連絡ノートへの記載内容などからも、保護者の意見や要望を聞くことができ、保護者の満足度(「CS」の状況)を推測し、日々の保育や園行事のなかに活かすようにしている。</p> <p>「地域子育てネットワーク」への出席、行政機関との連携等で情報を収集している</p> <p>子育て支援に関する地域の協議会に参加して、地域の子育て支援に関する情報を収集している。なお、園が参加している「地域子育てネットワーク」は、子育てをめぐる「親子その他の交流・情報の提供や交換・子ども自身の参加・区民の要望への対応・個別ケースの解決をめぐる連携・関係行政機関の連携」を目的とし、園も情報の発信などに参加している。また、区保育課からも様々な情報が提供され、職員が参加した各種会合で得た情報や、外部研修に参加したときの研修レポートなどとともに整理し、これらを職員が休憩室で閲覧できるようにしている。</p>		

4		カテゴリ-4	
4		計画の策定と着実な実行	
		サブカテゴリ-1(4-1)	
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	11 / 11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4 / 4
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>基本計画から年度計画、部門計画へと、各種計画が整合性をもって策定、展開されている</p> <p>区が「保健福祉計画」(そのなかの「すべての家庭がゆとりある子育てができるために」が該当)と、「基本計画(新基本構想(21世紀ビジョン))」を策定し、園についての中長期計画もこのなかに含まれる。年度ごとに、区によって経費予算を伴う年度計画が作成され、園の運営の枠組み並びに年間指導計画が作成される。また、園の「チャレンジプラン」を作成し、具体的な推進事項が明確化されている。区の保育サービスをめぐる基本計画を補完して、周辺地域の保育ニーズをめぐる中長期展望を、園としてまとめておくことが様々な面で有効と思われる。</p> <p>年間指導計画などの計画作成の手順がルール化され、効率的に作成作業が行われている</p> <p>区の担当課を中心に、年度計画の作成作業が行われ、作成の手順がルール化されている。園は、作成に際して、園長会を通じて要望を担当課に伝える。年度計画のなかで、園によって年間指導計画その他の指導計画(月間計画・週案・日案など)と、部門計画(保健計画、安全計画、食育計画、各行事・プロジェクト計画など)が作成される。作成にあたっては、すべての職員が役割分担を決めて参加し、職員の高い意識の維持へとつながっている。なお、各指導計画について、職員会議・クラス会議などで振り返りを行い、翌期の計画に反映させている。</p> <p>安全管理に関するマニュアルを整備し、子どもの安全の確保に万全を期している</p> <p>区保育課の危機管理マニュアルのほか、園の運営マニュアルなどに基づいて安全管理体制を整備している。防災計画、年間避難訓練計画、防犯訓練計画などを作成し、職員のなかから安全委員を指名して、子どもの安全確保の体制を整えている。医療会(区の公立園の看護師の協議機関)・保健センター、区担当課などからの情報をもとに、各種保健情報を保護者に伝えている。また、今般の放射能問題については、戸外での園児の行動などについて、都と区の方針に基づいて対応している。なお、保護者の意向に応じて、個別に飲料水を持参することを認めている。</p>		

カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 8 / 8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 7 / 7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が運動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ5の講評		
<p>常勤職員のすべてが保育士等の有資格者であり、専門性の高い人材構成が実現している 常勤職員25名のすべてが保育士・看護師・栄養士その他の資格を持ち、専門性の高い人材構成が実現している。前年度の常勤職員の退職者は1名であり、定着率が高い。平均年齢44歳余り(在職年数3.2年)といずれも十分な経験を持ち、公立保育園として転勤制度があるなかで、子ども一人ひとりを知る職員が多く配置される結果となっている。0歳児保育を実施するために看護師職員が配置されており、園児全体への健康支援を行うことができる。常勤職員を補う非常勤職員25名(常勤換算10名)が配置され、要員が効率的に運用されている。</p> <p>職員一人ひとりの能力向上に向け、OJT・集合研修・自己啓発の奨励に取り組んでいる 年度はじめに個々の職員から「チャレンジプラン(私のチャレンジプラン)」の提出を求め、職員全体の研修計画を策定するとともに、一人ひとりの意向に基づき、区が主催する研修への参加などを奨励している。園長が、「私のチャレンジプラン」をもとに、個人面接を行い、個別のレベルアップに向けたOJTへの心構え・集合研修・自己啓発について助言し、研修レポートの提出などによってフォローしている。今後の課題として、現状の施策をさらに推進し、職員の自立したキャリア形成への取り組みを支援していくことが、いっそう重要になると考えられる。</p> <p>各種プロジェクトへの関わりのなかで、職員に高いモチベーションが維持されている 園は長い歴史を持ち、園児数の多い「大規模園」だが、園舎をめぐる事情から、来年度からは0歳児保育を休止することとなる。0歳児保育の休止によって看護師配置がなくなり、保育士職員の子どもの健康支援の負担が増大する。そうしたなかで、職員の処遇レベル・労働条件・健康管理・福利厚生などが整備され、職員が働きがいを感しながら働いていることが分かる。「食育、運動発達、園庭遊び、環境整備、室内・ホール遊び」の各プロジェクトへの参加を通じて、職員がさらに創意工夫を発揮し、高いモチベーションへと繋がることを期待される。</p>		

7			カテゴリ-7	
7			情報の保護・共有	
			サブカテゴリ-1(7-1)	
情報の保護・共有に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
			7 / 7	
評価項目1			標準項目	
事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる			評点()	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2			標準項目	
個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している			評点()	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当	
カテゴリ-7の講評				
<p>紙媒体の情報と、電子化情報の両方が整然と整理され、厳正に管理されている</p> <p>区及び園独自の内部規程に基づいて、紙媒体の書類、電子化データの両方が、種類・重要度の別に整然と整理されている。情報ごとに、閲覧やアクセスの基準が明確に決められ、情報の外部流出、不正使用の防止策が講じられている。情報の漏洩の防止のため、保管キャビネットの施錠を励行している。情報の伝達の遅延が不測の事故につながらないように、毎昼、全職員に重要な情報を口頭で伝達し、会議録などを職員が集まる休憩室に置き回覧に供している。そのほか、日々の保育に必要な情報を、クラスの代表者の会議で伝え、全職員への徹底を図っている。</p> <p>福祉関係事業者として、国のガイドラインに従って個人情報を厳正に取り扱っている</p> <p>区の個人情報保護条例に基づいて個人情報を管理しており、同条例には、園を含む区の機関の個人情報の取り扱いに関する方針が明示されている。福祉サービス事業者の一員として、「福祉関係事業者における個人情報の適正な取り扱いのためのガイドライン」に沿って、個人情報を厳正に取り扱っている。会議やオリエンテーションなどを通じて、非常勤職員、実習生、ボランティアを含む職員全員に、個人情報の取扱方法を周知している。保護者にも同様の趣旨を伝えて、子どもの写真やビデオ画像などの撮影、使用などをめぐる協力を求めている。</p>				

カテゴリ-8	
8	カテゴリ-1～7に関する活動成果
サブカテゴリ-1(8-1)	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
勤務や配置などをめぐって職員同士が相互に協力しあい、園の運営が円滑に進んでいる 職員が相互に協力しながら、勤務内容・配置時間などを記入していく「体制ボード」と呼ぶ表示版 ホワイトボード を活用することによって、日常の運営の円滑化が進んだ。また、互いに意見が言いやすく、チーム保育の成果があがるクラス編成を採用し、保育の効果があがっている。こうした状況が、園日誌、職員会議の会議録や、現場の状況から確認できる。	
サブカテゴリ-2(8-2)	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
すべての職員がプロジェクト活動に参加し、結果が日々の保育のなかに活かされている 原則としてすべての職員が、食育、運動発達、園庭遊び、環境整備、室内・ホール遊びのいずれかのプロジェクト活動に参加し、その結果が日々の保育のなかに活かされている。こうした活動を通じて、職員それぞれの仕事への取り組みをめぐる自覚が進んでいる。プロジェクト活動を通じて、職員個人と組織としての保育力が強化されている模様が、プロジェクト報告書などから分かる。	
サブカテゴリ-3(8-3)	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
業務の質の向上を目指し、見直し・改善に取り組んでいる 昨年「園運営マニュアル」を作成し、全職員に配布した。今年度「運動発達を考える」「園庭」「環境整備」「室内・ホール」「食育」の5つのプロジェクトを職員の自主参加で行っている。また、会議の見直しを図り、司会進行や議事録作成を職員が持ち回りで行っている。さらに事務室の「体制板」を職員意見を取り入れて見直し・改善した。業務の質の向上を目指す様々な取り組みが成果をあげている。	

サブカテゴリ-4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

区の保育課を中心に各区立保育園が運営の効率化に努め、園も経費の節減に努力している

保育課を中心に、44園の区立保育園について、一部、給食調理業務への指定管理者制度の導入などによる効率化、保育料収納率の改善(対前年度比0.26%改善して96.7%へ)などを実現している。園もこうした保育園運営の効率化への区全体の努力を受け、園として職員間で予算の有効な使い方を話し合い、無駄の削減を図るなど、区の施策の実現に向けて取り組んでいる。

サブカテゴリ-5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

感想用紙(コンパクトなアンケート用紙)を活用して、保護者の意見を収集している

保護者から、運動会などの行事や保護者会等の終了後、「感想用紙」(A6判のコンパクトな数行程度のアンケート用紙)に、意見や感想を記入してもらっている。感想用紙への記入の内容からは、たとえば「みんなが主役の運動会(パフォーマンスを狙わない子ども本位の運営)が実現している」などと保護者が感じていることがうかがわれる。

サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

共通評価項目																
サブカテゴリ-1																
1	<p>サービス情報の提供</p> <p style="text-align: right;">サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4 / 4</p> <p>評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している</p> <p style="text-align: right;">評点()</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目															
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当														
サブカテゴリ-1の講評																
<p>園の情報は区のホームページのほか、園作成のパンフレット・しおり等で周知している</p> <p>区のホームページで一括して園の案内をしているほか、園独自で「保育園のしおり」「ふれあい保育・すくすく保育」パンフレット等を作成している。また、A4紙1枚の簡単な園案内のパンフレットを作成し、必要に応じて関係機関へ配布している。保護者に対しては、月次発行の「園便り」、随時発行の「じむしょだより」、月次発行の「各クラスだより」「ほけんだより」「給食だより」「献立表」が担当職員により作成されている。「クラスだより」は写真やイラストが多用され、各クラスの子どもの様子・取り組みが良く分かる個性的なものとなっている。</p> <p>「保育園のしおり」は、年度末に職員会議で見直しを図っている</p> <p>「保育園のしおり」には、「児童憲章」「保育理念」「保育目標」「保育指針」が冒頭に記されている。施設概要、園内見取り図、一日の流れのほか給食、健康(与薬、病児・病後児保育、怪我等)が記され、「保護者の皆様へ」として、登降園について、個人情報、災害時の引渡し、防犯対策、延長保育制度、感染症一覧等が詳細に記されている。また、保護者が用意するようエプロン、連絡帳、着替え、布団カバー等が図解入りで詳しく記されている。「保育園のしおり」は保護者の意見や職員の気付きを取り入れ、毎年1月の職員会議で見直し・改正されている。</p> <p>見学希望者には、園の子育て支援事業や他園の情報等も提供している</p> <p>見学希望者には、原則として園長・主査が対応窓口となり、希望者の要望にあわせて日程調整を行っているが、全職員が誰でも対応できるよう、園のしおりや各種パンフレットの収納場所を明示している。また、見学者名簿や見学希望者からの相談対応記録を作成している。見学時には、保護者が選択できるよう他園の情報も提供し、複数園の見学を勧めている。さらに、園で実施している「ふれあい保育・すくすく保育」のパンフレットを渡して、保育室・園庭を子どもが体験できることを説明し参加を勧めている。</p>																
サブカテゴリ-2																
2	<p>サービスの開始・終了時の対応</p> <p style="text-align: right;">サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6 / 6</p> <p>評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている</p> <p style="text-align: right;">評点()</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目															
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当														

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評		
<p>サービス開始前の説明を、「保育園のしおり」に沿って行い同意を得ている</p> <p>新入園児面接・健康診断を3月に行い、入園説明会で園長、主査、看護師、栄養士、担当保育士が、区と園双方の「保育園のしおり」に沿って、園の概要、理念・方針、一日の流れ、守るべき事柄等、必要なことを説明し同意を得ている。保護者には入園面接前に、必要書類(入園前の生活状況・健康状態、家庭連絡票、児童票、食事調査、月齢別調査等)を送付し、記載してもらっている。個別面談では事前記入書類を基に、主として園長(必要に応じて各職員同席)が、個別に保護者の要望・意見を聞くとともに、園についての説明を再度行っている。</p> <p>利用前の子どもの状況は各種記録表に記され、全職員で情報共有を図っている</p> <p>保護者に記入してもらった児童票、家庭連絡票、入園前の生活状況・健康状態及び、入園前面談で聞き取った保護者の要望・意見等は、すべて個人ファイルにまとめられ、事務所に保管されている。必要に応じて職員は個人ファイルを確認している。さらに、全職員が個別の子どもの情報を共有して、開始直後の子どもや保護者の不安の軽減につながる保育に努めている。また、それぞれの子ども・保護者の状況に応じて半日から10日くらいの慣れ保育を行い、子どもが安心して保育園に通えるよう配慮されている。</p> <p>就学に際して保育要録を作成するとともに、子どもや保護者の不安軽減に努めている</p> <p>就学時には、保育園から小学校へ子どもがスムーズに移行できるよう、「保育要録」を担当職員が作成し小学校へ直接提出している。また、卒園間近には、お昼寝の時間を減らしたり、止めたりするなど、子どもの様子を見ながら生活変化に適應できるよう配慮している。同時に、随時の個人面談や登降園時に、保護者からの相談に対応し不安軽減に努めている。保護者の事情での転園時にも同様に対応している。場合によっては転園すると、保護者は一から持ち物揃えをしなければならず、園は保護者の負担にならない仕組みが必要と考えている。</p>		
サブカテゴリ-3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 12 / 12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している
 評点()

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3
 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している
 評点()

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4
 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している
 評点()

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3の講評

日々の子どもの状況を確認し反映させた指導計画を作成している
 日々の子どもの状態は、担当保育士がクラスごとの保育日誌(主な活動、遊びの内容・考察等)、家庭との連絡帳(幼児クラスからは大学ノート)に記しているほか、看護師が保健日誌、栄養士が給食日誌を記している。これら毎日の記述を個別の個人ファイルにまとめている。これらの記録をもとに、園作成の保育課程、指導計画等の検証を含め、半期に一度幼児打ち合わせ、乳児打ち合わせ、定例打ち合わせ、職員会議と段階を経た会議で見直し・検討を図り、次年度の保育課程、年間、月次指導計画、週案、デイリープログラムの作成に繋げている。

年間・月次指導計画、週案等の作成時期と手順を明確にしている
 園運営マニュアルに「園運営及び保育に関わる事項」として、保育課程は年度始めの見直し、年間指導計画は5月の職員会議及び半期毎の見直し、月次計画は1週目の検討、週案は月曜提出と定められている。また、指導計画作成に当たっては、保護者意見の取り入れや、乳児クラス、幼児クラスそれぞれの会議で検討・見直しをしたうえで、職員会議に図られることとなっている。緊急時には、担当職員が園長に報告・相談をしているが、職員周知のうえからも、緊急時対応マニュアルの事故・怪我・発病時の対応と同様、計画変更時の仕組みの明確化が望まれる。

朝・夕の引継ぎ、月次の職員会議、年齢別の打ち合わせ会議等で情報共有をしている
 毎日の朝・夕の引継ぎのほか、体制打ち合わせで当日および翌日の体制確認をしている。さらに体制板を事務室に設置し、担当職員が一目で分かるようにしている。そのほか、週1回の定例打ち合わせ、月1回の幼児打ち合わせ、月2回の乳児打ち合わせ、月1回の職員会議と、子どもに関する情報及び園の保育に関する情報を共有する仕組みは整備されている。また、今年度、職員による5つのプロジェクトチームが動いていることにより、情報共有がより一層進んでいることが、職員調査にあらわれている。

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p>「保育園のしおり」に、個人情報の取り扱いについて明記している</p> <p>区の「個人情報保護条例」に基づき、申請書には情報収集の目的、使用範囲が明記されている。さらに、区の「情報開示条例」に基づき開示請求に関する対応方法も記載されている。また、園作成のしおりには「個人情報について」の項目に、守秘義務の徹底、プライバシー保護、写真撮影に関する承諾等が明記されている。入園時に個人情報の取り扱いについて説明しているが、同意書までは取り交わしていない。病院等へ個人情報を提出する必要がある場合は、そのつど保護者の同意を得ている。</p> <p>職員相互チェック等、子どもの心を傷つけない保育に配慮している</p> <p>区の児童憲章に「児童は人として尊ばれる」とあり、園の保育理念に「子ども一人ひとりを大切に」とあるように、職員会議で日常保育での職員の言動を相互チェックし、幼くてもプライドやプライバシーを大切に「こどもの心を傷つけることの無い保育」に重点を置いている。夏場の水遊びの着替えや、オムツ代え等も遮蔽ネットや衝立を利用するなど配慮している。保護者とは随時の個人面談、年3回の保護者会のほか、毎日の送迎時や行事参加時に話を聞くことで保護者の考えを理解し、それぞれの家庭の状況にできるだけ沿った保育支援を心がけている。</p> <p>区の担当課及び各種の子ども支援の専門センターと連絡を密にしている</p> <p>虐待の疑いがある場合は、すぐ行政や関係機関(子育て家庭支援センター、保健所等)と連携して対応できる体制が整備されている。園長は日頃から職員に対し、子どもの心身の様子に目を配るとともに、保護者が相談しやすい環境作りを心けるよう話をしている。保育士2人が常に違う方向を見ることにより、子どもにとっての死角を作らないなど、安全面を含め子どもの心身が健康に育つことに力点を置いている。また、相談を受けたり必要と思われる保護者へは、発達センター等の専門機関と連携し対応している。</p>		

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	11 / 11
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当	

サブカテゴリ-6の講評

「園運営マニュアル」で、園の理念・方針、職員の役割・仕事の内容を示している

昨年「園運営マニュアル」を園長、向上リーダーを中心に職員会議で検討・作成した。「園運営マニュアル」は、始めに保育理念、保育目標、保育方針が記され、事務分担及び係り分担表、仕事内容、各会議仕様、園運営及び保育に関わる事項等のほか、保育マニュアル、園外保育マニュアル、緊急時対応マニュアル、子育て支援対応マニュアル、延長保育マニュアル等が記載されている。「小児の救急法」は子どもの症状を見るポイントが記され分かりやすい。全職員に「園運営マニュアル」は配布されているが、職員調査では周知度が低く今後の課題と思われる。

職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、個別課題の検討・見直しを行っている

今年度、「運動発達を考える」「園庭」「環境整備」「室内・ホール」「食育」の5つのプロジェクトが始動している。各プロジェクトは職員が自主的に参加を決め、会議の持ち方も勉強会や参考本の読み合わせ等、それぞれで考え実行している。夏過ぎに中間報告会を行い、各プロジェクトの半期の活動を全職員で共有した。勉強会、事例研究や話し合いで見えてきた課題解決に向け、実践を始めているグループもあれば、これから解決策を検討するグループもある。全職員が自主的に業務の課題を発見し、課題解決に取り組む仕組みとして評価できる。

区主催の実務研修に参加し、研修レポートを職員回覧し共有化を図っている

区が毎年、研修計画を策定している。園は、区主催の実務研修に職員参加を積極的に勧めている。研修参加後は、研修レポートを作成し他の職員に回覧したり、職員会議で報告したりしている。また、5つのプロジェクトでは、それぞれのテーマについて事例検討や勉強会、参考本の読み合わせ等、自主的な内部研修を行っている。子ども達の安全についても緊急時対応マニュアル、小児の救急法、保育園チェックリスト(全域、室内)を整備し、事故報告書を基に各種会議で報告・検討を行い、再発防止に努めている。

サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ-4	
		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	37 / 37
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている			
		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>登園時から園児が主体的に活動できるように支援している 園児それぞれの登園時間から自ら主体的に遊びを見つけ活動できるように室内外の環境を整え、設定している。登園してきた子どもが興味を持って遊びに入って行けるような遊具やおもちゃを調べておいたり、コーナーの工夫をしたりしている。こうした主体性を引き出す働きかけはディリープログラムに則って行っている。</p> <p>配慮の必要な子どもに対しては自然にそして丁寧に対応している 特別な配慮の必要な子どもに対しては、日常の保育の中で他の園児と変わることなく自然に接するようにしている。そうした配慮の必要な子どもと他の園児が共に過ごす中で、日々起こるさまざまな場面で工夫しながら対応している。子どもたちは乳児クラスから一緒に過ごしているため、特別という意識を持つことなく互いを受け入れており、将来の人格形成に役立つと捉えている。配慮の必要な子どもがもし加害などのトラブルを起こすようなことがあれば、保護者と何度も丁寧に話し合い「共に受け入れる」という意思を伝えながら対処するよう心がけている。</p> <p>発達の過程で生じるトラブルには正規職員や専門家を活用している 発達の過程で生じる子どもたちのトラブルが起きた場合には、正規職員が援助に入り解決するようにしている。その解決に当たって、保育士のスキルアップのために巡回相談を受けるようにしてより良い支援を目指している。その結果は巡回相談日誌に記録してその後の支援を行っている。</p>			
2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている			
		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評	
<p>子どもの1日を、家庭と保育園のトータルで考えた保育園生活にできるように努めている</p> <p>連絡帳・個人面談・日々の会話などにより日頃から子どもの家庭での状況を把握しているが、毎朝の登園時にはその日の子どもの様子をきちんと確認して、それぞれの子どもを家庭と保育園のトータルで考えた保育園生活にできるように努めている。両方の時間が子どもの長い一日とした上で、園で過ごす間の子どもの生活が無理のないものになるように配慮して子ども達の生活、遊びの保障をしている。そのため朝夕の保育の引継ぎ時には朝夕連絡ノートなどでミスのないように申し送りしている。共に育てていくという姿勢を大切にし保護者にも伝えている。</p> <p>子どもたちの発達状況を踏まえた上で、基本的な生活習慣が身に付くように支援している</p> <p>子どもたちに基本的な生活習慣が身に付くようにするためには子どもたちの発達状況を踏まえた上で支援していくことが大切と考え、月の指導計画を立てる際の基本としている。おむつはずしでは排尿感覚を子どもが掴むまでは自然に任せ、その後はトイレに誘導し、その後おむつはずしに導いている。食事については5歳児になると自分が食べられる量を自分で分かるようにするために自ら盛り付けるように指導している。断乳については虫歯や栄養などの観点から薦めるが急激には離させないことが大切と考え発達状況に合わせた支援に努めている。</p> <p>保育園での子どもたちの長時間の生活の上で、休息は大切なものとして捉えている</p> <p>長い時間を保育園で過ごす子どもたちにとって休息時間は大切なものであると捉えている。そのために0歳児から総合的に考えて一人ひとりの子どものリズムに合わせてところから始めている。就学前の5歳児の午睡については検討課題として捉えられている場合が多いが、園では午睡について現在、0歳児から5歳児まで全年齢を対象に検討中である。また、長時間保育での子どもの負担を少しでも減らしたいと、遊びにも、座ってする遊びや体を休めながらの遊びを取り入れるようにして子どもたちの休息の確保に努力している。</p>	
<p>3 評価項目3</p> <p>日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している</p> <p style="text-align: right;">評点()</p>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている
○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている
○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している
○非該当	
●あり ○なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている
○非該当	
評価項目3の講評	
<p>子どもたちの自主性、自発性が自然に発揮できるようにするための環境設定をしている</p> <p>子どもたちの自主性、自発性が自然に発揮できるような環境設定をするために、ホール遊びプロジェクトおよび、園庭遊びプロジェクトによる環境設定を月別指導計画の中に環境設定の枠を設けて明確なものとしている。こうした取り組みにより、各クラスの環境を見直す機会を持つことが可能になっている。実践としては登園した時に子どもの好奇心を満たし、自発性が引き出せるように遊具やおもちゃの設定をしたり、積み木などを時々変えて興味を引くようにしている。園長は毎朝見回りをしてその効果を観察し、助言している。</p> <p>一人ひとりの子どもたちが主体的に集団生活に関われるように計画を持って導いている</p> <p>子どもたちが主体性を持って集団生活に関われるようにするために、個の活動が集団の活動に反映できるように月別指導計画・週案を立てている。例えばみんなで縄跳びをしようとしている時にその集団に入らない子どもがいても無理強いせず、時々誘ってみたりしながら自らやりたい気持ちを起こさせ、一緒に活動できるように支援するなど一人ひとりの子どもに合わせた丁寧な対応をしている。</p> <p>季節感を大切に子どもが季節の変化を感じることができるような働きかけをしている</p> <p>園庭での保育やお散歩の時に子どもたちが季節感を感じられるように努めている。お散歩中に目にする木々や草花の変化を話題にしたり、今年は放射能のことで叶わなかったが、毎年、出かけた先の公園では落ち葉やどんぐりを拾って持ち帰り、創作物や絵画に使っている。園庭では各クラスが季節の野菜を育てて収穫し、みんなで食べている。こうした積み重ねが子どもたちの身に付き、園庭の桜が咲くと子どもたちは自ら園庭でのお花見会食を提案し、楽しんでいる。</p>	

4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもたちの発想を大切に、自由遊びの中から拾い上げた行事も組み立てている</p> <p>行事を組み立てる際に子どもの自由遊びの中から子どもたちの発想や活動を拾い上げることも行っている。子どもたちの大好きな「ごっこあそび」から「お店屋さんごっこ」が実現した。「おばけ」が大好きな子どもたちの遊びから「おばけやしき」が生まれた。こうした子どもたちの興味を大切にしたり取り組みは、子どもたちが自ら進んで行事を成功させようとする意欲を持つことに繋がっている。また、伝承行事や季節毎の行事など子どもたちに大切にしたいものも取り入れて楽しさを伝え、子どもたちが興味を持って臨めるようにしている。</p> <p>行事などは家庭との連携を重んじ積極的に保護者に伝え、理解を得るようにしている</p> <p>行事の際には積極的、多角的に保護者に伝えるようにしている。行事については、「クラスだより」「じむしょだより」「うんどうかいだより」などの行事だよりで積極的に伝えている。それらのお知らせは読みやすいレイアウトや、園側の意図が伝わるような書き方をするように心がけている。また、行事を通して家庭との繋がりが持て、家庭でも行事を楽しめるようなきっかけ作りも視野に入れていて、七夕に笹を配ったり、朝顔やサヤエンドウなどの季節の花や野菜の苗、ひまわりなどの花の種を配るなどもしている。</p> <p>地域との結びつきを大切に子どもたちが多くの地域の人々と出会える機会を作っている</p> <p>地域との結びつきを大切にしている。敬老の日には5歳児が近くのデイサービスに行き高齢者と交流してゲームをして遊んだり、折り紙のおみやげを持っていきたり、貰ってきたりしている。運動会の際はお知らせを近くの公共施設や学校などに掲示して貰い、積極的に参加を呼びかけている。当日は近隣の人々が参加できる種目も用意したり、卒園生などの小学生用の種目、乳児もできるゲームを取り入れるなど、近隣の人々が参加したくなるようなものにしていく。ボランティアや実習生も大勢受け入れており、大勢の多様な地域の人々と出会えるようにしている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目5の講評	
<p>子どもたちがお迎え時までゆっくり落ち着いて過ごせるような配慮をしている</p> <p>18時30分頃まで園にいる子どもが多いのが実情で、子どもたちは保育園で長い時間過ごすことになるので、子どもたちがお迎え時までゆっくり、落ち着いて過ごせるようにすることを大切にしている。そのために、一日の中で頻繁に部屋を移動することを極力避けて、子どもたちが最後まで自分の部屋でゆったり過ごせるように配慮している。</p> <p>年齢の違う子どもたちは互いに日常的に自然に交流し、縦割り保育で交流を深めている</p> <p>日常の保育の中で異年齢の子どもたちが自然に交流できている。幼児は週に1度の縦割り保育で、4・5歳児の「わくわくデー」、3・4・5歳児の「きらきらタイム」を行なっている。これは、幼児が縦割りでグループを作り一緒に遊んだり、お散歩に行ったりするもので交流をより深め、互いを身近な存在として認識できるものである。大きい子どもは年の下の子どもを労わり、年下の子どもは年長児を敬うという姿が自然に身についていく。縦割り保育については幼児打ち合わせノートに記録して検証している。</p> <p>職員間の引継ぎは漏れのないようにしてお迎え時にはその日のことをきちんと伝えている</p> <p>その日の子どものようすなどを朝夕連絡ノートを用いて漏れのないように各職員間で伝え合い、お迎え時に保護者に確実に伝えるようにしている。その日の最終当番は朝夕連絡ノートをコピーして事務所に置くという決まりになっており、翌日園長や主査、その他の職員が前日のそれぞれの子どもの様子をきちんと把握できるように、という目的を持ってなされている。</p>	

6 評価項目6		評点()	
子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当	
●あり ○なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	○非該当	

評価項目6の講評	
<p>限られた環境の中で工夫して園児たちにより良い給食を提供できるように努めている</p> <p>区の保育園統一献立表に沿って給食を提供しているが、こうした限られた環境にあっても子どもたちにより良い給食を提供したいと考え工夫している。給食は毎日各クラスの担任が一口検食を行い、その結果については調理室と連携して活かすようにしている。子どもたちが育てた野菜を工夫を凝らした調理方法で給食時に提供しており、ゴーヤをスライスして素揚げしたものは大変好評であった。</p> <p>子どもたちの「食」への関心を高めるためのさまざまな取り組みをしている</p> <p>子どもたちが「食」に関心を持てるように野菜の栽培や調理以外にもさまざまな取り組んでいる。毎日展示食を行っており、その際子ども向けのボードを作って毎日の給食について「ちからになるなるもの」などの表示をして食材の役割を知らせている。ひらかな書きにし、食材は絵で示し、野菜の皮を貼り付けるなどもして分かりやすく興味を引くものになっている。それぞれの食材が体を作るためのどんな役割をしているのかをより分かりやすくするために、内臓を素材にした「エプロンシアター」を手作りし子どもたちの関心をさらに高める取り組みもしている。</p> <p>食生活を大事にすることを園の大切なテーマと考え保護者にも伝えている</p> <p>「食」は子どもの健やかな心身の発達に欠かせない大切なテーマです」と「園のしおり」にも載せているように、食べる意欲と正しい食習慣を身につけるために給食を大切な活動と位置づけると共に、家庭での食事も重要であると伝えている。食育については「食育プロジェクト」を設け熱心に取り組む、園児たちは、なす・きゅうり・トマトなどを育て収穫物は調理室が工夫して給食に出している。4、5歳児は調理体験も行っている。こうした取り組みを「給食だより」などで保護者に伝え、「食」の大切さについて園と家庭との連携を目指している。</p>	

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目7の講評		
<p>怪我や病気から守るために子どもたち自身が理解できるような指導をしている</p> <p>子どもたちを怪我や病気から守るためには子どもたち自身が理解することが大切と考え、保育士は各クラスで体のしくみなどについて伝え、看護師は4・5歳児に毎学期ごとに、歯の健康や体のしくみ、手洗い方法などのテーマで保健指導をしている。歯科衛生士による親子はみがき会や歯科健診時の歯みがき指導なども行っている。怪我については身の回りの危険から守ることに努め、園内では安全係が定期的に点検を行って危険の予防や改善をしている。散歩時などには街中の危険を伝えたり、歩き方の指導などをして身を守ることを教えている。</p> <p>園児に医療的なケアが必要になった場合に適切な対処ができるように備えている</p> <p>入園時の聞きとりなどによって各園児のかかりつけの医師を把握している。通常は受診が必要になった園児は保護者に連絡の上、かかりつけ医などの保護者の希望する専門機関を利用する旨を「保育園のしおり」に載せている。と共に、怪我など緊急で受診が必要になった場合にかかる近隣の各診療科の提携医療機関についても各診療科ごとに分けて名前を載せている。また、保護者の了解の下に、それら専門機関の医師から詳しい対処方法を聞く場合もあり、専門機関との連携を速やかに取れる体制を備えている。</p> <p>感染症などの予防と保護者への情報提供を適切に行っている</p> <p>水疱瘡、手足口病、インフルエンザなどの感染症については毎月の「ほけんだより」で1ヵ月間の発症人数を家庭に報告し、注意を呼びかけたり、詳しい情報の提供をしたり、家庭での対処法などの指導をしている。「ほけんだより」は必要であると考えた時には増刊号も出しており、看護師がいることで丁寧な対応が可能になっている。乳幼児突然死症候群については午睡チェック表を用いて呼吸や頭の向きなどを記録して予防に努めていて、園児たちの健康の維持について適切な対応をしている。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評
<p>保護者会前や行事後のアンケートなどによって保護者の声を聞き次に活かしている</p> <p>保護者の声を大切に考え、保護者会や行事後に感想用紙を配布、記入してもらっている。結果については職員会議全体会議の課題として取り上げ、検討し次回に活かすようにしている。保護者に対しては「うんどうかいだより」や「園だより」、「じむしょだより」、「クラスだより」などでまとめを報告している。特に保護者会の内容については懇談会のテーマを出欠表で事前アンケートで募り、当日出たさまざまな意見を「クラスだより」に詳しく載せてわかりやすく知らせている。保護者会記録や行事予定表には反省の欄を設け検証している。</p> <p>保護者と職員の間の信頼が深まり互いに身近な存在となれるように日頃から努めている</p> <p>保護者との信頼関係を築くために、保護者に保育園を理解してもらうことを大切にしている。職員は日頃から積極的に保護者に声をかけるように心がけている。また、保育士を身近なものとして捉えてもらえるように「じむしょだより」に職員の紹介を載せたり、各種のおたよりは園の思いが伝わるよう工夫している。利用者への調査でも「職員は保護者の話を聞く姿勢をもっているか」、「職員は礼儀正しく丁寧に対応しているか」などの項目で85%以上の保護者からの「はい」の回答を得ており、園の目指していることが評価されている。</p> <p>保護者会ではタイムリーなテーマで話し合い保護者との共通認識が広がるようにしている</p> <p>保護者会への参加比率が高いことが保育士への励みになり、保護者の期待に応えたいという思いに繋がっている。保護者会では毎回タイムリーなテーマでの話し合いの時間を多く持てるようにしている。テーマは保護者会の事前アンケートで出してもらい決めるようにしている。「夜なかなか寝ない」など、普段自分が経験していることからの疑問や年齢特有の悩み、その他困っていることなどが多い。グループに分かれてそれぞれ保護者に司会と記録をやってもらい情報交換をしている。保護者会記録に詳細や反省点を残し活かすようにしている。</p>

9 評価項目9		評点()
地域のニーズに即した子育て支援を実施している		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	○非該当

評価項目9の講評
<p>地域に開かれた保育園を目指し子育て支援事業を実践している</p> <p>保育理念として「地域に親しみやすい保育園を目指します」と謳っており、地域に開かれた保育園を目指してさまざまな子育て支援事業に取り組んでいる。「すくすく」では毎月1回看護師による身体測定と健康相談及び園児たちとの遊びを体験できる。「園庭開放」は週二日間午前中に行っている。「子育て相談」では電話や来訪者、見学者などの相談に園長と主査が対応している。「ふれあい保育」は親子で保育園生活をや給食を体験できるものである。運動会には地域競技「みんなあつまれヨーイドン」を企画し、乳児も小学生も参加できるようにしている。</p> <p>子育て家庭同士が親しくなるために支援しておりさらなる取り組みへの意欲も持っている</p> <p>地域で子育てしている人同士が「すくすく保育」「園庭開放」など園の行っている地域事業に参加して出会い、回を重ねていく内に親しく交流するようになるケースは少なくない。こうした例は園にとっても地域事業を行っていく上で励みとなっているが、職員アンケートではもっと意欲的に取り組みたいと考えている職員の様子が窺える。職員アンケートでは「地域ニーズに即したさらなる地域支援事業を充実させ、もっと地域に根ざした保育園にしていきたい」と述べている職員が複数いた。こうした意欲を今後活かしていくことが期待される。</p> <p>子育て支援事業の見直しをきちんと行っており課題も掴んでいる</p> <p>「すくすく保育」「園庭開放」「子育て相談」「ふれあい保育」などの子育て支援事業については毎年、年度末に反省、見直しをして次年度の計画に活かしている。現在の課題として地域事業についてのPRをあげ、特に「園庭開放」についてまずPR方法を考えたいという意思を持っていて、今後検討していくことにしている。</p>

事業者が特に力を入れている取り組み		
評価項目	4-1-2	多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している
タイトル	5つのプロジェクトを組成し、職員がいずれかに所属して保育の活性化を進めている	
内容	<p>「食育」「運動発達」「園庭遊び」「環境整備」「室内・ホール遊び」の5つのプロジェクトを組成し、職員がいずれかに所属し、活動の成果を保育のなかに取り入れている。たとえば、「運動発達プロジェクト」では、今年度のねらいとして、1、2歳児の発達の特徴を勉強し直すことを掲げ、日々の保育のなかに具体化できる内容を検討している。一例をあげると、「ウォーターアレイの水の量を調節することが、下半身の弱い子どもの育ちをよくする」といった観察を行っている。各プロジェクトの検討結果は全職員に報告され、日々の保育のなかに活かされる。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み		
評価項目	6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている
タイトル	職員の意識向上及び業務の明確化を目指した取り組みに力を入れている	
内容	<p>自分達で課題を発見し課題解決の提案に繋げて行く「職員自主参加による5つのプロジェクト」や、職員の役割が視覚化できるよう事務室の「体制板」の見直し・改善、職員のモチベーションを高める「保育の向上を考えるリーダー」の設置、毎日の「体制打ち合わせ」を職員が持ち回りで行うようにしたこと等、園では昨年からの職員意見も取り上げて、業務の水準を高める様々な取り組みに力を入れている。職員調査では、これらの取り組みを評価する記述があり、園では今後さらなる見直し・検討を重ね、より良いものと思いたいと考えている。</p>	

〔全体の評価講評：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立阿佐谷南保育園)

特に良いと思う点		
1	タイトル	「子どもや保護者の言葉に耳を傾ける」という姿勢を大切に考え、保護者の満足度も高い
	内容	毎日の子どもの様子をきちんと捉え、保育に反映させていくことと、保護者からの相談、園に対する要望、家庭での子どもの状況の聞き取りなどに、丁寧に向き合っていくことを大切にしている。保護者会、個人面談、連絡帳、日々の会話、そしてアンケートなどによって把握したことや、日々の子どもの状況の変化に適切に応えられるように、職員全員で努力している。こうした姿勢は保護者から評価され、利用者調査の結果の満足度も大変高い。職員調査においても多くの職員が、保護者との関係について、「真摯に向き合い信頼を得ている」と自ら評価している。
2	タイトル	職員が相互に連携して職務にあたり、チームワークの良さが職場風土として定着している
	内容	職員が自己の役割をよく認識し、クラス担任・プロジェクト担当などにおける職責を責任をもって果たすと同時に、相互の協力の重要性を理解している。「体制ボード」と呼ぶ勤務配置や勤務時間を一覧的に表示するボードへの記入を通じて、互いに連携して業務に当たっている。その結果、園長や園長の補佐にあたる主査の指示を待つことなく、協力して業務を進める、理想的とも言うべきチームワークが形成されている。園の保育理念や保育目標をめぐる理解と、プロジェクト活動への参加などによる創意工夫を重視する風土がチームワークのベースとなっている。
3	タイトル	職員プロジェクトや向上リーダーの設置等、業務の水準向上に取り組んでいる
	内容	昨年より、「園運営マニュアル」の作成に伴い、「保育の向上を考えるリーダー(向上リーダー)」の設置、職員自主参加の職員プロジェクトの立ち上げ、会議の司会や会議録を職員持ち回りで実施するなど、業務の見直し・仕事内容の明確化を進めている。園長は業務の水準向上のためには、職員が自ら進んで考え実行する仕組みづくりが必要と考えている。職員調査でも、これらの取り組みへの評価は高く、今後に期待できる。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	地域にとってより身近な公共施設となるよう今後の地域との連携の仕組みづくりに期待したい
	内容	地域の子育て支援に向け、園庭開放、ふれあい保育、子育て相談、身体測定などを行っている。地域に向けては、高齢者施設との交流や、実習生の受け入れ、近隣への園行事参加のお誘い等を行っている。しかし、園は次年度、0歳児保育が行われないうことによる看護師の配置中止を受け、育児相談なども方法の見直しを迫られている。園としては地域の身近な公共施設としての役割を果たしたいと考えているので、新たな事業の実践や地域との連携の仕組みづくりを進めることに期待したい。
2	タイトル	各プロジェクトの目標に向かって、高い専門性への園ぐるみの取り組みが求められる
	内容	職員が、各クラスでの保育活動のほか、「食育、運動発達、園庭遊び、環境整備、室内・ホール遊び」の各プロジェクトに参加することを通じて、園の保育理念・保育目標の実現が可能となる。各プロジェクトの目標は、それぞれが高い専門性のもと高いレベルに設定され、容易には達成できない。生半かな取り組みは、かえって保育活動を混乱させる危険を有し、園長・主査・各職員は、そうした状況を認識している。職員一人ひとりが心構えを新たにして取り組むとともに、園長・主査、さらには、向上リーダーによる、園としての取り組みの調整が重要といえる。
3	タイトル	計画を緊急に変更する場合の仕組みについて、職員周知が必要と思われる
	内容	園運営マニュアルに「園運営及び保育に関わる事項」として、指導計画作成手順や半期毎の見直し・検証、保護者の意見・要望の取り入れや各種会議による職員意見の積み上げ方法等、明記されている。しかし、緊急に計画変更の必要が生じた場合の手順等は記されていない。緊急時対応マニュアルの事故・怪我・発病時の対応と同様、計画変更時の仕組みの明確化が望まれる。

平成23年度
東京都福祉サービス第三者評価
評価結果報告書

杉並区立久我山東保育園

調査対象	園を利用している0歳から5歳までの園児93名の内、家庭数の保護者80名を対象とした。記入者は母が一番多く82%、父母一緒が10%、無回答8%だった。年齢は20代3%、30代6.4%、40代21%、50代2%、無回答10%であった。
調査方法	区担当者及び園長に対して、2回の機関説明会を行った後、機関が用意したアンケート一式(アンケート、依頼手紙、切手付き封筒)を、園から保護者に手渡ししてもらい、回答は保護者から直接機関へ郵送してもらい匿名性を担保した。機関で集計・分析して区及び園に報告した。
利用者総数	80
共通評価項目による調査対象者数	80
共通評価項目による調査の有効回答者数	61
利用者総数に対する回答者割合(%)	76.3

利用者調査全体のコメント

満足度調査では、「大変満足」が30%、「満足」が52%、合わせると82%と満足度は高い。そのほか、「どちらともいえない」が13%、「不満」が5%だった。61名中44名が、自由記述に意見・要望を記している。「お世話になり感謝している」「子どもも親もとても満足している」「大変助かっている」「子どもが毎日楽しそう」「働く親に配慮してくれ感謝している」等、評価する言葉が多く記されている半面、意見・要望として「お昼寝が長すぎる」「先生によって態度が異なる」「園庭のやぶ蚊の駆除をお願いしたい」「お迎え時に直接子どもの様子を報告して欲しい」等、記されている。また、3月の震災時の園の対応について、助かったと言うものと嫌な思いをしたとの、双方の意見が記されていた。さらに、「毎年アンケートを行ったほうが良いと思った」など、今回の調査を評価する意見も多く記されていたが、「PCで記入できるようにしたい」など、調査方法についての意見も記されていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	50	10	1	0
「はい」が82%、「どちらともいえない」が16%、「いいえ」が2%だった。「はい」の答えの方は「美味しい」「手作りおやつが良い」「小食の子どもに合わせた個別配慮をしてくれる」等、記されている。「どちらともいえない」「いいえ」の方は、「土曜日の市販のおやつはやめて欲しい」「個別対応をして欲しい」「原発後の食材が不安」等、記されている。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	56	3	2	0
「はい」が92%、「どちらともいえない」が5%、「いいえ」が3%だった。「はい」の回答率は設問中一番高い。設問記述には「園庭、お散歩など外遊びが工夫されていて良い」と、コメントの殆どが満足を表すものだったが、「小さい子ども達に外遊びの機会が少ない」との意見もあった。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	43	12	1	5
「はい」が70%、「どちらともいえない」が20%、「いいえ」が2%、「非該当」が8%だった。「はい」の方は、「快く対応してくれた」「当日でも対応してくれた」等、記されている。「どちらともいえない」「いいえ」の方は、「先生による」「嫌な顔をされた」「仕方ないと言う感じの対応をされた」等、記されている。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	50	10	1	0
「はい」が82%、「どちらともいえない」が16%、「いいえ」が2%だった。「はい」の答えの方は「十分です。上の子を病院へ連れてゆく時、下の子を預かってもらい助かった」「発熱の時しっかり様子を見てくれる」と記されている。「どちらともいえない」「いいえ」の方は、「怪我のときなど状況を報告して欲しい」「小さな怪我は手当てしてくれない」「怪我を職員が気づいていないことがあった」等、記されている。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	33	22	6	0
「はい」が54%、「どちらともいえない」が36%、「いいえ」が10%だった。設問記述には「園庭遊びでの死角が心配」「出入りが心配」「雨の日、2階に上がる外階段が心配」「震災時対策が心配」「子どもの怪我が多い」等、殆どが不安・心配の記述だった。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	39	14	7	1
「はい」が64%、「どちらともいえない」が23%、「いいえ」が11%、「無回答」が2%だった。設問記述には、平日の保護者会、個人面談等、仕事を休めない、または休みにくい親の気持ちが多く記されていた。土曜開催の場合も仕事の関係によっては休みにくいと言う記述もあった。保護者の仕事が多様化している現在、行事日程の設定はどの園も検討課題となっている。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	45	15	1	0
「はい」が73%、「どちらともいえない」が25%、「いいえ」は2%だった。「はい」と答えた方は「良く話を聞いてくれる」「自分の経験も含めて話してくれる」と記しているが、「どちらともいえない」「いいえ」の方は「先生と話す機会が無い」「忙しそうで話せない」「先生による」と記している。また、自由記述の中には「若い先生は良く話を聞いてくれる」とあった。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	43	15	1	2
「はい」が70%、「どちらともいえない」が25%、「いいえ」が2%、「非該当」が3%だった。「はい」の方は「相談に対してきちんと対応してもらえた」「迎えの時良く話をしてくれる」と記しているが、「どちらともいえない」「いいえ」の方は「職員によって違いがある」「特別話したことがないのでわからない」「聞いてくれるが対応してくれない」「じっくり聞いてもらえない」等、記している。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	44	9	3	5
「はい」が72%、「どちらともいえない」が15%、「いいえ」が5%、「非該当」が8%だった。設問記述には「おそらく守られていると思います」とのコメントのほか、「配慮がないと思う」「保護者の情報が守られているか不安」というコメントが記されている。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	52	9	0	0
「はい」が85%、「どちらともいえない」が15%だった。自由記述には「毎日愛情を持って接してくれる」「子どもの成長と一緒に喜んでくれる」「子ども達を大事にしてくれている」と満足の言葉が多く記されている。個別設問には「何より子どもが先生を好きです」「保育士によると思う」「手がかからない子なので忘れられていないかと不安」等、記されている。				

11. 職員の対応は丁寧か	50	10	1	0
「はい」が82%、「どちらともいえない」が16%、「いいえ」が2%だった。設問記述には「いつも元気に話をしてくれる」「丁寧なら良いと言うものでもない」「殆どが丁寧です」「先生による」等、さまざまな意見が記されている。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	24	25	11	1
「はい」が39%、「どちらともいえない」が41%、「いいえ」が18%、「非該当」が2%だった。「どちらともいえない」の回答は設問中一番多い。自由記述や設問記述には、放射能問題についての不安・不満の声が複数記されているほか、園の老朽化についての要望・意見も多い。「特に不満を感じることはない」との意見もあるが、「話しにくい」「不満を感じても言えない」「時間を取れず言いにくい」等の意見が複数あった。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	25	22	3	11
「はい」が41%、「どちらともいえない」が36%、「いいえ」が5%、「非該当」が18%だった。設問記述には、「不満に感じる事が無いので経験が無い」との意見はあったが、「対応はしてくれるが納得できない」「長期間対応してくれなかった」「言っても改善されなかった」等、否定的な意見も複数あった。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	23	2	34	2
「はい」が38%、「どちらともいえない」が3%、「いいえ」が56%、「非該当」が1%、「無回答」が2%だった。「はい」の回答は設問中一番低く、「いいえ」の回答は設問中一番多かった。設問記述には「知ってはいるが、そこまでの不満・要望はないと思う」「園に知られそうで相談できない」等、記されていた。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	11	1	0	0
1年以内の利用開始者は12名で、そのうち説明を受けたと答えた方は100%（12名）だった。さらに、説明が分かりやすかったと答えた方は92%（11名）となっている。設問記述には、「きちんと説明があったが、初めてなので一部の言葉などイメージできなかった」「詳しく説明があり資料も揃っていたが、子ども同伴だったので集中できなかった」と記されていた。				

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1(1-1)	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	9 / 9
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点()	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <input type="radio"/>非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点()	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <input type="radio"/>非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点()	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/>非該当

カテゴリー1の講評

区の保育目標「互いに認め合い、援け合い、自然と向き合う子ども」を実践している

「よく遊びよく食べよく眠る元気な子、よく見よく聞きよく考えて行動できるやさしい子、一緒に生活するなかで仲間として認め合いともに育ち合う子」を園の目標としている。新年度の前にすべての職員が参加して目標を確認し、保育課程に明記される。園は都会地の園としては園庭が広く、周囲には公園などがあって緑も多く、恵まれた立地にあるといえる。こうした環境のなかで、「互いに認め合い、援け合い、自然とも向き合っていく保育」をめざし、子どもそれぞれの発達段階を重んじて、子どもが互いに尊重しあう保育を進めている。

意思決定のあり方が明確に定められ、職員会議の効率的な運営が工夫されている

設置者である区が決定する事項、管理責任者である園長が専決する事項、内部規程によって決められた役割分担に基づき、各職員が判断すべき事項が明確になっている。定例職員会議 週1回2時間、「夜会議」と呼ぶ指導計画・プロジェクト・行事をめぐる職員会議 月1～2回2時間、「昼の打ち合わせ」毎日15分、カリキュラム打ち合わせ(月末2日間1時間余り)によって、園の運営をめぐる協議や連絡が行われている。毎月の職員会議に先立ち、予定表に提案事項を担当者があらかじめ記入するなど、効果的な運用が図られている。

リーダー層職員の連携やコミュニケーションへの努力が、組織力のベースとなっている

園長のほか、主査、乳児クラス・幼児クラスリーダー、「CS(利用者満足)」担当、看護師、調理員リーダーなどが、それぞれの役割に基づいてリーダーシップを果たすとともに、緊密に連携を取り合っている。園長は、毎日、各保育室を巡回し、子ども一人ひとりに声を掛け、保護者とも挨拶を交わしている。前半期末と年度末に、全職員が出席して、園の保育をめぐる振り返りを行っている。そうしたコミュニケーションの良さや、真摯な振り返りの態度が、園児一人ひとりの発達に応じた保育を大切にす組織力のベースとなっている。

カテゴリ-2		
2	経営における社会的責任	
サブカテゴリ-1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ-毎の標準項目実施状況 4 / 4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ-毎の標準項目実施状況 7 / 7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

区立保育園にふさわしく、コンプライアンスが確立し、職員の職業倫理が遵守されている

区が設置し直接運営する保育園として、条例及び各種内部規程に基づき、適正な運営が行われている。園は、児童福祉法35条の規定に基づき、区の保育所条例によって設置されている「直営園」であり、区長や区議会による監督や監視とともに、所定の内部監査が実施されている。園長はじめ、職員の間には法令遵守の姿勢が定着し、法令や社会通念に基づく、社会福祉事業者としてのコンプライアンスが確立している。ちなみに各職員は、公務員として区の服務規程に従うと同時に、保育士である職員には、児童福祉法による信用失墜行為の禁止規定が適用される。

福祉サービス第三者評価の受審などによって、運営の透明性の確保に注力している

福祉サービス第三者評価を受審し、子どもと保護者のニーズに応える運営を確立し、園の透明性を高めるように注力している。前回の第三者評価の結果を保護者が見ることができるように、報告書を園内に備え付けている。また、父母会の終了後、園長が役員から意見を聞き、園の運営の改善に反映させている。なお、クラス会や職員会議で、自発的に保育の実践をめぐる振り返りを行っているが、今後の課題として、保育所保育指針が努力義務とする「園自身の自己評価制度」を充実し、第三者評価などと関連づけて活用するといっそう効果があるだろう。

園の人材や施設を活用して、地域の在宅子育ての推進に積極的に貢献している

児童館に拠点を置く地域の子育て支援事業に参加し、園庭開放、園の見学の受け入れ、園職員による保育相談、ふれあい保育(保育園生活体験)、緊急一時保育などを実施している。「地域子育てネットワーク会議」に参加し、同会議が主催する「地域の秋祭り」などに加わっている。そのほか、地元区立中学校2校(職場体験、家庭科実習)、福祉系大学2校から計5名の実習生を受け入れて、職員が指導にあっている。また、「区のNPO・ボランティア活動条例」に基づき、社会福祉機関のボランティアセミナー参加者へのオリエンテーションを行っている。

3			カテゴリ-3	
利用者意向や地域・事業環境の把握と活用				
サブカテゴリ-1(3-1)				
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
			8 / 8	
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点()				
評価		標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点()				
評価		標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点()				
評価		標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評				
保護者の意見や要望を丁寧に聞くとともに、苦情申し出制度があることを伝えている 入園説明会や園のしおりで、苦情の受付をめぐる区の苦情申し出制度を説明している。東京都の福祉サービスの利用をめぐる、各市区町村に苦情対応機関が設けられ、区の場合は「保健福祉サービス苦情調整委員」が置かれている。しかし、「第三者委員」と呼ばれるこの制度の認知度は低く、利用されるケースは極めて少ない。園では、保護者の要望や苦情を、連絡帳への書き込み、職員や園長との対話のなかから把握するように心がけている。把握した要望・苦情については、誠意をもって対応し、職員会議や関係職員の会議の場で改善方法を検討している。				
園行事の後でアンケート調査を行い、その中から保護者の意見・要望を把握している 第三者評価による利用者調査のほか、園行事のときに、保護者に「感想用紙」を用いて自由記述式のコンパクトなアンケート調査を実施し、そのなかから、保護者の要望や意見、さらには苦情などを収集している。その結果を職員会議で検討し、日常の保育や行事を進めるうえでの参考としている。主要な園行事の結果について、「園だより」でその状況を保護者に知らせ、保護者に関心を持ってもらうようにしている。そのほか、朝・夕の送迎時の保護者との会話や、連絡ノートへの記載内容などから、保護者の満足度('CS'の状況)の把握に努めている。				
「地域子育てネットワーク」への出席や行政機関との連携により、情報を収集している 地域の児童館・保健センター 生後4か月目の検診を担当 などを拠点とする、子育て支援のネットワークに参加し、地域の子育て支援に関する情報を収集している。また、「保育園に行き遊ぼう」のポスターを商店街に掲示してもらっている。ちなみに、園が参加している「地域子育てネットワーク」は、子育てをめぐる「親子その他の交流・情報の提供や交換・子ども自身の参加・区民の要望への対応・個別ケースの解決についての連携・関係行政機関の連携」を目的としている。なお、園は、在宅で子育てにあたる保護者からの電話相談にあっている。				

4		カテゴリ-4	
4		計画の策定と着実な実行	
		サブカテゴリ-1(4-1)	
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	11 / 11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4 / 4
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>園の基本計画が年度計画・部門計画へと、各種計画が整合性をもって展開されている</p> <p>区が「保健福祉計画」を策定し、園の基本計画もこのなかに包含されている。区によって経費予算を伴う年度計画が策定され、園の保育過程の保育目標と年間指導計画(各種部門計画を伴う)が、年間・月間・週案・日案などの計画へと展開される。指導計画の作成にはクラス会などでの討議の結果が反映され、また、園としての「チャレンジプラン」を作成し、具体的な推進事項が明確化される。なお、こうした独自のプランを拡大し、区全体としての中長期見通しと合わせて、周辺地区の保育をめぐる中長期的展望をまとめておくことが有効と考えられる。</p> <p>全体計画から指導計画への手順がルール化され、効率的に作成作業が進んでいる</p> <p>保育課を中心とする区の策定作業と併せて、園としての保育過程と、年間及び月間・週案・日案の各指導計画が作成される。計画作成の手順がルール化され、区の保育実践方針を参考に、各職員がそれぞれの立場から課題の設定と計画の作成に参画している。計画の作成にあたっては、クラス会議・プロジェクト別会議によって十分な討議が行われる。ちなみに園では「あそぼう会、CS・職員会議、防犯委員、パート対応、園内研修、お茶代・親睦、休憩室管理、地域・新年度準備」のプロジェクトが編成され、各種計画の作成が円滑に進む基礎となっている。</p> <p>園の安全マニュアルを整備し、防災・防犯訓練など安全の確保に万全を期している</p> <p>区の危機管理マニュアルのほか、園で安全マニュアルを作成し、「ヒヤリ・ハット」をめぐる園内研修を実施して、子どもの安全確保のために万全を期している。具体的には、毎月の防災訓練、毎期の防犯訓練、緊急連絡方法の掲示、感染症の拡大防止、消毒の徹底、防火対策などに取り組むとともに、看護師職員を中心に、参考資料の読み合わせなどを行っている。保護者の安全管理をめぐる関心は大変に高く、今後の課題として、「事務所だより」や「園だより」を通じて、防犯上の確認事項など、安全管理面について情報の共有を図りたいと考えている。</p>		

5		カテゴリ-5	
職員と組織の能力向上			
サブカテゴリ-1(5-1)			
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ-毎の標準項目実施状況	8 / 8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)			
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ-毎の標準項目実施状況	7 / 7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ5の講評		
<p>常勤職員の全員が保育士その他の資格を有し、専門性の高い人材構成が実現している 常勤職員22名のうち、保育士資格者が18名、看護師資格者が1名で、調理担当者にも適任者を配置して、専門性の高い人材構成が実現している。前年度の常勤職員の退職者はなく定着率が高い。平均年齢40歳(在職年数4年)といずれも十分な経験を持ち、区職員として転勤制度があるなかで、園の子どもを知る職員が多く配置される結果となっている。園医の巡回指導、保育課に在籍する栄養士の指導、心理専門家のケアが行われている。</p> <p>チャレンジプランに基づいて、職員一人ひとりの能力向上への取り組みが行われている 毎年、職員一人ひとりから「私のチャレンジプラン」の提出を求め、職員全体の研修計画を策定するとともに、職員それぞれの希望を踏まえ、能力向上への計画を作成している。園長が、チャレンジプランをもとに個人面接を行い、OJTへの心構え・集合研修・自己啓発について助言しフォローを行っている。今後の課題として、長期的な展望からそれぞれの自立したキャリア形成への取り組みを支援していくことが、いっそう重要になると考えられる。非常勤職員についても、様々な機会を通じて、コミュニケーションを図り、個別の事情の把握に努めている。</p> <p>職員間に保育をめぐる意識が共有され、高いモチベーションが維持されている 地方公務員としての身分が保証され、処遇および労働条件・健康管理・福利厚生などが整備されており、また、職員の大多数が保育士などの資格を有し、職業上の基盤が安定している。園には、こうした専門性の高い職員のモチベーションへの取り組みが求められ、なかでも、仕事へのロイヤリティの理解が重要となる。園は、子どもそれぞれの発達状態に合った保育を重視し、専門的な技量を求めている。今後は、先輩職員などが積極的にOJTを行い、指導的機能を果たすことによって、職員間に高い意識が共有され、モチベーションが保たれることが期待される。</p>		

7			カテゴリ7	
7			情報の保護・共有	
			サブカテゴリ1(7-1)	
情報の保護・共有に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	7 / 7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる			評点()	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している			評点()	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている			<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ7の講評				
<p>紙の書類及びパソコンの入力データの両方が整然と整理され、厳正に管理されている</p> <p>園の運営マニュアルに情報管理に関する基準を定め、紙の書類及びパソコンの入力データの両方が、その内容度や重要性の別によって分類され、整然と管理されている。児童票・保育要録・家庭連絡票などの子どもをめぐりデータをはじめ、保管している情報ごとに閲覧やアクセスの基準を明確に決め、保管機器のキャビネットの施錠の励行、USBメモリの使用の制限など、情報の流出・不正使用の防止策が講じられている。また、毎週1回の職員会議、毎日15分間の昼の打ち合わせなどを実施して、職員間の必要な情報の共有化が図られている。</p> <p>区の個人情報保護条例、国のガイドラインに従って個人情報を厳正に取り扱っている</p> <p>区の個人情報保護条例・情報公開条例に基づくほか、福祉関係サービス事業者の一員として、「福祉関係事業者における個人情報の適正な取り扱いのためのガイドライン(厚生労働省)」に沿って、個人情報取扱事業者に準じて、個人情報を厳正に取り扱っている。職員会議などを通じて「子どもの個人情報を適正に取り扱う」ことを、ボランティアを含む職員全員に徹底している。また、ビデオや写真の撮影などの個人情報に関わる画像情報の取扱方法や、児童票の開示を要求するときの申請書について定めるなど、情報公開をめぐる管理制度を整備している。</p>				

カテゴリ-8	
8	カテゴリ-1～7に関する活動成果
サブカテゴリ-1(8-1)	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
<p>保育目標・年間指導計画を手順よく作成し、日常の保育、行事がいっそう円滑に進行した</p> <p>年間計画の作成にあたって、すべての職員に保育目標を中心とする園の方針を周知し、保育過程に謳う目標などを討議、確認し、年間及び月案・週案・日案などに体系だてて反映させている。こうした取り組みがベースとなって、月、週、日の保育の実践や、各行事の運営が、前年度に比べて一段と円滑に進んでいることが、指導計画や園日誌、行事の記録などから分かる。</p>	
サブカテゴリ-2(8-2)	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
<p>「振り返り」の機会を十分に設け、計画 実践 反省 次の実践がよく機能している</p> <p>職員会議、クラス打合せ、各種連絡会、行事・プロジェクト別の会合などを場を通じて、「振り返り」の機会を十分に設け、また、経営層が職員が持つ様々な課題について、時間をかけて話し合うように心がけ、その結果、「計画 実践 反省 次の実践(PDCA)」へのサイクルが軌道に乗った。こうした計画作成と振り返り 反省 のプロセスが機能していることが、職員会議等の会議録、月案その他の指導計画などから確認できる。</p>	
サブカテゴリ-3(8-3)	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
<p>保護者との多面的なコミュニケーションの強化に努め、着実な効果があがっている</p> <p>朝・夕の送迎時の対話、職員の勤務割りの明示、送迎にあたる保護者や親族の把握、連絡ノートの活用などによって、保護者とのコミュニケーションの向上に努力している。その結果、保護者との協力関係が着実に向上していることが、各種日誌、勤務割表その他から確認できる。</p>	

サブカテゴリ-4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

区の保育課を中心に区立保育園が運営の効率化に努め、園も経費の節減に努力している

保育課を中心に、44の区立保育園について、一部、給食調理業務への指定管理者制度の導入などによる効率化、保育料収納率の改善(対前年度比0.26%改善して96.7%へ)などを実現している。園もこうした保育園運営の効率化への区全体の努力のなかで、用紙の一つひとつに至るまで無駄を削減するなど、職員が一丸となって経費の節減等業務の効率化に努めている。

サブカテゴリ-5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

園児の保護者及び地域の子育ての親子との対話に努力し、地域における満足を得ている

各職員が保護者との対話を通じて要望や意見を汲み取り、また個人面談の機会を増加させて、保護者とのコミュニケーションに積極的に取り組んだ。また、「園であそぼう会」を通じて、地域の子育ての親子と接するように心がけ、園をめぐる保護者や地域の満足や評価が向上していることが、園日誌、個別の記録表、「あそぼう会」の記録ファイルなどから知ることができる。

サービス提供のプロセス項目 (カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

共通評価項目																
サブカテゴリ-1																
1	<p>サービス情報の提供</p> <p style="text-align: right;">サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4 / 4</p> <p>評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している</p> <p style="text-align: right;">評点()</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目															
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当														
サブカテゴリ-1の講評																
<p>区のホームページ、広報誌のほか、「園のしおり」「園の概要」等で、広く周知している</p> <p>区のホームページで一括して園の案内をしているほか、園独自で「保育園のしおり」「保育園概要」等を作成している。また、月曜から金曜までの園庭開放、年に5回の「あそぼう会」、一般参加もできる「なつまつり」や「運動会」などの行事概要をまとめたA4紙1枚のチラシを、近隣や児童館等の関係機関に配ったり、門扉横の掲示板に貼り出し、一般も利用できる園情報を近隣に広く周知している。さらに、それぞれの行事ごとや園庭工事の際にも、そのつど近隣に向けてのお知らせニュースの配布とともに、掲示板に貼りだして周知に努めている。</p> <p>「園だより」「事務所だより」「クラスだより」等、常に保護者に情報提供をしている</p> <p>月次発行の「園だより」は、職員3名が年間計画を立て“何を伝えたいか”を明確に“親と子どもにとって活かせるもの”として、イラスト(子どもの書いた絵)を多用し、持ち回りで作成している。事務所担当の「事務所便り」は随時、看護師による「ほけんだより」、調理職員による「献立表・給食だより」は月次、「防犯ニュース」は年2回発行され、保護者に役立っている。「クラスだより」、毎日張り出される「今日の出来事」は、それぞれイラストや子ども達の写真を多く使い、園の日常を伝える楽しいものとなっている。</p> <p>見学・利用希望者の対応は、園長・主査を中心に行っている</p> <p>原則、園長及び主査が見学希望者、利用希望者からの電話相談、申し込み等に対応している。見学希望者には日程調整を行い、当日も園長か主査が対応し、「園のしおり」等の資料をもとに園情報を提供している。また、「園庭開放」や「あそぼう会」地域参加の園行事等もお知らせし、子どもを連れての見学・参加を勧めている。さらに、区他園の情報なども分かる範囲で伝えている。電話相談や見学当日に受けた相談・質問内容は園日誌に記すとともに、別途「見学者の受付簿」を作成している。</p>																
サブカテゴリ-2																
2	<p>サービスの開始・終了時の対応</p> <p style="text-align: right;">サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6 / 6</p> <p>評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている</p> <p style="text-align: right;">評点()</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目															
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当														

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評		
<p> 入園説明会・入園後保護者会で「園のしおり」に沿って説明し、保護者の同意を得ている 3月下旬に行われる入園説明会で園長、主査、看護師、保育士が「園のしおり」及び「区のしおり」に沿って、園目標、園概要、災害・防犯対策、苦情受付、年間行事、延長スポット保育、病児・病後児保育等、詳細に説明し「同意確認書」に保護者の記名・押印をもらっている。「園のしおり」には、入園時及び年間準備するものとして、毎日持ってくるもの、毎週持ってくるもの、保育園に置いておくものが分類され、衣類、タオル、オムツ、バッグ等、写真で分かりやすく説明されている。また、布団カバーについてもイラスト入りで丁寧に説明されている。 </p> <p> 新入園児面接で、入園前の子どもの生活状況や保護者意向を確認し児童票に記録している 内定が決まった時点で、入園必要書類及び児童票、健康調査票等を保護者へ送付し、記入してもらっている。記入された児童票をもとに2日間に渡り、園長、職員が新入園児面接を実施し、入園前の子どもの生活状況、心身の状態、保護者の要望・意向を確認している。これらは、入園前情報として「入園後の健康記録」「保育の経過記録」「主な発達の現れ」「個人面談記録」などとともに、個別ファイルにまとめられ事務室の鍵のかかる棚に保管されている。また入園直後は、それぞれの子どもや保護者の状況に合わせた1週間前後の「慣れ保育」を実施している。 </p> <p> 小学校への保育要録の提出や卒園後の園行事への参加呼びかけを積極的に行っている 小学校への入学時には、子どもがスムーズに小学校に馴染むよう、担当職員が保育要録を作成しできるだけ手渡しで各学校へ提出している。小学校入学準備として、午睡の減少・廃止については、園での検討課題となっている。また、卒園児・保護者に対して毎年、行事参加呼びかけの葉書を送り、「なつまつり」や「運動会」には、毎回多くの卒園児や保護者が訪れている。卒園間際には、保護者からの相談等にも対応し、環境の変化への不安軽減に努めている。保護者の事情等での転園にも、同様に相談対応を行っている。 </p>		
サブカテゴリ-3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12 / 12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している
評点()

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたくうで、必要に応じて見直ししている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している
評点()

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している
評点()

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3の講評

新入園児面接で得た子どもの情報及び保護者の意見・要望は児童票に記録されている
 新入園時面接は、保護者に配慮し平日の2日間に渡り、一人1時間弱をかけて行われる。担当は園長だが必要に応じて他の職員も同席する。事前に送付しておいた児童票、健康調査表を基に入園前の子どもの生活状況について聞き取り、同時に保護者の保育の考えについて確認している。保護者から出された園への質問や要望・意見は、個人面談記録や児童票のなかに記録されている。また、自由記述に配慮すべきことや特筆すべきことを記録している。園では更に詳細に子どもの発達に関する情報をまとめた「子どもに関する情報シート」の作成を検討中である。

各クラスごとに年間カリキュラム、月間カリキュラムの打ち合わせを月次で実施している
 「保育所保育指針」に基づき、毎年「保育課程」を作成している。園の年間目標をはじめとして、年齢別に大切にしたいこと、養護、教育、食育、保護者との連携、地域との連携等、項目別の目標を定めている。さらに、「保育課程」に基づきクラス別の年間指導計画(0,1才児及び必要な子へは個別配慮作成)、月案、週案、デイリープログラムを作成している。クラスごとに、月末2日間開催の月指導計画打ち合わせ(カリ打ち合わせ)で振り返り、課題・問題点を検討し、次月計画を作成している。

保育日誌、連絡帳に日々の活動や子どもの状況を記し、各種会議で職員共有を図っている
 保育日誌は乳児と幼児に別れ、全体として保育活動、健康・生活、個人記録等が記されている。そのほか、乳児は連絡帳の1枚を個人記録として使用し、幼児は「保護者向け日誌(今日の出来事)」を別途作成している。保護者向け日誌(今日の出来事)は、1枚をB4に拡大しイラスト・写真や色づけなど工夫して、毎日貼り出している。0~2歳児及び必要のある子に対しては連絡帳で、3歳以上の子へは連絡事項で保護者と情報共有している。子ども達の日々の状況を克明に記録し、昼打ち合わせ、定例会、夜会議等で職員共有化を図っている。

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点()		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和りとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点()		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p>区の「個人情報保護条例」に基づき、個人情報の取り扱いを行っている</p> <p>区の「個人情報保護条例」「情報開示条例」に基づき、申請書には情報収集の目的、使用範囲等が定められている。「園のしおり」にも、ビデオ・写真撮影について、個人情報保護の観点を明示するとともに、「園運営マニュアル」にも個人情報の項目を設けている。また、病院や関係機関へ子どもの情報を提供するには、そのつど保護者の同意を得ている。しかし、事故や急病等で緊急事態が発生し、保護者との連絡がなかなか付かない場合も考えられ、事前に「個人情報取り扱い同意書」をもらっておくことが必要と思われる。</p> <p>職員の言葉遣いや言動など、気になることはその場で注意・確認を行っている</p> <p>乳児のおむつ替えはコーナーで行い、幼児のプール遊びの時の着替えはジャバラやすだれを使用するなど、子ども達のプライバシーに配慮している。また、日頃からの職員相互チェックが何より大切と考え、言葉遣いや言動等気になるときは時間をおかず、注意することとしている。さらに、毎日開かれる昼打ち合わせの場を活用して改善策を迅速に検討するなど、子どもの心を傷つけない日常保育を心がけている。保護者とは送迎時等、できるだけ会話を交わし意思疎通を図っているが、忙しい保護者や職員の事情もあり、園ではさらなる工夫が必要としている。</p> <p>区の担当課や各種の子育て支援センターと連携できる体制がある</p> <p>区立保育園であり、区の担当課と常に密に連絡を取っている。園は20年前から障害児指定保育園となっていて、子ども発達支援センターや成育医療センター、保健所等の関係機関とも密に連携し、心理士・医師による巡回相談を隔月で行っている。関係機関との連絡会へも担当職員や看護師が出席し、情報収集を行っている。「園運営マニュアル」には、虐待についての項目が記載されているほか、区主催の実務研修に参加した職員の研修報告書をもとに、各種会議で虐待防止の情報共有化を図っている。</p>		

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	11 / 11
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている		<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-6の講評

「園運営マニュアル」を整備し、園の理念・方針及び業務内容を明確にしている

「園運営マニュアル」には、園の理念、方針、保育目標が掲げられ、園運営について職務分担・約束事(園長からパート職員まで)、年間行事計画、保育運営上のマニュアル(クラス毎のデイリープログラム、園外保育、散歩・外遊びについて、食事・排泄等)、苦情・要望への対応、地域との関わり(園庭開放、あそぼう会、地域交流)、実習生・ボランティア受け入れ、防災・防犯訓練、個人情報について、虐待について、緊急時対応マニュアル(区作成)が網羅されている。「園運営マニュアル」は毎年見直しされ、全職員に周知している。

半期毎に全職員参加の反省会で、計画、業務の見直し・点検を図っている

年度始めに作成した、保育計画、指導計画、年間計画を半期ごとに見直し・修正している。クラスごとに担当保育士、看護師、調理職員等が目標達成度について話し合い、次に幼児打ち合わせ、乳児打ち合わせでそれぞれ意見交換を行う。最終的に全体会議(夜会議)で検討し、必要があれば後期計画を修正する。情報共有の場として、毎日の昼打ち合わせ、週1回の定例会議、月次のカリ打ち合わせ(月指導計画)、夜会議(年度末は月2回)、食事会議、月2回の幼児打ち合わせ・乳児打ち合わせ、随時のプロジェクト会議、リーダー会議を実施している。

区の実務研修へ職員が参加するほか、各種会議で内部研修を行っている

区が主催する実務研修へ職員を積極的に参加させている。研修後に作成する研修報告書は職員回覧するとともに、各種会議で報告・発表を行い、内部研修も兼ねている。研修報告書に限らず、各種会議のレジュメ・議事録等も職員担当制としている。クラスだよりをはじめとする各ニュースやお知らせ等も充実している。園は職員の情報共有を大切に考え、会議も多くそれに伴い報告書類も多い。職員調査では賛否両論となっていた。職員負担を軽減する工夫も必要と思われる。

サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	
		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	37 / 37
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている			
		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけができるよう、環境構成を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子ども一人ひとりの発達段階にあった遊びのためのコーナー設定などを行っている</p> <p>クラス全体のほか、子ども一人ひとりの発達段階にあった「遊び」の環境づくりに注力しており、年度の途中でコーナー設定を変更し、あるいは、個人差を考慮した遊具(おもちゃ)選びなどを行っている。たとえば、2歳児クラスでは、4月はまだ1歳用の遊具を用い、状況を見て5月に2歳用の遊具に替えるといった方法がとられている。適切な遊具の選択をするために「おもちゃファイル」と呼ぶ写真による年齢別の遊具カタログ集を作成し、その中からクラス会議などで選んでいる。また、保育士が、子どもの創造性を育む遊具づくりにあっている。</p> <p>幼児クラスに毎月「縦割り保育」を取り入れて、発達への気付きを促している</p> <p>幼児クラス(3・4・5歳児)について月に1～2回、通常のクラス編成を変更して、縦割り保育(異年齢児保育)を取り入れている。この異年齢児保育には、果物名である各クラスの呼称に因んで「フルーツバスケット」と名付けている。課題遊び、自由遊び、散歩、玉入れ等の運動などを年齢を超えて一緒に行う。年長児が年少児の世話をする機会が生じ、子ども自身が発達への自覚を持つようになる。子ども同士が「ちゃん、スプーンが上手に持てるようになったね」など認め合い、年少児が「ほめられて頑張る」といった好循環が生まれている。</p> <p>「噛みつき」、「叩き」を発達段階の特色の一つと捉え、根気よく対応に取り組んでいる</p> <p>乳児クラスでは、どうしても、子ども同士の「噛みつき」や「叩き」が起きる。各職員が、日頃、こうした子どもの発達段階の特色を学び、大きな怪我に至らないように十分注意し、冷静かつ根気よく対応している。園として噛み付きのマニュアルを作成し、噛み付きの状況が発生した時は、噛んだ子、噛まれた子双方の言い分を聞くとともに、言葉で思いを伝えることの大切さや噛まれた時の痛み・悲しみ等を教えている。同時に、保護者への状況説明の大切さや園としての振り返りの必要も記されている。</p>			
2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている			
		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評	
<p>送迎時の対話・連絡帳などを通じて、子どもの家庭と園での生活のベストをめざしている 朝や夕方の登園・降園のときに、担当保育士と保護者とが、子どもの様子について伝え合い、体調その他について正しく把握するように努力している。直接伝えることができなかった事柄については、「朝夕連絡簿」への記載などによって連携している。また、慎重、丁寧を心がけていて重要な連絡事項が、漏れていたときなどには、直ぐに電話して伝えるように努めている。「子どもの良かった点を一言伝える」など、保護者とのコミュニケーションを大切に、それぞれの子どもにとってベストといえる毎日の生活が実現することをめざしている。</p> <p>正しい食事の取り方や歯みがきの方法などを指導計画に掲げ、生活を指導している 家庭と園が連携して、子どもの正しい毎日の生活を指導・支援することを目標に、各クラスのカリキュラム(指導計画)などに、具体的な方法掲げている。たとえば、食事は正しい姿勢で、ご飯・汁物・おかずを順番に食べていく「三角食べ」を指導する。歯の健康については、「寝る前にいつも歯を清潔にしましょう」と保護者に知らせ、4歳児の9月から、歯科衛生士から歯みがきの指導を受ける。また、「おむつはずし」については、園として保護者それぞれの意向を尊重しながら、連携して実施している。</p> <p>「午睡」について、乳児の安全性、年長児の個別の事情の尊重などに留意している 「午睡」の必要性について、画一的にはなく、発達段階や子どもそれぞれの事情に応じた、多様な対応に取り組んでいる。乳児・障がい児については、「午睡チェック表」を用いて、10分おきに呼吸を確認し、また、「上・右・左の向き」をチェックしている。幼児の場合、朝の起床が早い家庭の子どもは、午後になると疲れてきて、午睡が必要となる。一方、5歳児の多くについては、小学校入学後の集団生活を考慮するとともに、保育時間が長いということも配慮し、午睡時間は課題として検討中である。</p>	

3 評価項目3	
日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している	
評点()	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている
○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている
○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している
○非該当	
●あり ○なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている
○非該当	

評価項目3の講評	
<p>発達段階に応じた多様な遊びを用意して、子どもの遊び込みを通じた成長を支援している 園舎や園庭を有効に活用し、子どもたちの「遊び込むこと」を通じた成長への多様なプログラムを用意している。たとえば2歳児では、子どもの希望に応じて自動車セットによるレール遊びのコーナーを作るなどしている。5歳児には、ブロック遊具をたくさん用意し、完成品を飾るための場所を設けている。大きな積み木のコーナーでは、子どもの希望に応じて、作品を親に見せるために、一時、そのまま置いておくといった配慮もしている。また、子どもの規律性を育むルールのある遊び(おにごっこなど)を指導し、やがて自分から加わっていくようにしている。</p> <p>様々なプロジェクト活動を通じて、子どもの主体性を引き出す保育に取り組んでいる 様々なプロジェクト活動を通じて保育内容の向上に取り組んでいるが、そのなかのいくつかのプロジェクトによって、子どもたちが思いきり遊び込み、職員に指導されるだけでなく、自主性や主体性を持って遊びに関わる環境の設定に取り組んでいる。「自由遊び」のときも、すべてを子どもたちに任せてしまわずに、集団から脱落しそうなお子などがいたら担当保育士が積極的に援助するようにしてその子の主体性を育むようにしている。また、毎月の縦割り保育では、年長児が年少児の面倒を見るなど、子どもの主体性を引き出すうえでの効果が発揮されている。</p> <p>積極的に園外保育の機会を設け、自然に親しみ、季節を感じ取る保育に取り組んでいる 付近の河川沿いの公園などを利用して積極的に園外保育に取り組み、自然に親しむようにしている。工作などの造形教育では、そこで拾ったどんぐりや松ぼっくりなどが使われる。散歩のときには、子どもたちが雲の流れや、木々や花、風や気温などの様子を確認し、季節の移り変わりを感じ取れるように語りかけるなどの働きかけをしている。なお、「お散歩届」を確認し、散歩などの園外保育のあり方の検討に役立っている。園庭の草花を子どもたち自身が採取し、保育室に飾っている。また、近くの区民農園の一角を借り野菜を栽培し保育に取り入れている。</p>	

4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもたちが積極的に参加して「行事」を企画し、日々の保育の一部として実施している</p> <p>1年を通し「進級祝い・こどもの日の会食・プール開き・夏祭り・運動会・遠足・焼き芋の会・フルーツパーティー・新年会・節分・ひな祭り・卒園祝い」などの多様な行事を日常の保育活動と捉え実施している。準備や実行には職員と共に、子どもたちが参加する。たとえば、夏祭りの「お神輿」は子どもたちが作りたいものを話し合い、今年度は「海賊船」に決めた。運動会では伝統として、「荒馬」と呼ぶ跳んだり、はねたりする民舞が行われ、そのための準備には、馬のしっぽ編みや布の絞り染め、跳ぶ練習が必要で、年長児が主体性を発揮している。</p> <p>子どもにとって身近な課題をテーマに選び、年間の行事をバランスよく行っている</p> <p>行事では、子どもにとって身近なテーマを選び、年間を通じてバランスよく実行している。運動会等で、発達段階を超えた演目を選ぶことをせず、子どもや職員にとって過大な負担にならないようにしている。畑では子どもたちが育てたいものを決め、野菜や草花を栽培している。サツマイモの苗を植え、草取り、収穫をして、みんなで焼き芋にして食べ、ツルはクリスマスリースに利用している。環境教育の一環として、清掃車に来てもらい、きれいなゴミを放り入れる「ごみバクン」があり、清掃事務所の人から、ごみの分別やりサイクルについて学んでいる。</p> <p>多様な人びととの交流を通じて、子どもたちの人間関係の理解力を育むことに努めている</p> <p>多種行事が地域との交流を促進し、子どもたちの人間関係の理解力を育んでいる。「夏祭り」では園児のお神輿が園内を練り歩く。5歳児は高齢者施設を訪問し、ダンスや歌の披露・手遊びなどで大変喜ばれている。また年4回、近くのグラウンドで「近接保育園4園の交流会」を実施し、対抗リレー、ゲーム、合唱などを行っている。中学生の体験学習やボランティアの受け入れにも熱心で、毎月ボランティアによる年齢別の読み聞かせの会「おはなしのじゅうたん」を開いている。さらに「親子でワイワイあそぼうデイ」に地域の子どもの参加を呼びかけている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目5の講評	
<p>クラスを少人数に分けるなど、日中の時間をゆったりと過ごせるように配慮している</p> <p>クラスを少人数に分けて、過剰なストレスを感じることなくゆったりと過ごせるように工夫したり、日中、適宜、散歩を取り入れ、気分転換の機会を設けたりしている。また、ホールなどを利用して子どもたちがごろごろできる環境作りもするなど、子どもの健康状態や精神面の状況に配慮した支援をしている。毎月2回「フルーツバスケット」と名付けた異年齢児保育を一日に渡って行い、いつもとは異なる子ども同士が刺激し合えるように働きかけ、交流を図っている。また、子どもたちの安心感のために「朝夕保育」には一定の非常勤職員配置を行っている。</p> <p>延長保育の時間を、通常の年齢別保育とは異なる異年齢児保育の機会と位置付けている</p> <p>保育定員93人に対して、延長保育の定員は20人であり、現在は11人の子どもが利用している。延長保育について、とかく例外的な保育時間と捉えがちであるが、園では、1日のなかで子どもに最も疲れが現れる時間帯であり、日中の保育とは異なる位置づけが求められていることを意識して延長保育に取り組んでいる。延長保育は子どもの数の関係から、どうしても異年齢児保育となることから、異年齢児保育としての視点から園の持つ優れたノウハウを活かしている。</p> <p>職員間の申し送りの方法を工夫し、長時間保育に伴う連続性が途切れることを防いでいる</p> <p>通常の日中保育、その後の延長保育という長時間保育を円滑に進めるためには、職員間の申し送りなどの引継ぎが重要となる。さらに、緊急のニーズに応じるためのスポット保育なども増加する状況では、慣れていない延長保育に置かれた子どもとその保護者への十分な配慮も欠かせない。そのために、保育室の臨時的分割、ホールや特別室の活用などのほか、朝夕の勤務時間帯の非常勤職員をできるだけ固定化して対応している。特に、職員間の引継ぎや申し送りの共有・徹底のルールの励行により、子どもたちの園での生活の連続性の確保に努めている。</p>	

6 評価項目6		評点()	
子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当	
●あり ○なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	○非該当	

評価項目6の講評	
<p>食事のときのメニューに工夫を凝らすなど、食事を通じて園の生活を豊かにしている</p> <p>食事を通じて、心身にわたって子どもたちの園での生活が豊かになることをめざしている。フルーツパーティーなど行事会食には、バイキングのように料理を大きなランチ皿に好きなだけ盛るようにしている。そのほか、ひな祭りの菱餅の形のケーキ寿司、七夕の星の入ったソーメン、ウサギにしりりんごなど、子どもたちがワクワクするよう工夫している。また、テラスレストランでは、テラスで食べ食事時間を楽しいものになっている。区の統一メニューという制約のなかで味付けや調理方法、提供の仕方などを工夫し、食事が豊かなものになっている。</p> <p>全職員による「食事会議」で検討するなど、アレルギーなどへの情報の共有を図っている</p> <p>保育士・看護師・調理職員が連携して、食育に取り組んでいる。毎月、看護師を中心に職員全員が参加して「食事会議」を行い、子ども一人ひとりのアレルギーの有無や食事の形態、適切な食事量の把握に努め、情報を共有している。現状、玉子・さば・クルミへのアレルギーがみられ、除去食の対象としている。昼食時には、調理職員が各クラスを回り、子どもの一人ひとりの様子を観察し、担当保育士にアドバイスし、必要な場合には看護師と連携して対応している。さらに、少人数ではあるが、放射能問題から保護者の意向によりお弁当持参の子どもがいる。</p> <p>育てたスイカや野菜をみんなで食べて一緒に楽しむなど、栽培と食育を関連づけている</p> <p>年長児が栽培したスイカを年少児も交えた場で切って、みんなで一緒に食べて楽しいひと時を過ごしたり、育てた野菜を他のクラスにおすそ分けしたりして、栽培・収穫に加え、楽しみを共有するようにしている。育てた野菜は給食にも使われ、収穫の喜びとなっている。サツマイモは植え付け・栽培・草取り・収穫・焼きいも大会・芋つるのリース作りまで楽しんでいる。また、4・5歳児は枝豆やとうもろこしの莢剥きや皮むきをするなど、「食育」は多様である。こうした取り組みの様子を、各クラスだよりや貼り出し日誌、展示食などで保護者に伝えている。</p>	

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目7の講評		
<p>子ども自身が病気や怪我などの危険を予知し、健康の増進に努めることをめざしている</p> <p>子どもが自分自身で傷病や事故に対する危険を察知し、予防する能力を備えるように指導している。散歩のときには、安全な道路の歩き方とともに虫に刺されないよう長袖・長ズボンの着衣や虫スプレー等配慮している。3・4・5歳児には隔月で、歯みがき・手洗いうがい・脳の話などの保健学習を行っている。万一、園で子どもが怪我をしたり、発熱したときなどの対応方法が定められ、「園のしおり」に記載されている。なお、医療措置が必要なときは、原則として、本人のかかりつけ医と連携するようにしている。</p> <p>定期的に身体検査・健康診断・歯科指導を行うなど、子どもの健康管理を支援している</p> <p>すべての子どもを対象に毎月「身体測定」を行うとともに、春と秋の2回「健康診断」、5月には「ぎょう虫検査」、9月に「歯科健診」を行っている。そのほか、3・4・5歳児を対象に、「視力測定」、「眼科・耳鼻科健診」を行い、4・5歳児には「歯みがき指導」もしている。0歳児・障がい児に対しては、毎月「健康診断」を行っている。健康と成長を記録する「健康カード」が作成されており、各保健行事後に状況が記入される。薬は原則として預らないが、やむを得ない事情の場合には、主治医の処方に基づき、与薬を行うこともある。</p> <p>「ほけんだより」などによって、インフルエンザなどの感染症の情報を提供している</p> <p>「ほけんだより」「感染症のお知らせ」「園のしおり」、園内の「お知らせボード」への掲示など多様な方法で、保護者にインフルエンザ、マイコプラズマ肺炎、溶連菌など各種感染症の予防、その他の保健関係の情報を提供している。他の子どもに感染の恐れが高い百日咳、麻疹、おたふくかぜ、風疹、水疱瘡等については、医師の登園許可意見書に基づいて感染の危険が消滅したと認められるまで登園を制限している。また、園児の感染症の状況や受傷について1年間の統計を取り、途中経過も含め、保護者に報告している。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評													
<p>保護者の都合に配慮して、保育時間の決定・スポット保育の受け入れなどを行っている 定員数は93人であるが、延長保育の定員数を20人と設定するなど、保護者の就労支援に大きく寄与している。延長保育は1歳以上を対象とし、19時30分まで受け入れている。入園時の面接のあり、保護者の就労上の都合を聞き取り、個別の事情に配慮して保育時間を決めている。また、別枠によるスポット保育(保護者の急な残業の発生などの事情による日常保育以降の時間帯の保育)の制度を設けており、予約制を原則としているが空きがあれば当日でも受け入れ、支援の必要な保護者から喜ばれている。</p> <p>「父母の会」の会合に園の施設を提供するなど、親密な関係をつくり、連携を深めている 通園児の保護者によって「父母の会」が組織され、保護者としての立場から、園の保育の進め方などを考えるとともに、役員を中心に様々な側面から園をサポートしている。園側も、父母の会の会議のためにホールを提供するなどその運営に協力している。毎年「父母の会」の主催による、人形劇や絵本作家による読み聞かせを提供して貰っている。また、年度の後半の土曜日には「ワイワイあそぼうDAY」を設けて、園児が親子で集まり積み木やけん玉などの伝承遊びに興じ、保護者同士の交流を進め親睦を深める機会となっている。</p> <p>保護者会、個人面談、アンケート調査などによって、保護者の意向の把握に努めている 保護者会、個人面談を通じて保護者の意向の把握に努めている。年2回の保護者会後の懇談会のうち1回については、テーマを「クラスだより」のアンケートの結果に基づいて決めている。個人面談の日時は、保護者の都合に合わせている。「行事」の開催時に、原則として簡単なアンケートを行い、その結果を職員会議で検討のうえ、「園だより」などで保護者にも知らせている。また、毎日「今日の出来事」を掲示し、保護者が子どもを迎えに来た時に見ることができるようにしている。</p>													
9	<p>評価項目9 地域のニーズに即した子育て支援を実施している</p> <p style="text-align: right;">評点()</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価</th> <th style="width: 80%;">標準項目</th> <th style="width: 10%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目												
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	<input type="radio"/> 非該当											
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当											
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当											
評価項目9の講評													
<p>「あそぼう会」・保育所体験・園庭開放など、地域への多様なプログラムを用意している 「地域の子育て支援のセンター」としての保育園の役割に応えるべく「(保育園に行って)あそぼう会」「ふれあい保育(在宅保育親子のための保育所体験)」「園庭開放」「施設見学」など、多様なプログラムを用意している。「あそぼう会」は年5回位木曜日の午前中の1時間余りを使って行われている。パネルシアター、歌あそび、ゲーム、紙芝居、手遊びなど多様な内容がプロジェクトによって企画され、地域へ広報もしている。「園庭開放」は毎週月曜日から金曜日の午前中、インターホーンによって許可を得て園庭で遊ぶことができるものである。</p> <p>地域との協力のもと、プロジェクト活動として「在宅子育て」の支援に取り組んでいる 地域の子育て支援を、これからの園の重要な課題として位置付け、すべての職員が参加して、地域との協力のもとに取り組むこととしている。「あそぼう会」について、プロジェクト活動の一つとして、主査以下4名の職員がメンバーとなって、年間計画のもと、企画・運営にあたっている。PRのためのポスターを児童館や、付近のスーパーや商店・園医などに依頼し掲示して貰い呼びかけている。開催後はその結果についての検討を行い、「プロジェクト記録」に記載して次回に活かしている。在宅子育ての支援には計画的に取り組んでいく意思を持っている。</p> <p>「夏祭り」などへの来園を、地域の子育て支援に結びつけていきたいと考えている 毎年7月、「夏祭り」を開催し、園児の保護者や家族のほか、近隣を中心に地域の人びとにも「夏祭りのお知らせ」を配り、来園を呼びかけている。「夏祭り」は保育の一環だが、同時に地域との絶好の交流の機会でもある。今年度の例では、17時から18時30分まで開催され、子どもたちのお神輿の練り歩きがあったり、ヨーヨー釣り、ワニ叩き、輪投げ、うちわ作り、ミニシアターといった模擬店が設けられた。夏祭りには多くの近隣の人びとの参加があり、園への理解が進む機会となっており、地域の子育て支援に好影響が及ぶ効果が期待されている。</p>													

事業者が特に力を入れている取り組み		
評価項目	6-2-1	サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている
タイトル	新入園児情報を全職員が把握しやすい仕組みづくりに取り組んでいる	
内容	<p>入園前説明会でレジュメを作成し園長、主査、看護師、保育職員が丁寧に説明している。終了後議事録を作成し、出席していない職員への情報提供を行っている。また、説明会・面接で聞き取った保護者の意見・要望は議事録や個人面談記録として、児童票にファイルされているが、園では今年度から、入園前説明会・面接で保護者から聞き取った子どもの情報を、「子どもに関する情報シート」としてコンパクトに分かりやすくまとめる取り組みを始めている。新入園児の情報を全職員がより一層把握しやすいよう改善に努めている。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み		
評価項目	6-4-9	地域のニーズに即した子育て支援を実施している
タイトル	子育て支援としての「あそぼう会」を開くなど、地域に向け多様な取り組みをしている	
内容	<p>保育園の持つ地域の社会的資源としての地域貢献をめざして努力している。小学校、中学校、児童館、学童クラブ、高齢者施設との連携や交流、夏祭りや運動会などの園の行事への参加呼びかけ、ボランティアの来園、など多岐にわたる地域との関係が確立されている。特に地域の子育て支援には力を入れている。園庭開放や、ふれあい保育、施設見学、身体測定、育児相談などのほかに、「あそぼう会」を年5回開催している。プロジェクトを立ち上げ、年間計画に則って、おもちゃ作りや手遊び、紙芝居などを行い、多数の地域の親子の参加があり、喜ばれている。</p>	

特に良いと思う点		
1	タイトル	地域向け行事「あそぼう会」を定期的に行うなど、地域との連携に真摯に取り組んでいる
	内容	地域に向け多様な取り組みをしている。子育て支援として、園庭開放・ふれあい保育・施設見学・身体測定などとともに、年5回「あそぼう会」を開催している。プロジェクトを立ち上げ、広く広報して、おもちゃ作り、パネルシアター、かみしばい、手あそびなどを行っている。小学生の生活科や中学生の職場体験の受け入れ、学童クラブや児童館・高齢者施設との交流など地域への還元にも熱心である。夏祭りや、運動会への参加呼びかけ、月1回のボランティアによる読み聞かせの会などの地域交流にも積極的であり、地域との連携に真摯に取り組んでいる。
2	タイトル	年間指導計画の策定にあたって、子どもの発達段階への十分な配慮が行われている
	内容	各年度の開始に先立って、職員全員で園目標を検討・確認し、運営の基本となる保育過程 総合カリキュラムとして要約している。さらにこの園目標を、整然と年間指導計画、月案・週案・日案に展開し、また、年齢別の発達段階に応じた課題として明示している。こうした計画の立案にあたって、子ども一人ひとりの発達段階や、特に留意しなければならない事情に十分な配慮がされている。また、定例職員会議、夜の職員会議(終業後十分時間をかけて実施)の司会・記録の分担、主要なテーマなどがあらかじめ定められ、効率的な運営が行われている。
3	タイトル	一人ひとりの子どもを最優先に考える園の姿勢を示している
	内容	園の理念は「子どもの最善の利益を考える」「子どもの発達保障」「家庭・地域との連携を図り子育て支援をしていく」であり、一人ひとりの子どもを最優先に考える姿勢が表れている。「なつまつり」での子どもたちの手作りおみこし、異年齢児の集団遊び「フルーツバスケット」、日常保育での子ども達の遊びこみの場であるコーナー作りなど、子ども達の主体性を大事にした保育を行っている。障害のある子もいない子も、それぞれの発達段階に応じて、仲間として育ちあう園の保育方針は評価できる。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	一人ひとりの発達段階を重視した保育のための専門的な研修のいっそうの充実が望まれる
	内容	園では、子ども一人ひとりの発達段階を重視し、子ども自身が、園で一緒にの生活をするなかで、仲間を認め合いながら共に成長していくことを大切にしている。そうした保育の実践には、発達段階ごとのカリキュラムの編成や、幼児を含む養護・教育の両面からの個別の指導が重要といえる。職員はいずれも保育をめぐる研究に熱心で自己研鑽に努めている。しかし、個人としての努力には限界があり、発達心理学その他の専門的な研修の支援が有効と思われる。また、カウンセリング技術など、福祉援助職としての教育のいっそうの充実が望まれる。
2	タイトル	緊急時の計画変更の仕組みづくりの明確化が望まれる
	内容	園運営マニュアルに、指導計画、年間計画、保育計画作成については記されている。また、区作成の危機管理マニュアルが整備され、事件・事故発生時の対応、火災・地震等災害時の対応、感染症、予薬等の対応、保育園における安全管理の点検項目、その他についても詳細に記されている。しかし、緊急に計画変更の必要が生じた場合の手順等はどこにも明記されていない。計画変更時の仕組みの明確化が望まれる。
3	タイトル	園が課題として捉えている一斉午睡について、引き続きの取り組みを期待したい
	内容	園では今年度、起床時間もまちまちな一人ひとりの子どもにとって、決まった時間帯での一斉の午睡が適切であるかどうかの検討を行い、試行期間と位置づけた取り組みを既に始めている。眠れない子どものために、皆とは別の場所を用意する、あるいは眠れなくても横になっているだけで良い等の対応を実験的に行っている。就学前の5歳児にとっての午睡は小学校入学を視野に入れる必要があるかなどの問題もあり、今後も午睡についての検討・取り組みに期待したい。

平成23年度
東京都福祉サービス第三者評価
評価結果報告書

杉並区立阿佐谷東保育園

調査対象	保育園を利用している0歳から5歳までの園児112名の内、家庭数の保護者98名を対象とした。記入者は母52名(84%)、父母一緒に5名(8%)、無回答5名(8%)であった。年齢は20代6%、30代66%、40代19%、無回答9%であった。
調査方法	区担当者及び園長に対して、2回の機関説明会を行った後、機関が用意したアンケート式(アンケート、依頼手紙、切手付き封筒)を、園から保護者に手渡ししてもらい、回答は保護者から直接機関へ郵送してもらい匿名性を担保した。機関で集計・分析して区及び園に報告した。
利用者総数	98
共通評価項目による調査対象者数	98
共通評価項目による調査の有効回答者数	62
利用者総数に対する回答者割合(%)	63.3

利用者調査全体のコメント

総合的な感想では大変満足34%、満足56%、どちらともいえない10%で、利用者の90%が満足しているという結果になった。90%以上が「はい」と評価した設問が、問2、問4、問10の3問で、全15問のうち「はい」と回答した人が50%以下は問12だけであった。自由記述欄に62名中45名が記述しており、「本当にありがとうございます。良い保育園だと思います」「感謝の思いでいっぱいです」「先生方の愛情を感じる暖かい園だと思います」「先生方の対応には本当に満足しています」など感謝の気持ちが多く書かれていた。一方、「トイレトレーニングに関して先生にお願いしても対応してもらえず、不満に思っています」「卒園式が金曜日なのは困っています」「園庭の砂ぼこりがひどく、不衛生な気がする。夏場蚊がひどい」「帰りの時間が18時を過ぎてても、18時半までは担任の先生が一人は残ってほしいと思います(子どもの1日のことを分かっている先生に残ってほしい)」などの要望や苦情の記入があった。また、「過去の調査結果をHPで見ました。評価結果を受けて、園でどのように対応を行ったかまで、しっかりと可視化してほしいです」との意見もあった。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	53	7	1	1
「はい」85%、「どちらともいえない」11%、「いいえ」2%、「非該当」2%であった。設問記述には「よく考えられたメニューで満足です」「試食会で、薄味で色鮮やかなメニューを実際に食べ、おいしかった」「子どもが食べやすいよう非常に工夫されており、とても良いメニューだと思う」「離乳食の進度も様子を見ながら相談しながら進めてくださっています」「アレルギー対応も丁寧でいいと思います」との記述があった。一方「2週間ごとの繰り返しメニューはいかがなものかと思う」「我が子には量が足りずに困っています」などの要望もあった				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	58	4	0	0
「はい」94%、「どちらともいえない」6%であった。設問記述には「天気の良い日はいつも園庭やいろいろな公園で遊んでいるようです」「天気が良ければ毎日出てくださいようです」「隣の公園が使えるので園庭と合わせても十分だと思う。また散歩コースも様々でいいと思う」「よく公園に連れていってくれています」「初夏から蚊にたくさん刺されるくらい外に連れ出してもらっています」「5歳児クラス、4歳児クラスは担任の先生が一人となり、散歩がぐっと減ったのが残念」などの記述があった。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	41	7	2	12
「はい」67%、「どちらともいえない」11%、「いいえ」3%、「非該当」19%であった。設問記述には「本当に柔軟でありがとうございます。延長を利用したい時、利用できるように対応も丁寧です」「昨年からは、延長保育スポットの予約枠もでき、大変助かりました」「対応が職員によって違い嫌な思いをした事もあった」「延長保育の枠が少ないため、急な残業ができない。通常の延長保育枠はすでに満杯のため、スポットしか空いていない」「上記のシチュエーションになったことがないので非該当にしました」などの記述があった。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	56	4	1	1
「はい」90%、「どちらともいえない」6%、「いいえ」2%、「非該当」2%であった。設問記述には「単に「37.5」を超えたら即電話」ではなく、しっかり子どもの様子を見てくださっています」「一度だけですが、熱が上がった時すぐに電話をいただきました。なかなか連絡がつかなかったのですが、会社の代表電話まで探して掛けてくださいました」「連絡を聞けないときがあります(必ず伝えてほしいです)」「クラスの半分近くがカゼをこじらせて肺炎になったりで入院しました。少し不安になりました。」などの記述があった。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	41	17	2	2
「はい」67%、「どちらともいえない」27%、「いいえ」3%、「非該当」3%であった。設問記述には「震災の日も、安全対策が十分で、とても安心しました」「まだ非常時に居合わせたことがないので、わかりませんが十分対策してもらっていると思います」「正門はカギはあるものの、誰でも入ってこられる状態。オートロックやカードを確認する等、セキュリティを強化してほしい」「よくケガをする(ケガをさせられる)」「仕方ないことかもしれないが、子どもの人数に対してお部屋が狭すぎる。」などの記述があった。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	38	19	5	0
「はい」61%、「どちらともいえない」31%、「いいえ」8%、「非該当」0%であった。設問記述には「平日の場合は余裕のある日程になっていると思います」「平日開催になってしまう行事があるのは致し方ないですが、十分事前に周知してくださっています」「年度初めに年間行事予定が配られるので、事前にスケジュール調整しておける」「保育参観が日中なのは理解できますが、保護者会をせめて夕方の時間帯にしていただけると助かります」「できれば土曜等に保護者会を開いてくれると参加率が上がると思う。」などの記述があった。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	47	13	1	1
「はい」76%、「どちらともいえない」21%、「いいえ」2%、「非該当」1%であった。設問記述には「お互いに、気になることや状況などについて率直に話し合える雰囲気があり、またそれを実践していただいていることはとても感謝しています」「日々の小さなことなども気軽に相談できて、とても頼りになります」「先生は「いつでも」とおっしゃってくださいありがたいが、自分に時間が作れない」「お迎えの時に先生がいないことがあります。パートの方はいますが」「先生による。迎えの時間に担任の先生がいないことが多い。」などの記述があった。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	50	12	0	0
「はい」81%、「どちらともいえない」19%であった。設問記述には「形式的ではなく、親身になってくださる点がとてもありがたいと思っています」「先生方が皆気さくで、よく話しかけてくださるので、話しやすいです」「中々話づらい。話にくい。上から目線的対応がある。」などの記述があった。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	47	9	1	5
「はい」76%、「どちらともいえない」15%、「いいえ」2%、「非該当」7%であった。設問記述には「同じクラスの子の父兄の職業を聞いてもないのに、会話の流れで知ってしまった」「特にプライバシーを意識していないので、よくわからない。」などの記述があった。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	57	5	0	0
「はい」92%、「どちらともいえない」8%であった。設問記述には「とても良く見てくださっています。他のクラスの先生にもよく声をかけてもらいます」「クラス担任以外の保育士の方からも、名前で声をかけてもらいます」「子どもが遊んでいる時のエピソードなど、たまに教えていただくことで、先生方の子どもの興味を肌で感じるができます」「子どもからの話でも、先生好き度がよくわかります。」などの記述があった。				

11. 職員の対応は丁寧か	53	9	0	0
「はい」85%、「どちらともいえない」15%であった。設問記述には「いつも笑顔でご挨拶して下さるので子どもにとっても良いと感じています」「朝は挨拶しても返してもらえない場合があります」「基本的には丁寧に接して下さっていると思いますが、担任以外の先生は、人や状況にもよりますが、挨拶はまばらな印象です」「一部の先生は部屋の中にいたり、他の子と接していて挨拶ができなかったりします」「会社員だけでなく、自営業など様々な職業、仕事の仕方がある点への理解を望む」などの記述があった。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	30	25	4	3
「はい」49%、「どちらともいえない」40%、「いいえ」6%、「非該当」5%であった。設問記述には「悩みに関するアドバイスはいただいております」「中々言いにくい面もある」「原発への不安から、水道水は飲ませたくないのが本音ですが、皆一緒なので言うのは控えています」「子どもが人質になっていると思うと、「?」と思うことがあっても胸にしまうしかないと思っています」などの記述があった。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	34	13	1	14
「はい」55%、「どちらともいえない」21%、「いいえ」2%、「非該当」22%であった。設問記述には「幼児の散歩中の交通事故や地震が最近頻発しているので、どのルートを通って各公園に行くのか知りたいと要望を出したところ、早急にお散歩マップを作成し配布してくれました。迅速な対応に感謝」「担任の先生は素晴らしいが、他の先生との連絡などは不十分なこともある」「トイレトレーニング中なのに子どもをトイレに連れて行かず、先生に頼んでも対応してもらえない」などの記述があった。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	34	5	21	2
「はい」55%、「どちらともいえない」8%、「いいえ」34%、「非該当」3%であった。設問記述には「毎月の園だよりに掲載されているので知っている」「どのように相談できるかなど、具体的な方法は知りません」「説明がなく、知りませんでした」などの記述があった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	18	4	0	1
利用前の説明を受けた人は23名で「はい」79%、「どちらともいえない」17%、「いいえ」0%、「非該当」「無回答」4%であった。設問記述には「細かく教えてくださいました」「入園説明会は丁寧で不安や疑問を払拭することができました」「上の子がすでに通っていたので、問題ありませんでした」「説明会の日程が一度のみだったため、都合が合わずあまり聞けませんでした」「説明が足りないことが多く、入ってから、または確認してから知られることが非常に多いです」などの記述があった。				

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1(1-1)	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	9 / 9
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点()	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <input type="radio"/>非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点()	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <input type="radio"/>非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点()	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/>非該当

カテゴリー1の講評

子どもを尊重し、保育をめぐる多面的な課題に取り組む姿勢が明確化されている

「自分を大事に思える子ども、意欲的に遊ぶ子ども、自分で考えて行動できる子ども、感じる心の豊かな子ども、自分の思いを伝え相手の話を聞こうとする子ども」を保育目標としている。こうした方針を保育課程に明記するとともに、保護者会での説明などによって、保護者の理解を得るように努力している。保育方針のなかに「保護者の子育てを支える」「地域の子育てを支援する」を取り上げ、通常の保育のほか、保育園をめぐる新たな課題とされる、子育てをめぐる保護者への支援と、地域の子育ての中核的役割を積極的に果たそうとしている。

園の各種の意思決定をめぐる手続きが明確で、日々の保育が順調に進行している

設置者である区が決定する事項、管理責任者である園長の専決事項、内部規程や園長の指示によって職員それぞれが実行する事項の別が明確になっていて、意思決定上の混乱が生じない。職員会議(月1回)、職員定例打ち合わせ、乳児クラス打ち合わせ、幼児クラス打ち合わせ、食事関係打ち合わせなどの会議が、業務の調整や問題解決のために適切に機能している。また、0歳から5歳までのクラスごとに「クラス打ち合わせ会」が持たれ、夏祭り、運動会などの行事がプロジェクトとして、職員のチームによって、日常の保育との連携のもとに運営されている。

保護者への丁寧な説明や報告に努めて、園と保護者とが一体となって保育を進めている

毎年、保育目標に向かって、各クラス会での討議を踏まえて、年間指導計画を策定し、月・週・日などの計画へと展開される。保護者会の場で、年間指導計画を配布し、内容を丁寧に説明している。年度途中での年間指導計画の変更について、「クラスだより」などで保護者に知らせるとともに、保護者会で丁寧に説明している。また、たとえば「保護者会の時間を何時から開催するとよいか」などを保護者から意見を聞いて決めるなど、保護者との関係づくりに注力している。そのほか、個々の子どもをめぐる課題などについて、誠意をもって説明し納得を得ている。

カテゴリ-2		
2	経営における社会的責任	
サブカテゴリ-1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ-毎の標準項目実施状況 4 / 4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ-毎の標準項目実施状況 7 / 7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ2の講評

区立保育園にふさわしく、コンプライアンスと職員の職業倫理とが遵守されている

区が設置する保育園として、東京都及び特別区の条例その他の内部規程に基づいて、適正で透明な運営が確保されている。園は、児童福祉法35条の規定に基づく区の保育所条例によって設置されている直営園であり、区長や区議会による監督や監視のほか、所定の内部監査が実施されている。区の服務規定が適用され、園長はじめ職員の間、公務員として法令遵守の姿勢が定着している。児童憲章や法令によって社会福祉事業者求められる倫理とコンプライアンスが確立し、児童福祉法に基づき保育士に求められる信用失墜行為の禁止規定が遵守されている。

福祉サービス第三者評価制度を受審し、利用者本位の保育の徹底をめざしている

福祉サービス第三者評価を受審し、利用者調査の結果についてクラス打ち合せや職員会議の場で検討し、「利用者(子どもとその保護者)」本位の保育を徹底することをめざしている。行事や保護者会の場で、コンパクトなアンケートを行い、保護者の生の声を把握し、運営の改善に活かすこととしている。また、保護者会などの場で、日常の保育をめぐる保護者の意見を聞くことに努めている。今後の課題として、保育所保育指針が努力義務としている「園自身の自己評価制度」を活用し、第三者評価などと関連付けて運営の改善に役立てることの効果が期待される。

園の人材や施設を、地域の子育てのための社会資源として積極的に活用している

地元児童館の地域の子育て支援事業に協力し、園の職員が保育相談にあたるとともに、月1回、園内で、保育園に通園していない子どもの身体測定を行っている。同じく同児童館に事務局を置き、近隣の小学校、保健センターなどを拠点とする地域の「子育て支援ネットワーク」に参加し、主として子育て情報の発信に協力し、また、「子育てネットワーク事業」が主催する「園児の児童館訪問」に参加している。そのほか、実習生を受け入れ、区のNPO・ボランティア活動条例に基づいて、ボランティアを受け入れ、オリエンテーションにあっている。

3		カテゴリ-3	
利用者意向や地域・事業環境の把握と活用			
		サブカテゴリ-1(3-1)	
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	8 / 8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当	
カテゴリ-3の講評			
<p>保護者が意見を言いやすい環境をつくるとともに、苦情申出制度について知らせている</p> <p>園の保育をめぐる苦情の解決制度について保護者会などで説明し「日頃気がついたことは、いつでも言ってください」と呼び掛け、意見・要望・苦情が言いやすい環境づくりに努めている。なお、保護者には、区の苦情調整委員制度による面接日などを知らせることとしている。東京都では、各市区町村には福祉サービス事業をめぐる苦情対応機関が設けられ、同区の場合、「保健福祉サービス苦情調整委員」が置かれている。</p> <p>夏祭り・運動会等の行事の後でアンケートを実施し、課題の集約に取り組んでいる</p> <p>園では、夏祭り・運動会などの行事や保護者会の前に、保護者にアンケートを実施し、感想や要望を求めることとしている。アンケート調査は大掛かりではなく、コンパクトな自由記述方式によって行われ、行事直後の実施だけに、生の声を気軽に聞くことができる。たとえば「幼児クラスのテラスの照明をもっと明るくした方がよい」といった、現実的な問題がテーマとなることが多い。アンケート調査の結果について集約し、利用者満足(「CS」)について真摯に取り組んでいる。</p> <p>「子育てネットワーク事業」に参加し、園の将来を考えるための情報を収集している</p> <p>地域の子育て支援のためのネットワークに参加して、保育や子育て支援に関する情報を収集している。ちなみに、園が参加している「子育てネットワーク事業」は、地域の子育てをめぐる「親子その他の交流・情報の提供や交換・子ども自身の参加・区民の要望への対応・個別ケースの解決についての連携・関係行政機関の連携」を目指している。会合からは、子供園構想や、区の保育・子育てをめぐる施策に関する情報が得られ、その内容を職員に伝えて、園の将来を考える材料としている。</p>			

4		カテゴリ-4	
4		計画の策定と着実な実行	
		サブカテゴリ-1(4-1)	
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	11 / 11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4 / 4
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>基本計画から年度計画、部門計画へと、各種計画が整合性をもって策定、展開されている</p> <p>区が「保健福祉計画」を策定し、園の保育の計画もこのなかに包含される。同区によって経費予算を伴う年度計画が策定され、同計画に基づき、園の保育課程の保育目標と年間指導計画が作成され、月・週・日の指導計画が展開される。また、園の「チャレンジプラン」が作成され、今年度は「心がほんわか、手と手つないで笑顔がいっぱいの保育園」がスローガンとなっている。なお、年間指導計画の作成に際して、区全体としての中長期見通しとの関連のもと、園独自に周辺地区の保育環境をめぐる中長期的展望をまとめておくことが有効であろう。</p> <p>年間指導計画その他の計画作成の手順がルール化され、効率的に作成作業が進んでいる</p> <p>区立保育園として、区の担当課を中心に、基本計画・年度計画の作成作業が行われ、その際、園長会を通じて園の要望を担当課に伝える。保育課程の保育方針・保育目標と、年間指導計画の作成作業には、すべての職員が参加し(役割分担表が作成されている)、職員会議で討議される。24年度から、新たに「産休明け保育」を開始することが決まっており、その準備をめぐる全職員で検討にあたり、意識の共有化に努めている。また、年間指導計画や各種計画の進捗と結果について、職員会議で、通年と中間の時点で振り返りを行うこととしている。</p> <p>区担当課と連携のうえ、マニュアルを整備し、子どもの安全の確保に万全を期している</p> <p>区保育課の危機管理マニュアルによるほか、園として、環境衛生マニュアルその他の安全管理に関するマニュアルを整備して、子どもの安全確保をめぐる、あらゆる場面を想定した対策を講じている。具体的には、防犯、散歩などのマニュアルなどを作成し、事故の防止と、不孝にして事故に遭遇したときの対応についてまとめている。また、園児一人ひとりの健康チェックをはじめ、ノロウイルス対応、プールの衛生管理などに力を入れている。安全管理をめぐる、些細なケースでも、職員全体で情報を共有し、事故や類似ケースの再発防止に取り組んでいる。</p>		

5		カテゴリ-5	
5 職員と組織の能力向上			
サブカテゴリ-1(5-1)			
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	8 / 8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点()	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当	
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当	
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点()	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当	
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	○非該当	
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	○非該当	
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当	
サブカテゴリ-2(5-2)			
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7 / 7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点()	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当	
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当	

評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ5の講評		
<p>常勤職員のすべてが保育士または看護師であり、専門性の高い人材構成が実現している 常勤職員20名のうち、保育士資格者が19名(他に派遣職員である保育士1名)、看護師資格者が1名と、専門性の高い人材構成が実現している。前年度の常勤職員の退職者はなく定着率が高い。平均年齢40歳(在職年数4.5年)といずれも十分な経験を持ち、子ども一人ひとりを知る職員が多く配置されている。園は調理業務を委託(調理作業は園内で行う)しているために調理職員は配置されておらず、嘱託栄養士が食育指導にあっている。このほか、非常勤職員として、パートタイマーなどの保育補助者20名が配置され、効率よく業務が進んでいる。</p> <p>チャレンジプランに基づいて、職員一人ひとりの能力向上への取り組みが行われている 職員から「チャレンジプラン」の提出を求め、全体の研修計画とともに、個人個人に配慮した能力向上の計画を作成している。園長が個人面接を行い、OJTへの心構え・集合研修・自己啓発などについて助言している。職員の自立したキャリア形成への取り組みについても、面接の場で助言を行っているが、今後の支援がいっそう充実することが期待される。園には、常勤職員のほか、多くのパートタイマーまたはアルバイトの非常勤職員(保育補助者)や、業務委託先の従業員と一緒に働いており、多様な就業者のマネジメントや能力開発が重要な課題となる。</p> <p>区立保育園としての適正な処遇システムのもと、高いモチベーションが維持されている 区立保育園として人事システムが整備され、処遇・労働条件・健康管理・福利厚生制度などが整っている。しかし、保育の現場は、直接、子どもや保護者と向き合うため、ストレスの緩和などメンタル面の配慮が重要であり、引き続き、園長・主査・リーダー層職員などが十分な指導的機能を果たすことが期待される。通常の業務が多忙なために、職員同士で仕事上の悩みことや、保育力の向上について学び合うための「時間」を得ることが難しい。こうした環境を克服するための、区・園・職員個人それぞれのいっそうの取り組みが期待される。</p>		

7			カテゴリ-7	
情報の保護・共有				
サブカテゴリ-1(7-1)				
情報の保護・共有に取り組んでいる			サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況	7 / 7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる			評点()	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している			評点()	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている			<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-7の講評				
<p>紙による情報とパソコンへの入力による情報の双方が整理され、厳正に管理されている</p> <p>区の文書管理規程その他に基づき、紙による情報とパソコンへの入力による情報の双方が、整然と整理され管理されている。文書情報の種類や重要度の別に、保存年限などが定められ、施錠が施された所定の場所に保管され、これらの情報についての閲覧やアクセスの基準が決められている。また、たとえば保護者が作る卒園文集等に、子ども画像を掲載するときには、保育課あて「画像データ提供申請書」を提出する。すべての職員に情報の保管・管理方法が周知され、「児童票」を持ち出すときには事務室の許可を得るなど、ルールが定められている。</p> <p>区の個人情報保護条例・国のガイドラインに従い、厳正に個人情報を取り扱っている</p> <p>区の個人情報保護条例、情報公開条例、文書管理規程に基づき、個人情報を厳正に取り扱っている。また、情報の取り扱いをめぐるは、国の「福祉関係事業者における個人情報の適正な取り扱いのためのガイドライン(厚生労働省)」に従い、個人情報取扱事業者に準じて、厳正な管理を実施している。すべての職員に個人情報の取扱方法をめぐる意識の徹底をはかり、同時に、保護者にも同様の理解を求めている。たとえば夏祭りや運動会で撮影した子どもの画像を、家庭内でのみ用いるように協力を求めている。</p>				

カテゴリ-8	
8	カテゴリ-1～7に関する活動成果
サブカテゴリ-1(8-1)	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
<p>年間指導計画・月間・週案・日案などの綿密な策定を通じて、保育レベルが向上した</p> <p>保育目標を実現するために、今年度も、保育課程に掲げる理念・方針から具体的な目標までを全職員で話し合い、年間指導計画とこれをブレークダウンした月間・週案・日案などの各指導計画を綿密に策定している。これらの計画は、クラスごとの話し合いによって、各年齢の発達段階に適合し、とくに乳児については、個別の事情に合うように作成されている。こうした地道な作業の積み重ねによって、担当職員の別を問わず十分な保育が行われており、確実に園としての保育のレベルが向上していることを、保育日誌その他から読み取ることができる。</p>	
サブカテゴリ-2(8-2)	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
<p>リーダーと保育に関する悩みごとを相談する機会が増え、保育の向上に寄与している</p> <p>今まで時間的な余裕がないなどの事情によって、保育をめぐる互いの悩みごとを相談し合ったり、気がついたことを互いに話し合うことが、なかなか思うように実現しなかった。今年度は向上リーダーの活用その他により、段階的に改善されていることが会議録などから分かる。日常の保育のなかに主査が入り、クラスの中で感じている保育の課題や悩みを聞くようにして、対話の機会が生じたことの効果が大きいようだ。</p>	
サブカテゴリ-3(8-3)	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
<p>施設の構造の改善や工夫、面談時間の配慮などによって、保護者の利便性が向上した</p> <p>登降園用出入り口の構造の改善や、廊下部分の園児の持物置き場の利用方法の工夫などによって、園児個人の持ち物の出し入れがしやすくなり、混乱が減少したことが、現場の状況などからうかがわれる。また、保護者会や個人面談の時間を保護者の都合に合わせてることによって、保護者の出席のための負担が軽減され、喜ばれていることが関係記録などから分かる。</p>	

サブカテゴリ-4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

区の保育課を中心に区立保育園が運営の効率化に努め、園も経費の節減に努力している

保育課を中心に、44の区立保育園について、一部、給食調理業務の外部委託などによる効率化、保育料収納率の改善(対前年度比0.26%改善して96.7%へ)などが実現している。園もこうした保育園運営の効率化への区全体の注力のなかで、園として消耗品予算を子どもにとって良いように、計画的に使うようこころがけ、区全体の目的を実現している。

サブカテゴリ-5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している
・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

園の日々の保育の状況を保護者に知ってもらうために、身近な努力を行っている

園の日々の保育の状況を保護者に伝え、理解してもらうように、地道な努力を行っている。園では、保護者が読みやすい「保育日誌」の書き方を工夫し、また、降園時に、「保育日誌」を掲示したり、照明の照度をあげるなど、保護者が「保育日誌」を読む環境の改善を進めた。また、「クラスだより」などに、子どもの保育の情景を画像入りで掲載するなど、親しみやすい構成に努めている。こうした状況が、広報媒体などから確認できる。

サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

共通評価項目											
サブカテゴリ-1											
1	<p>サービス情報の提供</p> <p style="text-align: right;">サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4 / 4</p> <p>評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している</p> <p style="text-align: right;">評点()</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
評価	標準項目										
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している										
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている										
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している										
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している										
サブカテゴリ-1の講評											
<p>健康と散歩に内容を絞り込んだ「入園のしおり」を作成している</p> <p>区が作成している「保育園のしおり」の他に、各保育園が独自の「入園のしおり」を作成している。阿佐谷東保育園では、園概要のパンフレットと共に、特に健康面と散歩に関する情報をしおりに盛り込んでいる。「健康的な生活を送るために」「お散歩マップ」「保育園の見取図」がイラストの入った分かりやすい文章と図で表現されており、理解しやすくなっている。来期は、パンフレットをカラー刷りにして、写真なども入れ改善したいと考えている。</p> <p>区のホームページに情報を提供し、児童館にも「園だより」を提供している</p> <p>園の概要や保育目標、年間行事、園の見取り図など写真入りで区のホームページに掲載している。これは見やすいもので、掲載されている各保育園について一括して情報が得られるようになっている。また、関係機関への情報提供として、児童館と小学校へ「園だより」を提供している。園の入口に設置されている掲示板には地域身体測定案内を掲示している。地域の身体測定には毎月決まった人が来てくれたり、子育て相談をうけたり、子育ての情報交換の場になっている。</p> <p>問い合わせや見学の要望は電話で受け付けて柔軟に対応している</p> <p>園についての問い合わせや見学の要望があった場合には、基本的にいつでも受け入れ、対応している。電話で受け付け、一人20~30分かけて園内を案内し、説明している。見学者が多く、多い月は25名位の利用希望者が来園している。また、ふれあい保育もいつでも受け入れている。</p>											
サブカテゴリ-2											
2	<p>サービスの開始・終了時の対応</p> <p style="text-align: right;">サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6 / 6</p> <p>評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている</p> <p style="text-align: right;">評点()</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		
評価	標準項目										
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している										
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている										
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している										

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評		
<p>面接で細かい点を確認して、個別にサービス内容を説明し同意を得ている</p> <p>新入園児説明会や個人面接を開催し、サービスの開始時にはきちんとした説明を行っている。3月の入園内定後に個人別の面接を行い、提出された児童票や家庭連絡票、入園までの生活状況などを基に、保育時間の確認、慣れ保育の有無、連絡先の確認など、細かく子どもと保護者の状況を理解して、その内容に応じて説明を行っている。保護者の現状に合わせてお迎えの人の名札の廃止などを取り入れたこともあった。</p> <p>子どもの入園前の状況の把握に努め、園の利用開始時には不安を取り除いている</p> <p>園の利用開始に当たっては、慣れ保育を行っている。慣れ保育は、保護者と話し合い、子どもの様子を伝えながら、個別に保育時間の調整をしており、子ども達の不安やストレスを軽減するように配慮している。児童票や家庭連絡票、新入園児健康調査票などにより、入園前の状況を適切に把握するようにしている。個々の園児の好みのもの、好きな遊びなどを把握することによって保育士は早い時期に園児との愛着関係を築くことが可能となっている。</p> <p>進級やサービスの終了に当たっても支援が継続できるような取り組みをしている</p> <p>2階の乳児クラスから1階の幼児クラスに進級する時も、様々な変化について説明し保護者の不安を軽減するようにしている。連絡帳の使い方の変化、1日の過ごし方の変化、担任の変化、登園時の流れなど変化することを中心に説明して、理解し安心してもらっている。卒園児が入学する小学校へは、学校と顔をつながたいとの思いもあり、園長が主査が保育要録を持参して保育の継続性が維持できるように配慮している。</p>		
サブカテゴリ-3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12 / 12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している
 評点()

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3
 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している
 評点()

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4
 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している
 評点()

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3の講評

指導計画は子ども一人ひとりの様子や保護者の要望に合わせて作り、見直しも行っている
 子どもの心身の状況や生活の状況を保育日誌や連絡帳に記録をしたり、保護者に連絡帳に記入してもらったり、保護者からの手紙や個人面談などにより子どもの課題や保護者の意向の把握に努め、年間指導計画、月間指導計画、週間指導計画などに反映するようにしている。指導計画の保護者への説明は、5月の保護者会で配布し説明している。子どもの課題についての定期的な見直しは、毎月のカリキュラム打合せで行い、園全体の課題として保育前期反省会と年間反省会で行っている。

一人ひとりの子どもの発達状況を丁寧に記録し、指導計画に役立てている
 発達経過記録は月齢、年齢別にシートが作られ、保育課程に沿って細かいチェックをしながら記録している。節目毎や期毎に記入することにより発達の推移状況が分かるものである。また、個人面談を行う際には、クラスごとにアンケート用紙が作成されており、事前に保護者に記入してもらい、一人ひとりの子どもの発達が把握しやすくしている。このアンケートを基に話し合いをして、子どもの発達状況を的確に把握して記録している。指導計画は日々クラスでの振り返りを行い、週毎、月、前期、年間と見直しを行っている。

会議を計画的に実施しており、子どもに関する情報共有のしくみが機能している
 杉並で最大の区立保育園であり、正職員・パートタイマーなど51名のスタッフが情報を共有することは大変困難なことであるが、種々の会議を効率的に実施することにより、子どもの状況を職員間で共有している。会議の持ち方については、日時が設定され、進行担当、主な内容、注意事項が周知され、事前の準備をして会議に臨んでいる。日々子ども一人ひとりの状況や変化は、毎日2時からのミーティングとミーティングノートで情報の共有化が図られている。「クラス担任以外の保育士の方からも、名前で声をかけてもらいます」という利用者の声がある。

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点()		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点()		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p>子どものプライバシーを守るために最大の注意を払っている</p> <p>子どものプライバシーの尊重については、個人情報保護規定に則ってきちんと配慮している。保護者には「保育園における個人情報について」という、お知らせを配布している。画像データの提供に関しては区で決められている「画像データ提供申請書」を提出してもらい、画像を使用することの同意ももらっている。また、ボランティアに対してもボランティア受け入れ手引書に拠って徹底しているなど、プライバシーを守ることには注意深く対応している。</p> <p>子どもの気持ちやプライバシーを大切にすることを心がけている</p> <p>子どもの気持ちを大切にすることを心がけている。各クラスにあるオムツコーナーは、外からは見えない場所に設置している。夏に利用するプールは、園外から見えないようにすだれを置き、通路にはカーテンをかけることにより、プライバシーの保護に配慮している。利用者アンケートでは、プライバシーが守られていないと感じている人は1人であった。</p> <p>保護者や子ども達の価値観や生活習慣の違いを大切にし、きめ細かく対応している</p> <p>保護者と子どもたちの価値観や生活習慣を大切にして、できる限り保護者の意向を受け入れている。離乳食の進め方は、子どもの様子を見ながら保護者の話を聞き、保護者と保育士と一緒に進めている。今回の原発による放射能に関しては、保護者の考えを尊重してお弁当やマイボトルを持参できるようにした。虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときは、職員全員が同じ対応ができるように、事実や決定事項をその都度報告している。対応については、子ども家庭支援センター、保健センター等と連携し協力している。</p>		

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	11 / 11
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している		評点()	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当	

サブカテゴリー6の講評

「園運営マニュアル」を整備しており、クラスに配布している

複数冊に分かれた阿佐谷東保育園運営マニュアルを作成しており、の中には、区から配布されたマニュアル(規準書・手順書など)もあるが、園独自で作成されたマニュアルも含まれている。「園運営マニュアル」には、園の理念、方針、保育目標が掲げられ、「係と仕事内容」として職務・役割を明示し、年間行事計画、保育運営上のマニュアル、苦情・要望への対応、実習生・ボランティア受け入れ、防災・防犯訓練、地域との関わり、その他詳しく作成されている。クラスに配布され、毎年度末に見直しを行い、現状に合わせて改訂を行っている。

サービスの向上をめざし、保護者や職員からの意見や提案を見直しに反映している

保護者のニーズを把握してサービスの向上に役立てるために、行事後にアンケートを取ったり、面談の前にアンケートを取っている。これらは保護者会や行事のプロジェクト会議などで参考にして見直しに反映させている。また、職員が工夫・改善したサービス事例は、プロジェクトを立ち上げて実行することにより、良い保育を目指している。

会議や研修、保育士間の意見交換や情報交換、OJTなどで水準を確保している

種々の会議や研修会に参加し、その報告を行うことにより情報を共有して、保育士間の相互啓発を図っている。日々の保育の中では、お互いに気づいたことを話し合い、特に遊び方に危険を感じた場合は、その都度確認している。また、クラス打合せでは先輩や経験者が指導やアドバイスを行っている。毎日の保育に追われて時間がない中でも、保育の話をしようと努力している。職員アンケートには「子どもに何が良いかを考え、日々改善している」という記述があった。

サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
		37 / 37
サブカテゴリー4		
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている		
		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評		
<p>遊びや環境設定の工夫により、子ども達が主体的に行動できるようになった</p> <p>部屋を大きく使ったり仕切って好きな場所で工夫して遊べるようにしたり、遊びのコーナーを設けて子どもたちが興味を持てるような玩具を置いたり、環境設定を色々工夫して子ども達が進んで行動できるようにしている。園内では積み木コーナーやごっこ遊びのできる場所を作ったり、園庭ではゴザや木株、タイヤなど子ども達が面白そうだと思うような遊具を用意して、遊びたくなるような工夫、誘導をしている。こうした積み重ねの結果子ども達は主体的に行動できるようになってきて、特に園庭で遊ぶ時は自由な発想でのびのびと遊べるようになった。</p> <p>互いの年齢や文化・習慣・特性の違いなども自然に認め合えるように支援している</p> <p>幼児クラスではたてわり保育「なかよしデー」を毎月1回実施している。たてわりで固定された3グループに分かれ、散歩に行ったり、リズム遊び、ゲームなどをして過ごしたり、昼食も一緒に食べ、さまざまな場面で異年齢のこどもたちが交流を深めている。また、園庭では日々異年齢の子どもたちが触れ合い、認め合って遊べるように配慮している。さらに、他の国の出身である親を持つ子どもや特性のある子どもも在園しているが、小さな違いでも大切し、園児達に互いの文化・習慣・特性などを認め合えるような心が育つような支援をしている。</p> <p>配慮の必要な子どもには一緒に過ごす時間を増やし、一歩ずつ成長できるようにしている</p> <p>特別に配慮の必要な子どもに対しては保育士と一緒に過ごす時間を多く取り、ゆっくりと成長を手助けするようにしている。大人がそばについて見守りながらその子どもが成長していけるように支援している。例えば自分でくつの脱ぎ履きができるようにするために、成長に合わせた補助をしながら一人でできるようになるまで時間をかけて支援し、「自分でくつを履く」という目標を自ら達成できるようにしている。他の園児達と同じクラスで過ごしながらか成長に合わせた丁寧な支援を受けることにより配慮の必要な子どもが一歩ずつ成長できるようにしている。</p>		
2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている		
		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評	
<p>基本的な生活習慣については子どもの意思と家庭との連携を大切に支援している 食事、排泄などの基本的な生活習慣については発達状況に合わせて行っている。きちんとお箸で食事ができるようになるために各クラスで段階を踏んで練習するように支援し、無理なく身につくようにしている。排泄については、トイレトレーニングは子どもの様子を見ながらトイレ誘導するようにして、機が熟したと判断できたら本人の意思を尊重しつつ行っている。生活習慣の取得には家庭での時間、園での時間の連続性が必要であると考え、家庭との連携を取りながら行うことを大切に支援している。</p> <p>家庭での状況を考慮しながら、子ども一人ひとりに合わせた休息をとるようにしている 園での休息はそれぞれの子どもの状況をよく理解して行うようにしている。0歳児、および必要と判断される1歳児は午前睡もしている。1歳児については3月生まれの子も、朝早く登園してくる子どもなど状況を見ながら、特に年度初めは少しでも休息時間を確保するようにしている。また、寝不足や体調の悪い子どもについても細かく目配りしてその都度、個々に対応している。さらに、就学前の5歳児の午睡と、眠れない子どもへの別室での休息の確保など、その対応を課題として捉えており検討を重ねている。</p> <p>毎日の園での様子を保護者に伝えたいと、その日の写真を掲示するなどの工夫している 毎日子どもたちが保育園でどのように過ごしたかを保護者に知らせたいと考え、努力している。幼児クラス日誌にはその日の保育の内容をなるべく伝えたいと、読みやすいようにカラー色を使ったり、保育者の思いを書いたり工夫を重ねている。また、その日の保育の様子を撮った写真をクラスの入り口に貼ったり、残ってお便りを作るなど子ども達への思いを保護者と共有できるように努めている。さらに、夕保育当番の保育士は引き継がれた内容をできる限り保護者に伝えるようにしている。</p>	

3 評価項目3		評点()
日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当

評価項目3の講評	
<p>成長に合わせた工夫により子ども達が自主性、自発性を持って遊べるようにしている 子どもの成長に合わせて環境設定を工夫し子ども達が自主性、自発性を持って遊べるようにしている。子どもの遊びが豊かに広がるような良質な玩具を選ぶことを心がけて、玩具のコーナーづくりなどによって子ども達の興味が深まるような工夫をしている。室内のしつらはカリキュラムの期毎に模様替えをして子ども達の新たな関心を引き出すようにしている。現在年齢毎の積み木を増やしている。子どもが遊んでいる途中で時間切れとなってしまっても、それぞれの子どもの布をかぶせてその遊びの「遊び途中」を知らせ、続きをやるような支援もしている。</p> <p>集団生活の中で一人ひとりの子どもが主体的になれるよう個別のはたらきかけをしている 日常の保育では一人ひとりの子どもをよく見るとか、個別に声かけをするように配慮するなどを心がけている。運動会でのバルーンや竹馬などの種目では、少しハードルが高くても自分もできるようになりたい、という気持ちを引き出すような声かけをして子どもが主体的に行動できるように導いている。地域のお祭りにはお神輿の展示をしている。年齢が小さい時期から参加したいという気持ちを育て、年長になると家族や地域の人々に見てもらえることを楽しみにする心やみんなで作っていく楽しさを実感して積極性を養えるように支援している。</p> <p>季節感や自然への関心が高まるような活動に取り組んでいる 公園と隣接していることもあり子ども達の季節や自然への関心は高く身近なものとなっている。例年であれば園庭や公園、散歩中に落ち葉やどんぐりを拾ったりして絵や造形に利用している。園庭や散歩途中で見つけた花を話題に取り入れたたり、夏野菜を育てて関心を高めるような取り組みもしている。また、近所の畑での「おいも堀り」をして「やきいも大会」をしたり、「すいかわり」をするなど自然を楽しみながら季節を感じられるような工夫もしている。</p>	

4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>協力し合って取り組む行事を行い、子ども達が達成感を得られるようにしている</p> <p>運動会の年長児の竹馬・縄跳び、4歳児のバルーンなどは子どもたちの楽しみとなっている。練習も全員ができるようにしたいという目標のもと、働きかけをすることにより、また、友だちに刺激を受けて一人ひとりが自分の力量に合わせて積極的に取り組んでいく。全員ができるようになった時には個人としても集団としても達成感が得られる。こうしたことが小さい子ども達にとっては憧れとなり、自分の時には進んでやりたいという気持を持つようになっている。夏まつりのお神輿でも、近所の練り歩きやお祭りでの展示を見ることで同様の気持が育っていく。</p> <p>「おたのしみ会」「やさいも大会」など子ども達が進んで取り組める行事を行っている</p> <p>行事を組み立てる際には、子どもたちが興味を持ち、やってみたいと思える視点を大切にしている。契約した献での年長児の「おいも掘り」と園児による「やさいも大会」「お店やさんごっこ」、そして「おたのしみ会」などが人気である。「おたのしみ会」は、たてわりのグループが、園長によるクイズや主査による物まねなどの6つの関門をクリアする毎にパズルのピースを貰い、集めたパズルによってそのパズルを完成するゲームである。そして、ゲームを楽しんだ後はホールでみんなで会食するという趣向を凝らしたものである。</p> <p>園児たちと地域の人達の間で双方向でのさまざまな交流が行われ、地域との連携は深い</p> <p>地域との関わりは多い。園の「なつまつり」や「運動会」では児童館などでのポスターの掲示やポスティング、一年生へのハガキなどによって地域の人々や卒園児に呼びかけをしている。卒園生や園児の友人、多数の地域の人々の参加がある。地元のおまつりではお神輿を作成し、近所を練り歩いたり、展示している。区の「きゅうりもぎ」に参加してきゅうりの絵を描いたり、近くの小学校の生徒が育てた朝顔の苗をもらい育てている。さらに、地域のボランティアが来園してのお話し会「おはなしのローソク」もある。地域とは双方向で交流し、連携している。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目5の講評	
<p>集団としても個人としても一人ひとりを大切に、くつろげる環境の配慮をしている 大規模園であっても子ども達が落ち着いて過ごせるように園は力を入れている。一人ひとりの子どもに対し個人としても集団としてもくつろいで過ごせるように様子を観察して環境の配慮をしている。特に延長保育時には子ども達の疲労が懸念されるため工夫が必要となるが、年度初め頃の0歳児クラスには夕寝をする子どももいる。19時までは幼児と乳児は別々に過ごし、補食後は残っている子ども達が一緒に過ごしている。どのような場面でも個人として、集団としての子どもに落ち着いて過ごせる環境の提供に努めている。</p> <p>異年齢の子どもが親しくなれるような日常の支援やたてわりでの交流の機会を持っている 異年齢の子ども達が互いに楽しく過ごし、年齢を超えて親しくなるようにすることは日常の保育の中で保育士が仲介者となって実践している。異年齢児を意識した会話や遊びの場での交流の支援、延長保育時など自然に思いやる心と敬う心が育つようにしている。そのほかに毎月1回たてわり保育「なかよしデー」を開催している。3・4・5歳児が固定された3グループに分かれ散歩や遊び、ゲームなどをして一日過ごし、食事と一緒に摂っている。冬の行事「おたのしみ会」でもたてわりのグループでゲームの関門にチャレンジしたり、会食して交流を深めている。</p> <p>送迎時に保護者に会えない場合でも、伝えたいことを伝えられるように努力している 子ども達のその日の保育園での様子を保護者にきちんと伝えることを大切に考え、さまざまな方法で取り組んでいる。個人の連絡帳や日誌の利用は勿論であるが、日中の保育の様子を写真に撮ってクラスの出入り口に貼り出してその日の様子を伝えるようにしており、保護者からも喜ばれている。また、大切なことは必ず口頭で伝えるようにしているが、もし送迎時に保護者に会えない時には、乳児クラスは連絡帳で、幼児クラスは手紙を書いて渡すようにして、必ずきちんと直接伝えるようにすることに努力している。</p>	

6 評価項目6		評点()	
子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当	
●あり ○なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	○非該当	

評価項目6の講評	
<p>子ども達が落ち着いて食事ができるように、乳児クラスを担当制にするなど工夫している 子ども達がゆっくり落ち着いて食事をとれるように年齢に合わせて工夫している。乳児クラスでは小人数に分かれて、担当制を採って少しずつ時間をずらして食べ始めるようにしている。幼児はお当番の子どもが準備を担い参加型で食事を楽しめるようにしている。また、幼児クラスは毎月一度たてわりクラスで食事をとるようにして年齢を超えて共に食べることでいつもと違う楽しさを味わえるようにしている。</p> <p>アレルギーのある子どもなどには個人に合わせて丁寧に対応している 今年度、牛乳、卵、ゴマなどによるアレルギーを持つ子どもは5,6人であるが、放射能のことを心配している保護者もいる。アレルギーのある子どもには除去食を提供しており、間違いが起きないように名前入りのトレーに1人ずつ載せ、配膳時には調理担当と確認しながら行い徹底に努めている。また、放射能を心配する保護者に対しては話し合い、要望を入れてお弁当を持参してもらっている。水道水を避け、マイボトル希望者も同様である。このように一人ひとりに対してその子どもに合わせた食事を提供したり、要望を取り入れて丁寧に対応している。</p> <p>育てた野菜を食べたり、栄養士のお話を聞いたり、食育活動に熱心に取り組んでいる 食育には熱心である。子ども達は園庭でオクラ・ミニトマト・ズッキーニ・ゴーヤ・じゃがいもなどの野菜やキウイ・イチゴなどを栽培し、調理してもらい食べている。育てたい野菜を相談し種を買いに行ったり、野菜に名前をつけて楽しんでいる。幼児クラスは食べ物や食事についての話を栄養士から聞いている。また、とうもろこしの皮むきや枝豆の莢むきなどの調理体験や、クッキーづくりもしている。5歳児の掘ったおいもは「やきいも大会」でみんなで食べている。年に1回保護者の給食試食会も開催し、月1回「食育だより」も出している。</p>	

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目7の講評		
<p>看護師がいる利点を活かし、「健康の話」を行うなど健康教育に力を入れている</p> <p>看護師がいるので病気や怪我など健康に関することについては優位である。その利点を活かし、4,5歳時に「健康の話」を行うなどしている。テーマは歯みがきや、目の守り方、危険について、脳の話などであり、日誌や写真で保護者にも伝えている。また、職員も保護者も健康や衛生について色々相談している。病気や怪我の際には保護者に対し、きめ細かい対応が可能になっている。その他、日常的に年齢に応じて身のまわりの危険について伝えている。お散歩の時には安全を意識して歩いたり、遊びの場での行動や日常生活の衛生について話している。</p> <p>医療的なケアが必要な子どもがいる場合には、専門機関と連携した支援をしている</p> <p>怪我などの突発的な事態がおきた時は個人別に対応している。基本的にはそれぞれのかかりつけ医に連れていくこととしている。怪我の場合その後のフォローもするようにしており、後日も連れて行っている。園医の連絡先も「保育園のしおり」に載せており、0歳児巡回診療も行っている。今年度日常的に医療的なケアが必要な子どもはいないがそういう子どもが在園していた場合でも個人別にきちんと対応することは同様である。</p> <p>保護者に対して感染症の発生時や予防などについて丁寧に知らせている</p> <p>感染症などを含め健康について家庭に知らせることは丁寧に行っている。もし、感染症が発生した場合には保護者に、発生状況や症状、予防などについて貼り紙や看護師発行の「保健だより」などによって知らせている。乳幼児突然死症候群については午睡チェックを10分ごとに行って記録し、注意深く対応している。健康的な保育園生活を送るためには毎日の子どもの健康チェックと病気のサインを見逃さないことを呼びかけ、発熱・下痢・発疹・イライラなどの症状をサインと捉え注意するように伝えるなどさまざまに対応している。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点()
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評	
<p>保護者同士が交流できるように「おしゃべりタイム」を開催するなどして支援している</p> <p>保護者同士が交流できるように前向きに取り組んでいる。年2回保護者同士の交流会「おしゃべりタイム」を開催し、お知らせも作って積極的に呼びかけている。これは、お迎え前の夕方2時間位を使って、ホールでクラスを超えて広く保護者同士がお茶を飲みながら保育士も交えて懇談するなど楽しいひとときを過ごす、というものである。また、保護者会の前には日頃の保育(子ども達のわらべ歌あそび・劇など)を見てもらう機会を設けていて、祖父母も参加できる。そして、その後に保護者会を開き、保護者同士の懇談の時間を多く持てるように努めている。</p> <p>保護者の考えや要望を取り入れるためにアンケートなどをして結果を反映させている</p> <p>保護者の考えをよく聴くという姿勢を大切に努力している。話をしたい人は沢山いるので担任は朝夕なるべく自分のクラスで当番をするようにしている。「なつまつり」などの行事や保護者会ではアンケートを行っている。アンケート、連絡帳、送迎時の聞き取り、保護者会などさまざまな機会に聴いたことを真摯に受け止め、ミーティングや職員会議などで話し合い、改善している。こうした積み重ねの結果「なつまつり」のアンケートでは大変多くの保護者がそれぞれの言葉で豊富な賞賛を寄せており、この行事がすばらしいものになっていることが分かる。</p> <p>保護者会でテーマを設けて話し合うなどお互いの理解が進むようにしている</p> <p>保護者会を充実させることに積極的に臨んでいる。前期は年間カリキュラムが中心であるが、後期では保護者の要望や関心にそったテーマを設けて懇談している。テーマは子ども達の発達に合わせたもの。例えば、0歳児では「離乳食」であったり、5歳児では「就学に向けて」などであり、また、保護者が関心を持っていること、和むようなこと、例えば、「わが子の一番可愛いところ」、「子どもの頃、私はこんな遊びをしていた」などである。保護者会は出席率も高く、父親の参加者も多い。保護者同士の意見交換も活発で充実したものになっている。</p>	
<p>9 評価項目9 地域のニーズに即した子育て支援を実施している</p> <p style="text-align: right;">評点()</p>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している
●あり ○なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている
●あり ○なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている
○非該当	○非該当
○非該当	○非該当
評価項目9の講評	
<p>「ふれあい保育」などにより、地域の在宅子育て家庭の力になれるように心がけている</p> <p>地域の在宅子育て家庭への支援として、看護師による身体測定、看護師・保育士による育児相談、園児たちと一緒に過ごすふれあい保育、園長による見学時の相談、緊急一時保育など多彩な地域の子育て支援事業を行っている。身体測定は毎月1回、看護師によって行われるがその後、遊びや食事など何でも看護師や保育士に気軽に相談できるようにしており、その意図が伝わるような呼びかけのチラシを作って近隣に配布している。門の所に看板も下げて地域の人に知らせている。ふれあい保育では遊びや給食を園児と一緒に体験できる。見学時相談も多い。</p> <p>園の子育て支援の取り組みにより、参加者同士の交流が増すという実績も上がっている</p> <p>身体測定のチラシには「どのくらい大きくなったかな?」と呼びかけ、毎月来園してもらい成長と一緒に見守る姿勢を伝えている。毎月参加することで参加者は互いに徐々に親しさを増し、交流を深めていく。園としては、こうして身体測定をきっかけに地域の子育て家庭同士が仲良くなっていくとともに、地域の子どものより良い発達のために子育て家庭の相談にもものなど、この事業に前向きに取り組んでおり、実績も上げている。</p> <p>職員会議などで子育て支援事業の見直し、評価を行い、より良いものを目指している</p> <p>身体測定、育児相談、ふれあい保育、見学時相談、緊急一時保育など、さまざまに取り組んでいる子育て支援事業については定例打ち合わせ、職員会議、ミーティングなどで取り上げ、提案を検討し課題解決をして次回に活かすようにし、子育て支援事業のレベルアップを図っている。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み		
評価項目	4-1-3	着実な計画の実行に取り組んでいる
タイトル	24年度からの「産休明け保育」開始の準備に、組織をあげて取り組んでいる	
内容	24年度から開始する「産休明け保育」に向け、カリキュラムの補強・調理部門の体制づくり・保育室や遊具の整備・担当保育士への支援方法などをめぐり、十分に時間をかけて討議し、職員全体の意識の共有化が図られている。また、実施に向け0歳児室の改修工事も行われることになっている。園のチャレンジプランのもと、職員会議・連絡会議・クラス会議・担当別ミーティングなどを通じた十分な討議が行われ、長期プロジェクト(広報・環境・危機管理)と、短期プロジェクト(夏祭り・運動会・年末お楽しみ会・卒園式)に計画的に取り組んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み		
評価項目	6-4-4	行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている
タイトル	多角的で多様な行事を組み立て、保育園の生活が充実したものになるように工夫している	
内容	行事は多角的視点から組み立てられ、子ども達の園生活が充実したものとなるようにしている。協力し合って達成感を得られるものとして、「なまつり」のお神輿作りや「運動会」などがある。子ども達が主体的に取り組みたいと考えるような行事に、「やきいも大会」「お店やさんごっこ」「おたのしみ会」などがある。地域との関係を大切にいた行事もあり、お神輿の練り歩きや「運動会」への卒園児や地域の人々の参加、地域の「七夕まつり」、近隣の小学校からもらった朝顔の苗くばり、区役所でのきゅうりもぎ、ボランティアによるお話し会などがある。	

特に良いと思う点		
1	タイトル	園児数・職員数が多い園を、マニュアル・会議を有効に活用して効率的に管理している
	内容	園児定員112人、職員数50人余りと、区立園のなかで最も規模が大きい。延長保育を行っており、職員の勤務割のパターンは様々で、給食(園内で調理)や用務要員を外部に委託しているなどの事情から、人事管理をめぐるマネジメント力が重要となる。そこで、基本マニュアルに「係と仕事内容」として職務・役割を明示し、また、月1回2時間の職員会議全体会議(「夜会議」)のほか、職員定例打合せ、乳児クラス・幼児クラス・食事関係の打合せ、各クラス会議や、行事などの担当者の打合せを開き、効率的な管理が行われている。
2	タイトル	会議を計画的に実施しており、子どもに関する情報共有のしくみが機能している
	内容	正職員・パートタイマーなど51名のスタッフが112名の子どもの情報を共有することは大変困難なことであるが、種々の会議を効率的に実施することにより、子どもの状況を職員間で共有している。会議の持ち方については、日時が設定され、進行担当、主な内容、注意事項が周知され、事前の準備をして会議に臨んでいる。日々の子ども一人ひとりの状況や変化は、毎日2時からのミーティングとミーティングノートで情報の共有化が図られている。「クラス担任以外の保育士の方からも、名前で声をかけてもらいます」という利用者の声がある。
3	タイトル	保護者の話を丁寧に聴くように努めたり、クラスを超えて保護者同士が交流できるようにするなど、保護者を大切にしている
	内容	朝夕、担任はできるかぎり自分のクラスで当番をするようにし、保護者の話を丁寧に聴いたり、大事なことは必ず口頭で伝えている。送迎時に保護者と会えなかった時には手紙を書いて渡している。その日の保育の様子を写真に撮って保育室の前に貼ったり、クラス日誌やお知らせは保育士の思いの伝わるものにするなど、毎日の保育の内容が保護者に届くように努力している。また、クラスを超えて保護者同士が交流できるような会「おしゃべりタイム」や、祖父母の参加もある(歌や劇の)「保育の発表」を設けるなど、保護者を大切にしたい支援に努めている。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	会議時間・記録の効率化により、保育の基本を考える「時間」をつくることが期待される
	内容	職員はいずれも「保育のあり方と向上」を真剣に考え、互いに話し合い、学び合う機会をつくりたいと考えている。しかし、日々の保育の仕事に追われ、余裕がないことが実情だ。クラス会議の時間の短縮は行き届いた保育を妨げ、保護者に気持ちを伝えるためには連絡帳への記入に手を抜くことができない。しかし、「保育の質の向上」は、もっと大切であり、会議出席者の選定、記録類へのパソコンの活用などによって「時間」を生み出すことが期待される。経験ある職員が積極的にリードして、会議を効率化するなどの取り組みも有効であろう。
2	タイトル	保護者と職員が「一緒にやっていく保育」を目指して、コミュニケーションスキルの向上を図りたい
	内容	職員アンケートには「職員の意識をある程度統一し、同じ考えに立って子どものことを考えて、日々の保育を進めようとしている」などの記述が見られ、園の中で職員全員が保育に前向きに取り組んでいることが分かる。一方、「保護者と一緒に保育をしていく」という思いが保護者には十分に浸透していないようである。職員の中には「保護者への伝え方が難しい」「家庭へどう伝えていくか」など悩んでいる人もいる。保護者の理解と協力を得るために、保護者との効果的な話し合い方や報告・連絡・声かけの仕方など、より一層のスキルを磨くことを期待したい。
3	タイトル	家庭と園で一緒に子育てをしたいとの思いがあり、カリキュラムを保護者にオープンにすることを実現してほしい
	内容	家庭と保育園と一緒に子育てをしていきたいという思いを持っており、保護者の話をよく聴き、園の考えをきちんと伝え、理解して貰うことを目指している。今後さらにレベルアップするために考えていることに、週案や毎月のカリキュラムを保護者向けに貼り出し、保育内容をオープンにしていくことがある。保育内容を共有することにより、園での毎日の子どもの様子がさらに保護者に分かりやすく伝わり、「一緒に子育てしたい」という思いが充実したものとなっていくことが期待され、実現に向けての検討が望まれる。

巻末 付属資料

認可保育所利用者調査票

全職員事業自己評価組織マネジメント調査票

全職員事業自己評価サービス分析調査票

経営層合議用シート 事業プロフィール

経営層合議用組織マネジメント分析シート

経営層合議用サービス分析シート

平成23年度 保育園サービス 利用者調査 (保護者用)

調査のお願い

このたび、「 保育園」では、よりよい保育サービスの実施をめざして、東京都福祉サービス第三者評価を実施することになりました。この評価は、東京都福祉サービス評価推進機構によって認証されている評価機関「特定非営利活動法人せたがや福祉サポートセンター」が実施いたします。

第三者評価にあたって、みやげ保育園を利用されている保護者の方が、日常の保育サービスに対して、どのように感じていらっしゃるかを把握するため、アンケート調査を実施することになりました。

調査結果は、「 保育園」のサービスを評価するために使用し、定められた項目については、インターネットを通じて公表されることになっています。

また、調査結果は統計的に処理したうえで使用しますので、記入者を特定したり、第三者評価の目的以外に使用したりすることは絶対にいたしません。

お忙しいところたいへん申し訳ありませんが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

ご記入に当たって

- ・この調査は、「 保育園」を利用されている保護者の方がご回答ください。
- ・あてはまる番号に をつけてください。
- ・質問内容が、ご自身にとって「経験がない」「認識がない」など該当しない場合には、「4 非該当」に をつけてご回答ください。
- ・質問ごとにご意見などがある場合は、(自由意見)欄にご記入ください。
- ・この調査票は、別添の返信用封筒をご利用のうえ、平成23年10月21日までに投函してください。

この調査に関してのお問い合わせは、下記をお願いします。

問合わせ先

特定非営利活動法人 せたがや福祉サポートセンター

第三者評価担当者 街風晶子

〒158-0091 東京都世田谷区中町2-21-12-301

電話 : 03-5758-1880

現在ご利用の 保育園についておたずねします

あなたの気持ちに最も近い番号を1つだけ選び、印をお付けください。

複数のお子さんがいらっしゃる場合は、一番年齢の低いお子さんの例でご回答ください。

毎日の保育サービスについてお聞きします

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問1. 食事（給食）・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問2. 戸外遊びの機会は十分ですか	1	2	3	4
(自由意見)				
問3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問4. 保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか	1	2	3	4
(自由意見)				
問5. 安全対策が十分取られていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問6. 保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	1	2	3	4
(自由意見)				
問7. お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか	1	2	3	4
(自由意見)				

お子さんや保護者の尊重についてお聞きします

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問9. 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー（秘密）を守っていますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問10. お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問11. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	1	2	3	4
(自由意見)				

要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問12. 要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	1	2	3	4
(自由意見)				
問13. 保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問14. 要望や不満があったとき、第三者委員（保育所外の苦情解決相談員）などにも相談できることを知っていますか	1	2	3	4
(自由意見)				

利用前の保育園の対応についてお聞きします

過去1年以内にこの施設を利用し始めましたか

1. はい

2. いいえ



総合的な感想へお進みください



保育所の利用を始める前に、保育所から保育内容などの説明がありましたか

1. はい

2. いいえ



総合的な感想へお進みください



問15へお進みください

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問15. 入園に際し保育所から受けた説明は、わかりやすかったですか	1	2	3	4
(自由意見)				

総合的な感想についてお聞きします

〔1〕現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。

(1つに)

大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満
1	2	3	4	5

〔2〕日頃お感じになっている保育園に対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

〔3〕今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。

最後に保護者の方とお子さんについておたずねします

F 1 . 調査票記入者 (1 つに)

1 . 父 2 . 母 3 . 父母一緒に 4 . その他 ()

F 2 . 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) (1 つに)

1 . 20歳未満 2 . 20 ~ 25歳未満 3 . 25 ~ 30歳未満 4 . 30 ~ 35歳未満
5 . 35 ~ 40歳未満 6 . 40 ~ 50歳未満 7 . 50歳以上

F 3 . 保護者の勤務形態 (各 1 つ)

父
1 . 常勤 (フルタイム) 2 . パート、アルバイト 3 . 自営業 4 . 無職 5 . その他 ()
母
1 . 常勤 (フルタイム) 2 . パート、アルバイト 3 . 自営業 4 . 無職 5 . その他 ()
その他の保護者 (主にお迎えに行かれる方)
1 . 常勤 (フルタイム) 2 . パート、アルバイト 3 . 自営業 4 . 無職 5 . その他 ()

F 4 . 保育園を利用してるお子さんの年齢 (複数のお子さんがいらっしゃる場合は、該当する全部に)

1 . 0歳 2 . 1歳 3 . 2歳 4 . 3歳
5 . 4歳 6 . 5歳以上

ご協力ありがとうございました。

この調査票は、別添の封筒をご利用のうえ、10月21日までにご返送願います。

〔平成23年度〕

職員用組織マネジメント分析シート

記入の手引き

分析シートの構成

この組織マネジメント分析シートは、8つの大きな「カテゴリー（評価の領域）」で構成されています。

ただし、6番目のカテゴリー「6．サービス提供のプロセス」は、別紙「職員用サービス分析シート（6．サービス提供のプロセス）」で評価し、このシートは使用しません。

評価の進め方

【カテゴリー1～7】

(1) カテゴリー1～7は、「評価項目」の評価を行っていただきます。
「評価項目」の評価は、標準項目が実施できているかいないかの判断に基づいて行います。

(2) 評価項目の評価は次の基準で行います。当てはまると思うところに 印をつけてください。

- ・ **できている** ...標準項目がすべて実施されていると思う場合
- ・ **できていないところがある** ...標準項目の一部に実施されていないものがあると思う場合
- ・ **できていない** ...標準項目が一つも実施されていないと思う場合

【昨年と比べて成果が上がったと思う点(カテゴリー8)】

(1) 回答シートには、昨年と比べてよくなったと思う点を記入する欄があります。
この欄の内容は、評価機関がカテゴリー8の評価を行う際の参考にします。

<参考>

カテゴリー8の評価は次の区分で行います

- ・ 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- ・ 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- ・ 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

【特に良いと思う点、特に改善したいと思う点】

(1) 回答シートには事業所全体として 特によいと思う点、特に改善したいと思う点（各3つ以内）を記入する欄があります。

この欄は、「職員用サービス分析シート（6．サービス提供のプロセス）」も終わってから一番最後に記述してください。

回答シート

(1) カテゴリー1～7については、この「組織マネジメント分析シート」で評価項目の評価を行ったうえで、回答シートに転記し、回答シートのみ提出してください。
回答シートに記入していただいた内容は、第三者評価以外には使用しません。

カテゴリー 1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに)			標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	
1-1-1	事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	○	○	○	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している
					事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
					事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
					重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)
1-1-2	経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	○	○	○	経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている
					経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している
1-1-3	重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	○	○	○	重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている
					重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
					利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている

カテゴリ 2 経営における社会的責任

サブカテゴリ 1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに)			標準項目
	できている	できていないところがある	できていない	
2-1-1				福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる
2-1-2				第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している

サブカテゴリ 2 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに)			標準項目
	できている	できていないところがある	できていない	
2-2-1				事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など) 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている
2-2-2				ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など) ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている
2-2-3				地域の関係機関とのネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている

カテゴリー 3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー 1 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに)			標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	
3-1-1	利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)				苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている
					利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
3-1-2	利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる				利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる
					事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している
					利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる
3-1-3	地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している				地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる
					福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる
					事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している

カテゴリ 4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリ 1 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに)			標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	
4-1-1	取り組み期間に応じた課題・計画を策定している	○	○	○	理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している
					年度単位の計画を策定している
					短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる
4-1-2	多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	○	○	○	課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている
					課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている
					計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している
					計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している
4-1-3	着実な計画の実行に取り組んでいる	○	○	○	計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している
					計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている
					計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している
					計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる

サブカテゴリ 2 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに)			標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	
4-2-1	利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	○	○	○	利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している
					事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している
					事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている
					事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる

カテゴリー 5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに)			標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	
5-1-1	事業所にとって必要な人材構成にしている	○	○	○	事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している
					事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている
					適材適所の人員配置に取り組んでいる
5-1-2	職員の質の向上に取り組んでいる	○	○	○	職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している
					事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している
					個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している
					職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている
					職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している

サブカテゴリー2 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに)			標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	
5-2-1	職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	○	○	○	職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している
					職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる
					職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる
5-2-2	職員のやる気向上に取り組んでいる	○	○	○	事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている
					就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる
					職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる
					福利厚生制度の充実に取り組んでいる

カテゴリ 7 情報の保護・共有

サブカテゴリ 1 情報の保護・共有に取り組んでいる

評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに)			標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	
7-1-1	事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	○	○	○	情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している
					収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している
					保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している
7-1-2	個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○	○	○	事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している
					個人情報の保護に関する規定を明示している
					開示請求に対する対応方法を明示している
					個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている

**昨年と比べて成果が上がったと思う点
(カテゴリー8 カテゴリー1～7に関する活動成果)**

カテゴリー8は、カテゴリー1～7と評価方法が異なり、活動成果を評価します。
このカテゴリーでの評価は、事業所の皆様に成果が上がったことを記入して頂き、それに基づいて評価機関が評価を行います。

こちらは「職員用 回答シート」にご記入ください。

貴事業所の特に良いと思う点、特に改善したいと思う点

上記について3つ以内でご自由にお答え下さい。

(組織マネジメント分析シート・サービス分析シートの記入を終えてから、事業所全体としてご記入下さい。)

こちらは「職員用 回答シート」にご記入ください。

職員用：回答シート

組織マネジメント分析シート(カテゴリー1～5、7)
(あてはまるもの一つに” ”をつけてください)

NO.	できている	できていない ところがある	できていない
1 - 1 - 1			
1 - 1 - 2			
1 - 1 - 3			
2 - 1 - 1			
2 - 1 - 2			
2 - 2 - 1			
2 - 2 - 2			
2 - 2 - 3			
3 - 1 - 1			

NO.	できている	できていない ところがある	できていない
3 - 1 - 2			
3 - 1 - 3			
4 - 1 - 1			
4 - 1 - 2			
4 - 1 - 3			
4 - 2 - 1			
5 - 1 - 1			
5 - 1 - 2			
5 - 2 - 1			

NO.	できている	できていない ところがある	できていない
5 - 2 - 2			
7 - 1 - 1			
7 - 1 - 2			

昨年と比べてよくなったと思う点をご記入ください。
(カテゴリー8 カテゴリー1～7に関する活動成果)

貴事業所の特に良いと思う点、特に改善したいと思う点を、それぞれ3つ以内でご自由にお答え下さい。
(組織マネジメント分析シート・サービス分析シートの記入を終えてから、事業所全体としてご記入下さい。)

特に良いと思う点 (組織マネジメント分析シート・サービス分析シートを あわせてご記入下さい。)	特に改善したいと思う点 (組織マネジメント分析シート・サービス分析シートを あわせてご記入下さい。)

[平成23年度]

認可保育所

職員用サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)

記入の手引き

サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)の位置づけと構成

- (1) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、別紙「組織マネジメント分析シート」のカテゴリー6「サービス提供のプロセス」をより詳細に評価するためのものです。
- (2) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、6つのサブカテゴリーに分かれています。
そして各サブカテゴリーはさらに評価項目、標準項目と、よりサービスの具体的な内容が記述されています。

評価の進め方

- (1) 「評価項目」の評価を行っていただきます。
「評価項目」の評価は、標準項目が実施できているかいないかの判断に基づいて行います。
- (2) 評価は次の基準で行います。当てはまると思うところに 印をつけてください。
 - ・ **できている** ... 標準項目がすべて実施されていると思う場合
 - ・ **できていないところがある** ... 標準項目の一部に実施されていないものがあると思う場合
 - ・ **できていない** ... 標準項目が一つも実施されていないと思う場合
 - ・ **知らない・分からない**
- (3) 自分が直接関わっていない仕事についてもなるべく自分の考えで評価してください。
ただし、見当がつかないという項目については「知らない・分からない」の欄をつけてください。

回答シート

- (1) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」で評価したうえで、回答シートに転記し、回答シートのみ提出してください。
回答シートに記入していただいた内容は、第三者評価以外には使用しません。
- (2) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、日常の業務点検などに活用していただければ幸いです。

カテゴリ 6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリ 1 サービス情報の提供

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	○	○	○	○	利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している

サブカテゴリ 2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
6-2-1	サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	○	○	○	○	サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している
6-2-2	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている	○	○	○	○	サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている

サブカテゴリ 3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
6-3-1	定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している	○	○	○	○	子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている
6-3-2	子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している	○	○	○	○	計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている 計画を保護者にわかりやすく説明している 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している
6-3-3	子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	○	○	○	○	子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している
6-3-4	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	○	○	○	○	計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している

サブカテゴリ 4 サービスの実施

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている	○	○	○	○	<p>子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している</p> <p>子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけられることができるよう、環境構成を工夫している</p> <p>子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している</p> <p>特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している</p> <p>発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている</p>
6-4-2	家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている	○	○	○	○	<p>登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している</p> <p>発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている</p> <p>休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している</p> <p>お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている</p>
6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している	○	○	○	○	<p>日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている</p> <p>子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている</p> <p>子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している</p> <p>戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている</p>
6-4-4	行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている	○	○	○	○	<p>みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している</p> <p>子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している</p> <p>行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている</p> <p>保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している</p>

6-4-5	保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている	○	○	○	○	<p>保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている</p> <p>年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている</p> <p>子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる</p> <p>お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている</p>
6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している	○	○	○	○	<p>子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している</p> <p>メニュー や味付けなどに工夫を凝らしている</p> <p>子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している</p> <p>食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている</p> <p>保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている</p>
6-4-7	子どもが心身の健康を維持できるように支援を行っている	○	○	○	○	<p>けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている</p> <p>医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている</p> <p>保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている</p>
6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている	○	○	○	○	<p>保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している</p> <p>保護者同士が交流できる機会を設けている</p> <p>保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている</p> <p>保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている</p> <p>子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている</p>
6-4-9	地域のニーズに即した子育て支援を実施している	○	○	○	○	<p>地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している</p> <p>地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている</p> <p>提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている</p>

サブカテゴリ 5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
6-5-1	子どものプライバシー保護を徹底している	○	○	○	○	子どもに関する情報(事項)を外とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている
6-5-2	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している	○	○	○	○	日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている

サブカテゴリ 6 事業所業務の標準化

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
6-6-1	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	○	○	○	○	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している
6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	○	○	○	○	提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる
6-6-3	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	○	○	○	○	打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている

認可保育所版
職員用 : 回答シート

施設・事業所名 : _____

回答者属性 (どちらかに“ ”をつけてください)

	リーダー層
	一般職員

サービス分析シート(カテゴリー6) (あてはまるもの一つに“ ”記入してください)

NO.	できている	できていない ところがある	できていない	知らない・ 分からない
6 - 1 - 1				
6 - 2 - 1				
6 - 2 - 2				
6 - 3 - 1				
6 - 3 - 2				
6 - 3 - 3				
6 - 3 - 4				
6 - 4 - 1				
6 - 4 - 2				
6 - 4 - 3				
6 - 4 - 4				

NO.	できている	できていない ところがある	できていない	知らない・ 分からない
6 - 4 - 5				
6 - 4 - 6				
6 - 4 - 7				
6 - 4 - 8				
6 - 4 - 9				
6 - 5 - 1				
6 - 5 - 2				
6 - 6 - 1				
6 - 6 - 2				
6 - 6 - 3				

事業プロフィール

- 1 事業所名（サービス種別） : ()
- 2 (1) 運営主体（法人名等） :
 (2) 設置主体 :
- 3 事業所所在地 :
- 4 事業所の長の氏名（施設長等） :
- 5 連絡先

T e l		F a x	
Eメール		ホ-ムペ-ジ	

- 6 同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している主な福祉・医療サービスを利用者数からみて上位5つ以内（例・特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなど、評価対象事業を含む。）
- (1)
 (2)
 (3)
 (4)
 (5)

- 7 定員および現在の利用者
 内訳は別紙のとおり

8 職員の状況

(1) 職員数

区 分	計	男性	女性
常勤職員数			
非常勤職員数			
計			

（常勤換算 _____ 人）

（計算式：非常勤職員のそれぞれの勤務延べ時間数の総数 ÷ 当該事業所の常勤職員が勤務すべき時間数）

(2) 専門職員の人数

専門職の名称	人数	専門職の名称	人数	専門職の名称	人数

(3) 非常勤職員の勤務形態と業務内容

* 職員種別は、パート、アルバイト、派遣、契約等、施設で通常使用している呼称でご記入ください。

職員種別	人数	勤務形態 (勤務時間、シフト)	業務内容

(4) 前年度採用・退職の状況

	計	常勤	非常勤
採用			
退職			
計			

(5) 常勤職員の平均年齢 _____ 歳

(6) 常勤職員の平均在職年数 _____ 年（現在の事業所での在職年数とする）

(7) 直接支援に携わっている職員（非常勤は常勤換算）1人当たりの利用者数 _____ 人
 （計算式：定員 ÷ 直接支援に携わっている職員数）

9 平面図等施設の状況がわかるものを添付

事業プロフィール (7 定員及び現在の利用者 内訳) 認可保育所版

- 7 定員及び現在の利用者(年 月 現在)
 下記の利用者の状況が分かる表を添付するか、下の空白部分に書き込んでください。

(1) 一般保育

	定員(人)	利用者児(人)
0歳児		
1歳児		
2歳児		
3歳児		
4歳児		
5歳児		
計		

(2) 多様な保育サービス

	定員(人)	利用者児(人)	料金(円)	備考
産休明け保育				
延長保育				()時間延長
夜間保育				
障害児保育				
休日保育				
学童児童受け入れ				
一時・特定保育				
子育て広場 1				事業内容番号
在宅子育て支援 2				事業内容番号
その他()				
計				

1 子育て広場には、つどいの広場を含む。

2 「在宅子育て支援」欄は、在宅子育て家庭を対象とした子育て支援事業を実施している場合に、備考欄に下記の事業内容番号を記入すること。

育児相談 育児講座 保育所体験 出産を迎える親の体験学習
 子育てサークル支援 子育て情報誌の発行 家庭訪問 出前保育

事業プロフィール

- 1 理念・方針 (関連 カテゴリー 1 リーダーシップと意思決定)
事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、特に重要なもの(上位5つ程度)を簡潔に記述 (関連 カテゴリー 1 リーダーシップと意思決定)
 - 1)
 - 2)
 - 3)
 - 4)
 - 5)
- 2 サービス提供の考え方について記述 (関連 カテゴリー 6 サービス提供のプロセス)
日々の業務の考え方、利用者ニーズに合わせた事業者独自の取組、利用者や家族との関係、地域との関係を含む
- 3 期待する職員像 (関連 カテゴリー 5 職員と組織の能力向上)
 - (1) 職員に求めている人材像や役割

 - (2) 職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)
- 4 現在のサービス提供能力と利用者数(関連 カテゴリー 6 サービス提供のプロセス)
(以下のどれかに つける)
 - 1) サービスを希望しながら待っている人(事業所に登録している待機者)がかなりいる
 - 2) ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない(ほぼ定員を満たしている)
 - 3) サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい
 - 4) その他()
- 5 3年後の見通し(関連 カテゴリー 3 利用者の意向や地域・事業環境などの把握と活用、
カテゴリー 4 計画の策定と着実な実行)
(以下、〔契約による利用〕、〔措置など契約以外による利用〕のどちらかを選んだうえで、一つに つける)
〔契約による利用〕
 - 1) 利用者数の増加を見込んでサービス提供能力を拡大する計画がある
 - 2) サービス提供能力を拡大する計画はないが、ほぼ現在のサービス提供能力に見合う利用者数は維持できると思う
 - 3) 現在の利用者数を維持するのは経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないかと思う
 - 4) その他()〔措置など契約以外による利用〕
 - 1) 施設規模の拡大または新たなサービス提供を行う計画がある
 - 2) 現在の施設規模、サービス提供能力を維持する方向で考えている
 - 3) 現在のサービス提供能力を維持するのは、経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないかと思う
 - 4) その他()
- 6 評価対象のサービス事業に関して事業者として力を入れて取り組んでいる点を、人的サービス面と設備面に分けて、重要な順に各3つ以内で記述 (関連 カテゴリー 4 計画の策定と着実な実行)
 - 人的サービス面
 - 1)
 - 2)
 - 3)
 - 設備・環境面
 - 1)
 - 2)
 - 3)

7 当該事業の開始時から現在までの重要な変遷（制度改正に基づくもの含む）

- 1) 開始時期 年 月
- 2) 重要な変遷

経営に影響を与えていると考えている事業環境の変化を記述（制度改正を含む）

8 (関連 カテゴリー 3 利用者の意向や地域・事業環境などの把握と活用、カテゴリー 4 計画の策定と着実な実行)

9 評価対象としているサービス事業を維持・向上させていくためにこれから何をしていかなければならないかについて、重要な順に3つ以内で記述（関連 カテゴリー 4 計画の策定と着実な実行）

- 1)
- 2)
- 3)

10 評価を実施するにあたり、評価機関に知って欲しいこと（経営層が考えていること、利用者の状況、職員の状況など）を自由にご記入ください

11 実習生の受け入れ状況 (関連 カテゴリー 2 経営における社会的責任)

前年度の実習生受け入れ人数 _____人

【内訳】

実習生の紹介元	受け入れ人数

〔平成23年度〕

組織マネジメント分析シート 【自己評価用】

経営層合議用

作成日 (完成日)	平成	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者	(役職名)	(氏名)		
合議に参加した経営層のお名前をすべてお書き下さい。				

カテゴリ
1.リーダーシップと意思決定
2.経営における社会的責任
3.利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
4.計画の策定と着実な実行
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.情報の保護・共有
8.1～7に関する活動成果

網掛け部が組織マネジメント分析シートに該当します

組織マネジメント分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

【カテゴリ1～7】

- 評価項目に対する事業所の取り組み状況を確認するために、「標準項目」の実施状況をチェック☑します。「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、「評価項目」の〔ねらい〕を確認のうえ「カテゴリ」及び「サブカテゴリ」の趣旨から外れないように合議します。
また、各「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等にあたるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の記録等」欄は省略できます。
- 「標準項目」ができていないと確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。
(1 事業者が当該事項を実施していること 2 その実施が継続的(必要性を認識し、計画的)であること
「私たちの実践例」欄に記入する内容です。
3 その根拠が示せること
「その実践の記録等」欄に記入する内容です。)
- ひとつのカテゴリ内のすべての標準項目について確認した後に、「カテゴリ」全体を通じて「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。
「良いと思う点」
・力を入れて取り組んでいること ・工夫して取り組んでいること ・独自に取り組んでいること
・自信を持って取り組んでいること ・利用者に知ってもらいたいこと など
「改善する必要がある点」
・改善の必要があると認識していること ・改善計画中のこと
・改善に取り組んでいること など

【カテゴリ8】

- カテゴリ1～7に関する活動成果を評価します。
各評価項目の内容に応じて、あなたの事業所における改善に向けた取り組みを「改善に向けた取り組み」欄に、その取り組みによる成果を「取り組んだ成果」欄に、その成果の記録等にあたるものを「その成果の記録等」欄にそれぞれ記入します。
また、「評価項目」単位で活動成果を評価します。評価する区分は、次のとおりです。
・改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
・改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
・改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
以上の3つのうちあなたの事業所があてはまる区分にチェック☑をします。

カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目 1-1-1

事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している

- [ねらい]・理念、基本方針を達成するためにそれをわかるように示しているか
 ・それを職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行なっているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している			
2	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている			
3	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている			
4	重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)			

評価項目 1-1-2

経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

- [ねらい]・経営層は、理念等を実現するため、自らの役割と責任を職員にわかりやすく伝えているか
 ・経営層は、理念、基本方針を実現するために、自ら率先垂範しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている			
2	経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している			

評価項目 1-1-3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

- [ねらい]・重要な案件については、組織として決定する手順をあらかじめ定めているか
 ・職員に意思決定過程の透明性を図っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている			
2	重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している			
3	利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている			

カテゴリー1について リーダーシップと意思決定

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリー 2 経営における社会的責任

サブカテゴリー 1

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目 2 - 1 - 1				
社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している [ねらい] 組織の社会的責任として遵守すべき法・規範・倫理などについて明確にしているか ・さらにそれを遵守できるように理解を深めているか				
	標準項目	チェック欄	私たちの実践例	その実践の記録等
1	福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している			
2	全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる			
評価項目 2 - 1 - 2				
第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている [ねらい] 組織の社会的責任として、透明の確保のために外部の目を活用しているか ・地域社会に情報発信することで透明性を高めているか				
	標準項目	チェック欄	私たちの実践例	その実践の記録等
1	第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる			
2	透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している			

サブカテゴリ-2 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目 2-2-1

事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある

[ねらい] 組織の社会的責任として、地域の一員として事業所の機能を還元しているか
 ・地域社会に専門性をいかした取り組みをしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)			
2	地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている			

評価項目 2-2-2

ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

[ねらい] 組織の社会的責任として、ボランティアを受け入れるための考え方をはっきりさせているか
 ・そのための体制を整備しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			
2	ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			
3	ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている			

評価項目 2-2-3

地域の関係機関との連携を図っている

[ねらい] 地域の一員として関係機関とのネットワーク化に貢献しているか
 ・地域の一員として、地域での共通課題の解決に協働しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している			
2	地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている			

カテゴリ-2 について 経営における社会的責任

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリー 3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー 1 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目 3-1-1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

[ねらい] 事業所のサービス の利用者一人ひとりの苦情等についてどのように把握しているのか
 ・その苦情等についてどのように解決に取り組んでいるのか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている			
2	利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる			

評価項目 3-1-2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

[ねらい] 利用者の意向をどのように集約・分析しているのか
 ・その結果をサービス 向上に活用しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者アンケート など、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる			
2	事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している			
3	利用者の意向をサービス 向上につなげることに取り組んでいる			

評価項目 3-1-3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

[ねらい] サービス 経営改善のために地域の福祉ニーズ についてどのように把握分析しているのか
 ・また福祉事業の動向についてどのように把握分析しているのか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	地域の福祉ニーズ の収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる			
2	福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる			
3	事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズ や福祉事業全体の動向を整理・分析している			

カテゴリー3 について 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリー 4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリー 1 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

評価項目 4-1-1			
取り組み期間に応じた課題・計画を策定している [ねらい]・理念、基本方針実現のため実践的な課題・計画を策定しているか ・計画の立て方も取り組み期間に応じているか			
標準項目	チェック	私たちの実践例	その実践の記録等
1 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している			
2 年度単位の計画を策定している			
3 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュール の設定など)に取り組んでいる			
評価項目 4-1-2			
多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している [ねらい]・理念、基本方針実現のため、課題の明確化、計画策定の時期や手順が定められているか ・その計画は現場の意向や利用者の意向等を踏まえたものとなっているか			
標準項目	チェック	私たちの実践例	その実践の記録等
1 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている			
2 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている			
3 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズ や事業環境など)を踏まえて策定している			
4 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している			
評価項目 4-1-3			
着実な計画の実行に取り組んでいる [ねらい]・理念、基本方針実現のため、計画に基づき効果的に実行しているか ・進捗状況に応じ、見直ししながら、着実に成果を上げられるような取り組みを進めているか			
標準項目	チェック	私たちの実践例	その実践の記録等
1 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している			
2 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている			
3 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している			
4 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる			

サブカテゴリ-2 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目 4-2-1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

[ねらい] 利用者の安全確保のための体制は整備されているか

・安全のために把握すべきリスクには、利用者に関するすべてのリスクを含みます

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している			
2	事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している			
3	事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている			
4	事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる			

カテゴリ-4 について 計画の策定と着実な実行

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリー 5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー 1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目 5-1-1

事業所にとって必要な人材構成にしている

[ねらい] 理念、基本方針を実現するのに適した人事制度が定められているか
 ・それに基づき、人材の確保や配置が行われているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している			
2	事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている			
3	適材適所の人員配置に取り組んでいる			

評価項目 5-1-2

職員の質の向上に取り組んでいる

[ねらい] 理念、基本方針の実現に向けて、職員一人ひとりの育成計画を策定しているか
 ・その計画に基づき、質の高いサービスの提供に向けた職員育成が行われているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している			
2	事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している			
3	個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している			
4	職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている			
5	職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している			

サブカテゴリ-2 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目 5-2-1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

[ねらい] 職員一人ひとりの力と組織力の発揮、理念等実現のため、どのように取り組んでいるか
 ・そのために職員一人ひとりが学びに取り組むようにしているか

	標準項目	チェック	私たちの実践例	その実践の記録等
1	職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している			
2	職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる			
3	職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる			

評価項目 5-2-2

職員のやる気向上に取り組んでいる

[ねらい] 理念、基本方針実現のため、職員の意識や就業状況を的確に把握しているか
 ・把握した上で、職員のやる気と働きがいの満足に影響を及ぼす要因改善に取り組んでいるか

	標準項目	チェック	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている			
2	就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる			
3	職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる			
4	福利厚生制度の充実に取り組んでいる			

カテゴリ-5 について 職員と組織の能力向上

<p>良いと思う点</p> 	<p>改善する必要があると思う点</p>
---	--

(良いと思う点)
 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点)
 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリー 7 情報の保護・共有

サブカテゴリー 1 情報の保護・共有に取り組んでいる

評価項目 7-1-1

事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

[ねらい] 事業所をより良くするためにどのような情報が必要であるかの検討がなされているか
 ・経営に関して必要な情報が適切に収集・整理・分析された上で、保護・共有されているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している			
2	収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している			
3	保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している			

評価項目 7-1-2

個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している

[ねらい] 保護法の基本的概念等を踏まえ、事業所が有する個人情報の保護方法を定めているか
 ・その方法が行き渡るようにしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している			
2	個人情報の保護に関する規定を明示している			
3	開示請求に対する対応方法を明示している			
4	個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている			

カテゴリー7について 情報の保護・共有

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリ-2 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目 1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」 [ねらい]・前年度と比べて成果を上げることができたか		【活動成果】 <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない	
【自由記述】	改善に向けて取り組んでいること	取り組んだ成果	その成果の記録等
【自由記述】			

サブカテゴリ-3

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目 1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」 [ねらい]・前年度と比べて成果を上げることができたか		【活動成果】 <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない	
【自由記述】	改善に向けて取り組んでいること	取り組んだ成果	その成果の記録等
【自由記述】			

サブカテゴリー4 事業所の財政等において向上している

評価項目 1 財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている [ねらい]・主体的な取り組みにより財政等で成果を上げることができたか		【活動成果】 <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない	
	改善に向けて取り組んでいること	取り組んだ成果	その成果の記録等
【自由記述】			

サブカテゴリー5 前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目 1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している ・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」 [ねらい]・前年度と比べて成果を上げることができたか		【活動成果】 <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない	
	改善に向けて取り組んでいること	取り組んだ成果	その成果の記録等
【自由記述】			

事業所の特に良いと思う点 特に改善したいと思う点

特に良いと思う点	特に改善したいと思う点

注)これは「サービス分析シート(カテゴリ6 サービス提供のプロセス)」の評価結果を含めて記述してください。

〔平成23年度〕

認可保育所

サービス分析シート
(6. サービス提供のプロセス)
【自己評価用】

経営層合議用

作成日 (完成日)	平成	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者 (役職名) (氏名)				

カテゴリー
1.リーダーシップと意思決定
2.経営における社会的責任
3.利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
4.計画の策定と着実な実行
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.情報の保護・共有
8.1～7に関する活動成果

網掛け部がサービス分析シートに該当します

サービス分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

- 1 評価項目に対する事業所の取り組み状況を確認するために、「標準項目」の実施状況をチェック☑します。
「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、「評価項目」の〔ねらい〕を確認のうえ「カテゴリー」及び「サブカテゴリー」の趣旨から外れないように合議します。
また、各「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等にあたるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の記録等」欄は省略できます。
- 2 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。
 - 1 事業者が当該事項を実施していること
 - 2 その実施が継続的(必要性を認識し、計画的)であること
「私たちの実践例」欄に記入する内容です。
 - 3 その根拠が示せること
「その実践の記録等」欄に記入する内容です。
- 3 標準項目について確認した後に、「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。
 - ・サブカテゴリー1～3及び5、6は、サブカテゴリーごとに記述します。
 - ・サブカテゴリー4「サービスの実施」は、評価項目ごとに記述します。「良いと思う点」
 - ・力を入れて取り組んでいること ・工夫して取り組んでいること ・独自に取り組んでいること
 - ・自信を持って取り組んでいること ・利用者に知ってもらいたいこと など「改善する必要がある点」
 - ・改善の必要があると認識していること ・改善計画中のこと
 - ・改善に取り組んでいること など

カテゴリー 6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリー 1 サービス情報の提供

評価項目 6-1-1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している				
[ねらい] ・サービスを選択するための情報が、利用者に届くように工夫して提供しているか ・パンフレットやホームページ 等の存在のみを評価するものではない				
	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している			
2	利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている			
3	事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している			
4	利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している			

サブカテゴリー1 サービス情報の提供 について

<p>良いと思う点</p> 	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------------------	----------------------------------

(良いと思う点)
力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点)
改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー 2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目 6-2-1
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている
 [ねらい] ・サービス 開始時に、保護者の状況に応じたサービス 内容の説明をしているか
 ・十分な説明をしたうえで、保護者の意向を確認し、納得を得ているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	サービス の開始にあたり、基本的ルール 、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している			
2	サービス 内容について、保護者の同意を得るようにしている			
3	サービス に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している			

評価項目 6-2-2
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている
 [ねらい] ・サービス 開始時の環境変化による影響を緩和する取り組みをしているか
 ・子どもがサービス を終了する場合、子どもや保護者の不安を軽減するための取り組みをしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	サービス 開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している			
2	利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている			
3	サービス の終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている			

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリ 3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目 6-3-1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している [ねらい] ・支援をするうえで必要な子ども個人の情報をどのように把握しているか ・子どもの状況に応じたアセスメントの手順や改訂基準が確立しているか			
標準項目	チェック☑	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している			
2 子どもや保護者のニーズ や課題を明示する手続きを定め、記録している			
3 アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている			
評価項目 6-3-2 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している [ねらい] ・子どもの様子や保護者の希望をどのように取り入れ、計画を作成しているか ・個人の状況に応じた計画となるよう作成し、見直しをしているか			
標準項目	チェック☑	私たちの実践例	その実践の記録等
1 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している			
2 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている			
3 計画を保護者にわかりやすく説明している			
4 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている			
5 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している			
評価項目 6-3-3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している [ねらい] ・職員が、子どもの状況の変化等をどのように記録しているか ・具体的な支援の内容や子どもの変化等が適切に記録されているか			
標準項目	チェック☑	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある			
2 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している			
評価項目 6-3-4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している [ねらい] ・子どもに関わる情報を職員間でどのように共有化しているか ・日々の子どもの変化等をどのような方で共有化しているか			
標準項目	チェック☑	私たちの実践例	その実践の記録等
1 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している			
2 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している			

サブカテゴリ 3 個別状況に応じた計画策定・記録 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリ 4 サービスの実施

評価項目 6-4-1
子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている
 [ねらい] ・一人ひとりの子どもの発達の過程をどのように把握しているか
 ・集団での生活の中で子ども一人ひとりを尊重した援助をしているか

	標準項目	チェック☑	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している			
2	子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけができるよう、環境構成を工夫している			
3	子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している			
4	特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している			
5	発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている			

評価項目 6-4-1 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-2
家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている
 [ねらい] ・子どもの生活の連続性に配慮した保育を行っているか
 ・子どもの状態を保護者と保育所で共有することができているか

	標準項目	チェック☑	私たちの実践例	その実践の記録等
1	登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している			
2	発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている			
3	休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している			
4	お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている			

評価項目 6-4-2 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6 - 4 - 3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

[ねらい] ・保育所の保育に対する考え(保育目標等)が、日常の保育にどのように反映しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている			
2	子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている			
3	子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している			
4	戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている			

評価項目 6 - 4 - 3 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6 - 4 - 4

行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている

[ねらい] ・行事の実施に対する保育所の考え・目的は何か
・保護者・地域との連携がどのように行われているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している			
2	子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している			
3	行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている			
4	保育所の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している			

評価項目 6 - 4 - 4 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

[ねらい] ・保育時間の長い子どもがくつろげるような工夫をしているか
 ・保育士等の交替があっても、子どもの様子を職員で共有し、保護者へ伝えているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている			
2	年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている			
3	子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる			
4	お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている			

評価項目 6-4-5 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

[ねらい] ・年齢等にあった調理方法や食習慣に応じた食事を提供しているか
 ・食育の推進にむけた取り組みを行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している			
2	メニュー や味付けなどに工夫を凝らしている			
3	子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している			
4	食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている			
5	保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている			

評価項目 6-4-6 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-7

子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている

[ねらい] ・子どもを病気や怪我から守る取り組みを行っているか
 ・専門機関との連携や保護者への情報提供を行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている			
2	医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている			
3	保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている			

評価項目 6-4-7 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

[ねらい] ・保護者支援の取り組みを行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している			
2	保護者同士が交流できる機会を設けている			
3	保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている			
4	保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている			
5	子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている			

評価項目 6-4-8 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6 - 4 - 9**地域のニーズに即した子育て支援を実施している**

[ねらい] ・地域の子育て支援に対するニーズをどのように把握しているか
 ・ニーズ に応じた支援が行われているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	地域における在宅子育て家庭のニーズ に応じた子育て支援事業を実施している			
2	地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている			
3	提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている			

評価項目 6 - 4 - 9 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリ 5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目 6-5-1
子どものプライバシー保護を徹底している
 [ねらい] ・日常の中で、どのように子どものプライバシーの保護をしているのか
 ・組織としての規定やしぐみに則って行動しており、属人的な対応になっていないか

	標準項目	チェック☑	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている			
2	子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている			

評価項目 6-5-2
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している
 [ねらい] ・日常の中で、子どもの権利を擁護し、不適切な対応を排除しているか
 ・保護者の価値観等による子どもの生活習慣を考慮したうえで保育をしているか

	標準項目	チェック☑	私たちの実践例	その実践の記録等
1	日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している			
2	子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている			
3	虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている			
4	子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している			
5	虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている			

サブカテゴリ 5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー 6 事業所業務の標準化

評価項目 6-6-1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている <small>〔ねらい〕 ・業務の一定水準を確保するため、手引書等を整備し、実施しているか ・業務の標準化は、対人援助の単純化や画一化をめざすものではない</small>			
標準項目	チェック☑	私たちの実践例	その実践の記録等
1 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている			
2 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している			
3 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している			
評価項目 6-6-2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている <small>〔ねらい〕 ・業務の標準レベルを見直す仕組みを確立しているか ・よりよいサービスをめざし、どのようなタイミングで見直しているか</small>			
標準項目	チェック☑	私たちの実践例	その実践の記録等
1 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている			
2 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている			
3 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをと、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる			
評価項目 6-6-3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している <small>〔ねらい〕 ・職員全体が、一定のサービス水準を確保する取り組みをしているか ・業務の標準化を図るためのOJT等多様な手段を評価する</small>			
標準項目	チェック☑	私たちの実践例	その実践の記録等
1 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている			
2 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している			
3 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている			
4 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している			
5 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている			

サブカテゴリー 6 事業所業務の標準化 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画の中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

登録印刷物番号
23 - 0101

平成23年度保育園サービス第三者評価事業 報告書

平成24年3月発行

発行 杉並区保健福祉部保育課
〒166-8570 東京都杉並区阿佐谷南一丁目15番1号
電話 03(3312)2111(代表)

評価機関 特定非営利活動法人せたがや福祉サポートセンター
【東京都福祉サービス第三者評価機関】 機構04-123
〒158-0091 東京都世田谷区中町二丁目21番12号
なかまちNPOセンター301号
電話 03(5758)1880

杉並区のホームページでご覧になれます。
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>